

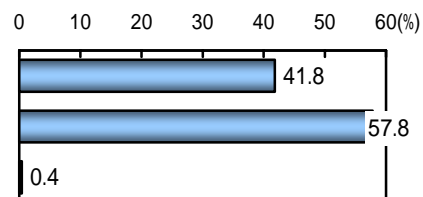
第2部 調査結果

1 調査回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」が41.8%、「女性」が57.8%で、「女性」が多くなっています。

項目	基数(人)	構成比(%)
1 男性	775	41.8
2 女性	1,071	57.8
(無回答)	8	0.4
合計	1,854	100.0

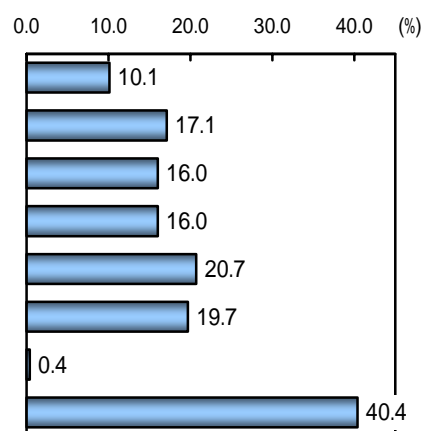


(2) 年齢

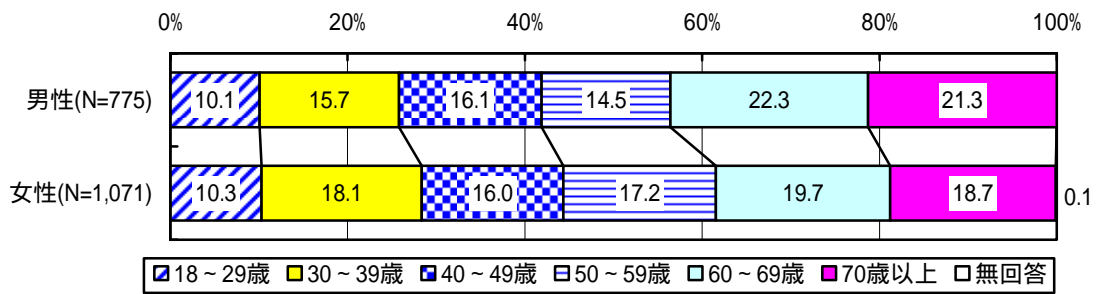
回答者の年齢別構成は、「60～69歳」が20.7%で最も多く、次いで「70歳以上」が19.7%、「30～39歳」が17.1%、「40～49歳」及び「50～59歳」がそれぞれ16.0%、「18～29歳」が10.1%で最も少ない結果です。[60歳以上]の熟年層が40.4%を占め、一方、「18～29歳」と「30～39歳」と合わせた青年層が27.2%、「40～49歳」及び「50～59歳」の壮年層が32.0%です。

女性は青年層（「18～29歳」及び「30～39歳」）や壮年層（「40～49歳」及び「50～59歳」）の割合が男性より若干高く、男性は熟年層（「60歳以上」）の割合が女性よりも高くなっています。

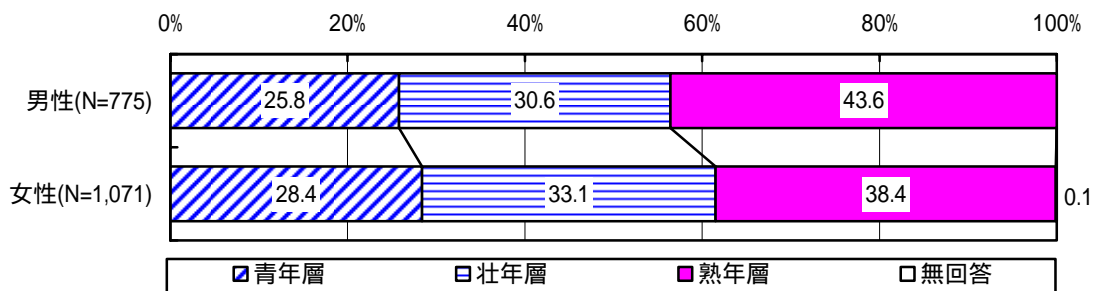
項目	基数(人)	構成比(%)
1 18～29歳	188	10.1
2 30～39歳	317	17.1
3 40～49歳	296	16.0
4 50～59歳	296	16.0
5 60～69歳	384	20.7
6 70歳以上	365	19.7
(無回答)	8	0.4
60歳以上(再掲)	749	40.4
合計	392	100.0



性別 年齢構成



性別 年齢層構成

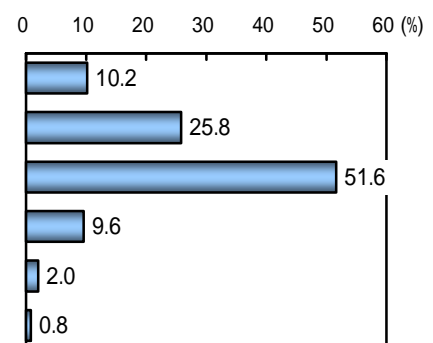


(3) 同居の家族構成

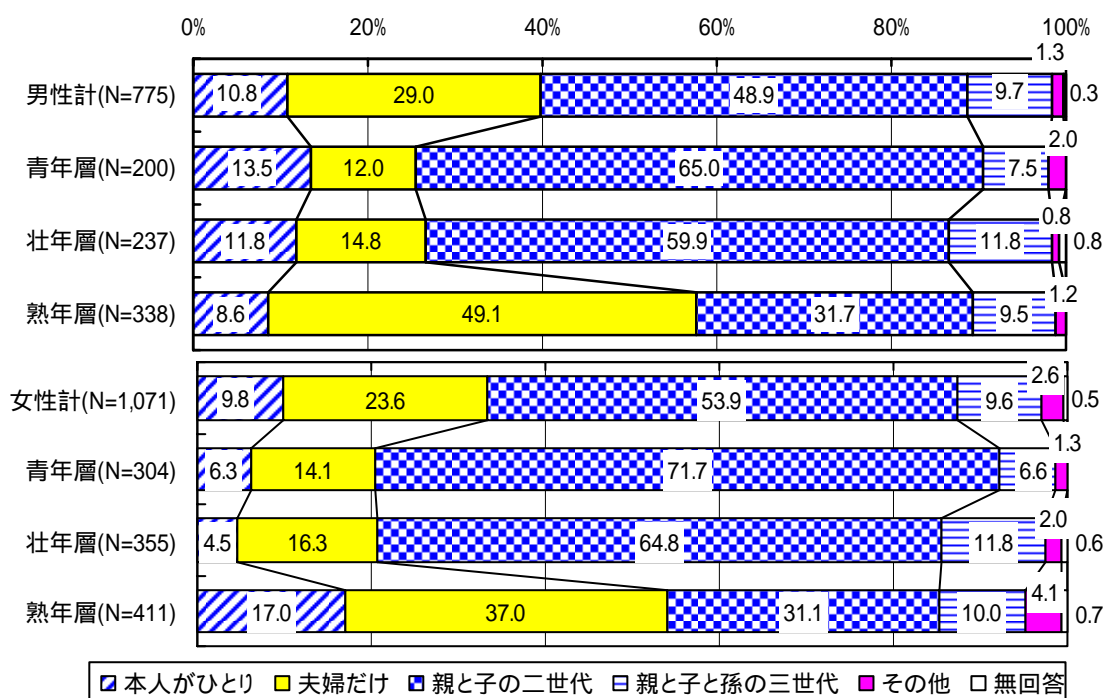
同居の家族構成

「親と子の二世帯」が51.6%とおおよそ半数を占め最も多く、「夫婦だけ」が25.8%、「本人がひとり」が10.2%、「親と子と孫の三世帯」が9.6%などです。
 「夫婦だけ」の率は男性が、「親と子の二世帯」の率は女性が若干高くなっています。
 「本人がひとり」の率は、男性の場合、青年層や壮年層が女性の2倍以上、女性は熟年層が17.0%で男性の8.6%のおよそ2倍となっています。また、「夫婦だけ」の率は、熟年層で男性が49.1%、女性が37.0%で、男性が高くなっています。

項目	基数(人)	構成比(%)
1 本人がひとり	189	10.2
2 夫婦だけ	478	25.8
3 親と子の二世帯	957	51.6
4 親と子と孫の三世帯	178	9.6
5 その他	38	2.0
(無回答)	14	0.8
合計	1,854	100.0



性・年齢層別 同居の家族構成



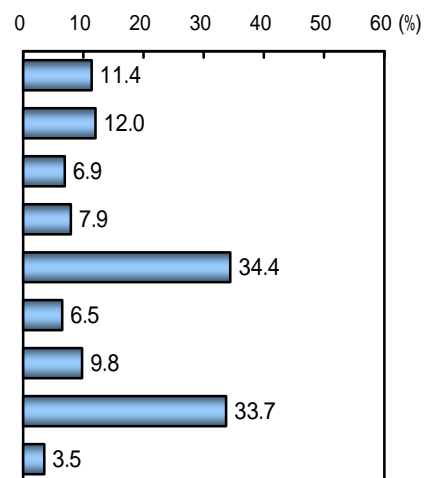
児童や要支援者等の有無

「乳幼児」「介護を必要とする方」「しょうがいのある方」のいずれかがいる世帯は20.0%です。

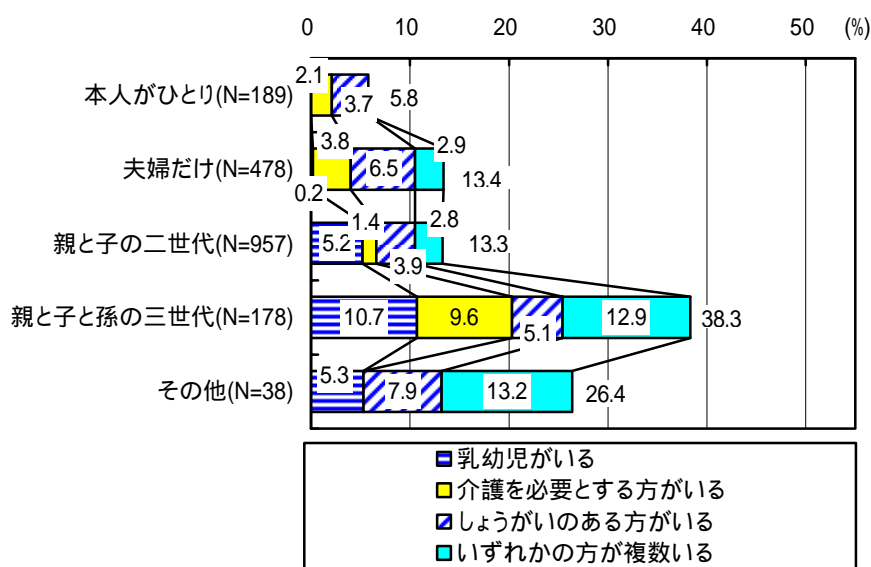
「乳幼児」のいる世帯が11.4%、「介護を必要とする方」のいる世帯が6.5%、「しょうがいのある方」のいる世帯が9.8%です（複数回答）。

「乳幼児」「介護を必要とする方」「しょうがいのある方」のうち2項目以上に該当する世帯は3.4%です。

項目	基数(人)	構成比(%)
1 乳幼児(小学校入学前の子ども)	211	11.4
2 小学生	223	12.0
3 中学生	127	6.9
4 高校生	146	7.9
5 65歳以上の方	637	34.4
6 介護を必要とする方	121	6.5
7 しょうがいのある方	181	9.8
8 いずれもない	624	33.7
(無回答)	65	3.5
合計	1,854	100.0



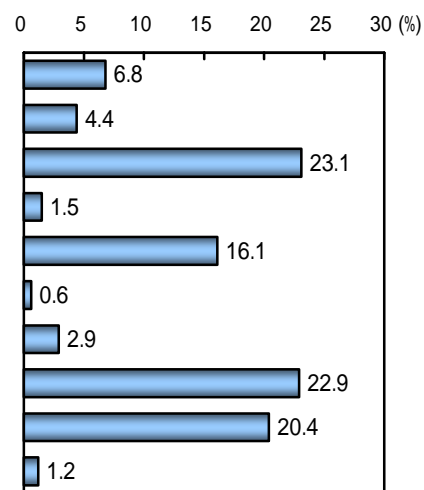
家族構成別 要介護・支援者率



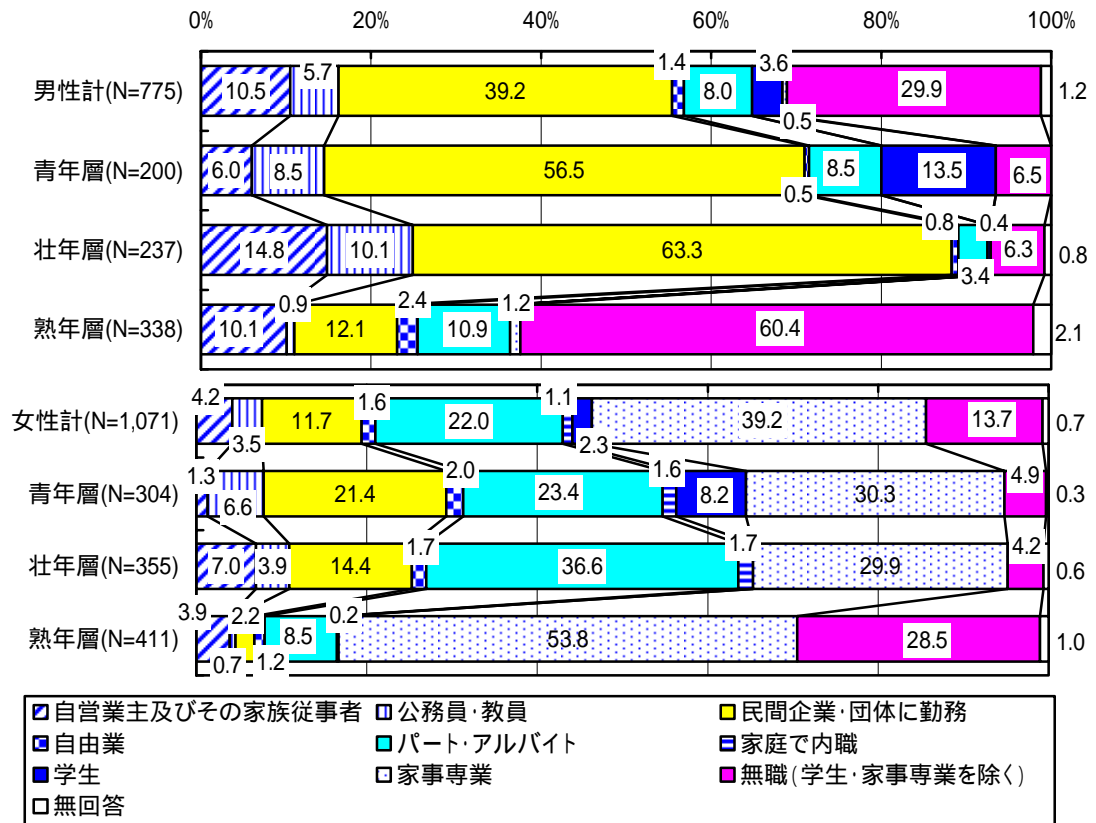
(4) 職業

「民間企業・団体に勤務」が23.1%、「パート・アルバイト・派遣社員」が16.1%、「自営業主及びその家族従事者」が6.8%などで、就業率は52.5%です。
 就業率は、男性が64.8%、女性が44.1%です。
 年齢層別の就業率は、男性の場合、青年層が80.0%、壮年層が92.4%、熟年層が36.4%、女性の場合、青年層が56.3%、壮年層が65.3%、熟年層が16.7%で、女性は青年層よりも壮年層が高く、特に「パート・アルバイト・派遣社員」が高くなっています。

項目	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主及びその家族従事者	126	6.8
2 公務員・教員	81	4.4
3 民間企業・団体に勤務	429	23.1
4 自由業(開業医、弁護士など)	28	1.5
5 パート・アルバイト・派遣社員	299	16.1
6 家庭で内職	12	0.6
7 学生	53	2.9
8 家事専業	424	22.9
9 無職(学生・家事専業を除く)	379	20.4
(無回答)	23	1.2
合計	1,854	100.0



性・年齢層別 職業



(5) 小学校区

「伊丹」が10.1%で最も多く、次いで「南」が9.0%、「笹原」が8.8%、「稲野」が6.4%、「天神川」が6.2%、「有岡」が6.1%などです。一方、「神津」が2.7%で最も少なく、「鴻池」が3.0%、「花里」が4.2%、「昆陽里」が4.7%などが少なくなっています。

項目	基数(人)	構成比(%)
1 伊丹	188	10.1
2 稲野	118	6.4
3 南	166	9.0
4 神津	50	2.7
5 緑丘	103	5.6
6 桜台	106	5.7

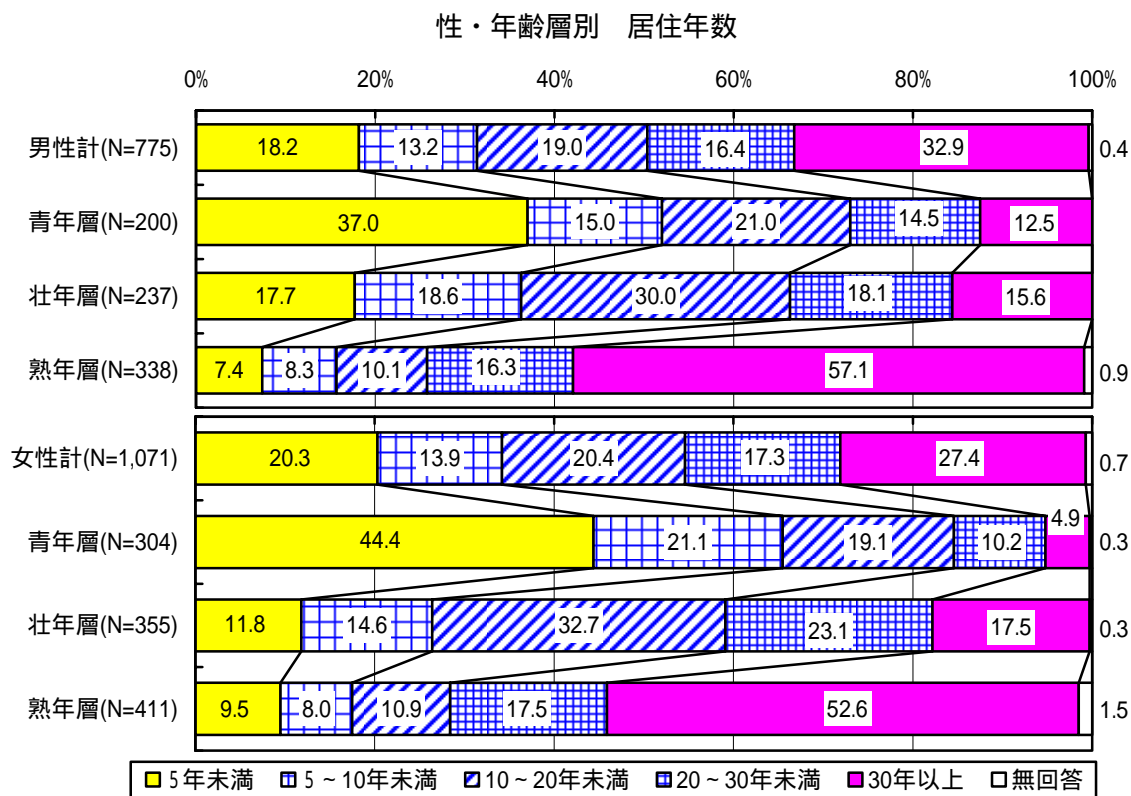
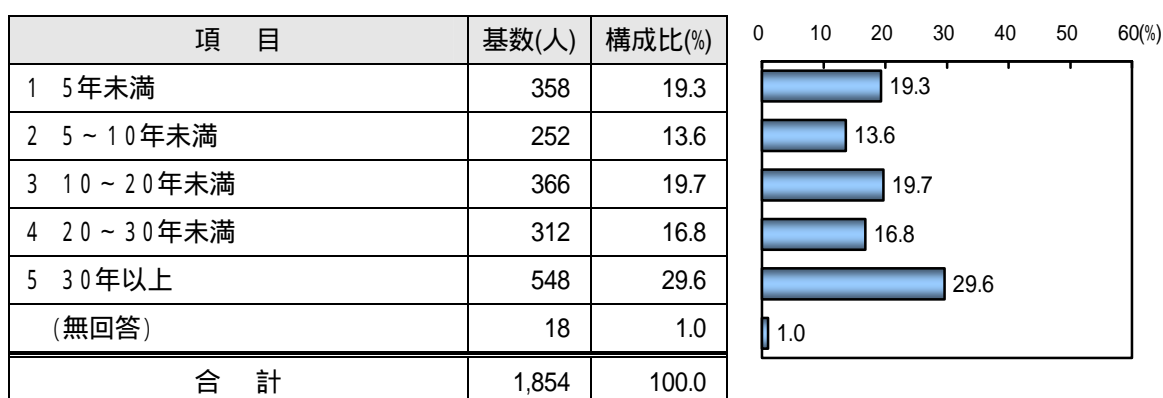
項目	基数(人)	構成比(%)
7 天神川	115	6.2
8 笹原	164	8.8
9 瑞穂	99	5.3
10 有岡	114	6.1
11 花里	78	4.2
12 昆陽里	87	4.7

項目	基数(人)	構成比(%)
13 摂陽	94	5.1
14 鈴原	92	5.0
15 荻野	101	5.4
16 池尻	94	5.1
17 鴻池	56	3.0
(無回答)	29	1.6
合計	1,854	100.0

(6) 居住年数

「30年以上」が29.6%で最も多く、次いで「10～20年未満」が19.7%、「5年未満」が19.3%、「20～30年未満」が16.8%などで、[20年以上]が合わせて46.4%と半数近くを占めますが、一方、[10年未満]が合わせて32.9%で、比較的新しい人もおよそ1/3となっています。

男女共に青年層は、居住年数の短い人が多く、「5年未満」が男性で37.0%、女性は44.4%と男性よりも高くなっています。一方、熟年層は居住年数の長い人が多く、「30年以上」が男性で57.1%、女性は52.6%で、いずれも半数を超え、[20年以上]では男性が73.4%、女性が70.1%となっています。



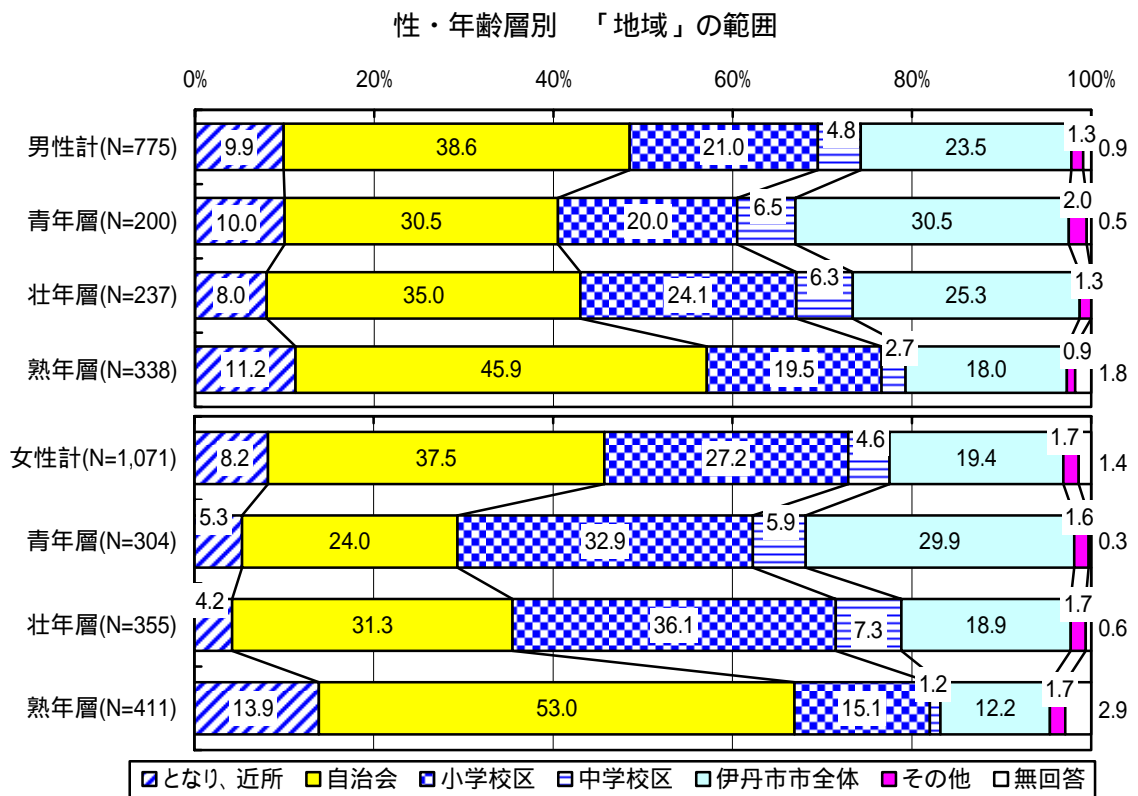
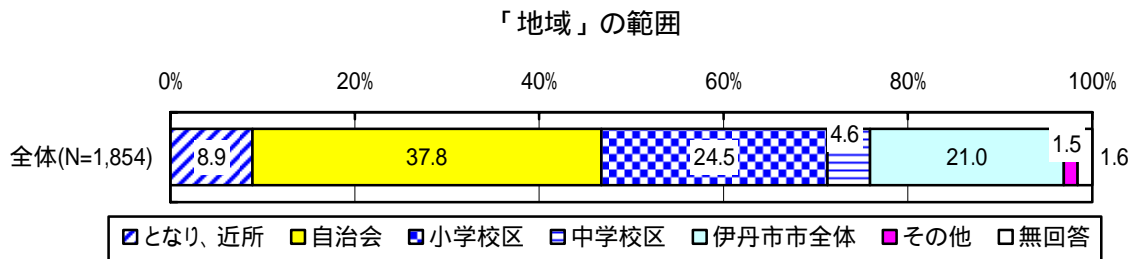
2 地域や福祉に関する意識・行動について

(1) 「地域」の範囲

問8 あなたの考える「地域」の範囲をお答えください。(1つに)

「自治会という範囲」が37.8%を占め最も多く、次いで「小学校区」と「伊丹市全体」がそれぞれ24.5%、21.0%などで、そのほかは10%を割っています。

男女共に全体では「自治会という範囲」が最も多いものの、年齢層により違いがあります。青年層は、男性の場合、「自治会という範囲」と「伊丹市全体」が共に30.5%ですが、女性は「小学校区という範囲」が32.9%で最も高くなっています。壮年層は、男性の場合、「自治会という範囲」が35.0%で最も高く、女性は青年層と同様に「小学校区という範囲」が36.1%で最も高くなっています。熟年層は、男女共に「自治会という範囲」が最も高く、男性が45.9%、女性は53.0%と半数を超えています。また、熟年層は男女共に「となり、近所という範囲」が他の年齢層よりも高くなり、年齢が上がるにしたがい「伊丹市全体」という認識の人が少なくなり、より身近な「自治会」という認識の人が多くなっています。



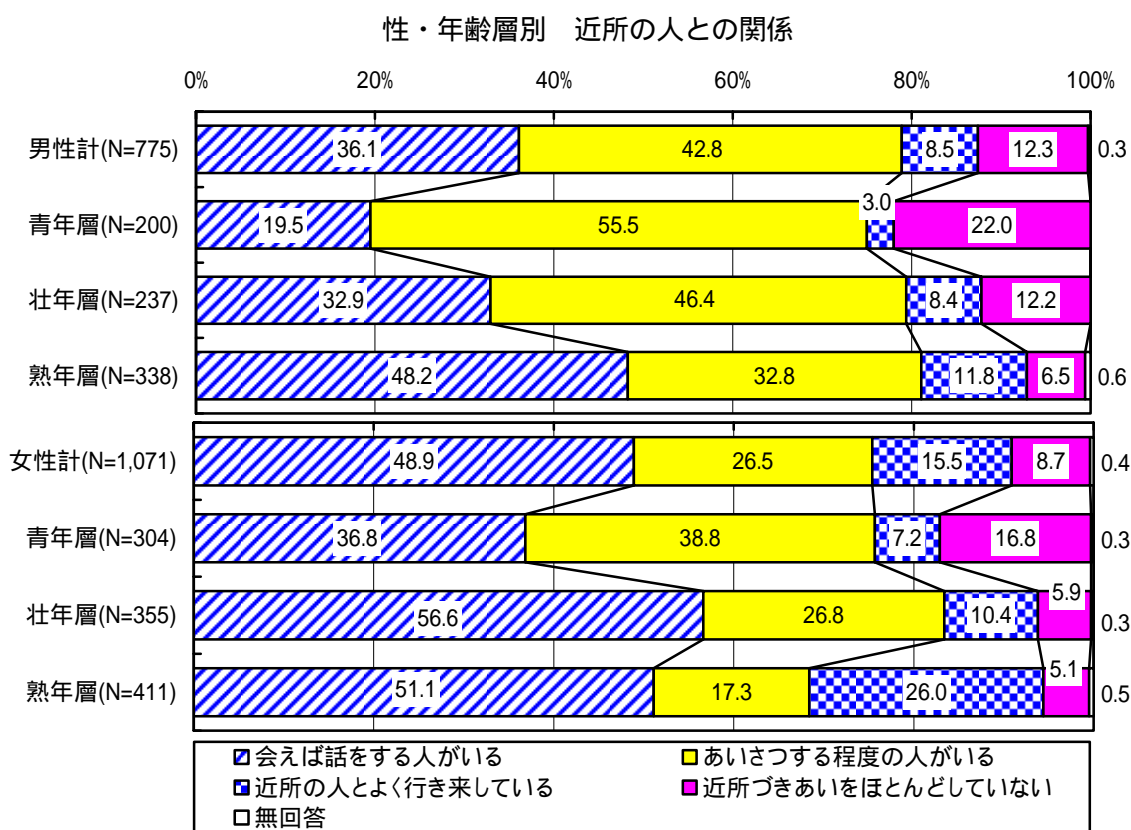
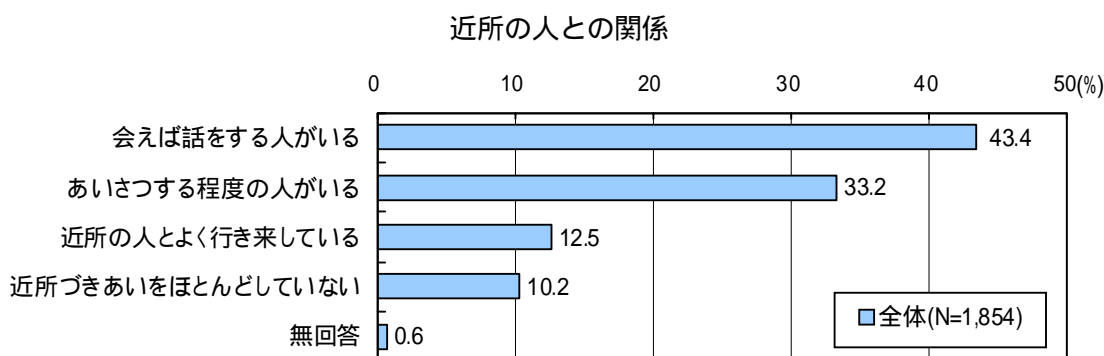
(2) 近所とのつきあいについて

近所の人との関係

問9 あなたとご近所の人との関係は次のどれに近いですか。(1つに)

「会えば話をする人がいる」が43.4%、「近所の人とよく行き来している」が12.5%で、どちらかといえば親しくつきあっている人が合わせて55.9%です。一方、「近所づきあいをほとんどしていない」は10.2%となっています。

どちらかといえば親しくつきあっているのは、男性が44.6%、女性が64.4%で、女性が高くなっています。また、男女共に熟年層が高く、特に女性は77.1%となっています。一方、「近所づきあいをほとんどしていない」は男女共に青年層が高く、男性が22.0%、女性が16.8%です。

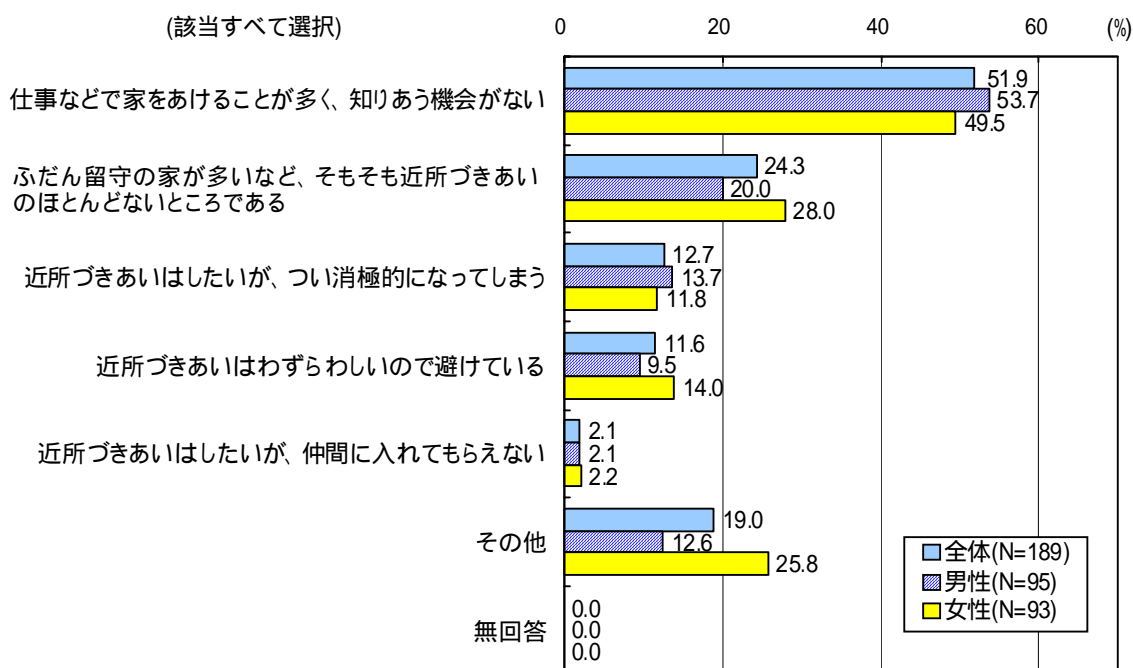


あまり近所づきあいをしない理由

問9-1 問9で「4.近所づきあいをほとんどしていない」を選んだ方におうかがいします。
あまり近所づきあいをされていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

あまり近所づきあいをしない最も大きな理由は、「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない」で、51.9%とおよそ半数が挙げています。また、「ふだんは留守の家が多いなど、そもそも近所づきあいのほとんどないところである」が24.3%、「近所づきあいはわずらわしいので避けている」が11.6%などです。一方、「近所づきあいはしたいが、つい消極的になってしまう」や「近所づきあいはしたいが、仲間に入れてもらえない」の近所づきあいをしたいと考えている人がそれぞれ12.7%、2.1%です。男女共に「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない」が最大の理由で、男性が53.7%、女性が49.5%です。

性別 あまり近所づきあいをしない理由



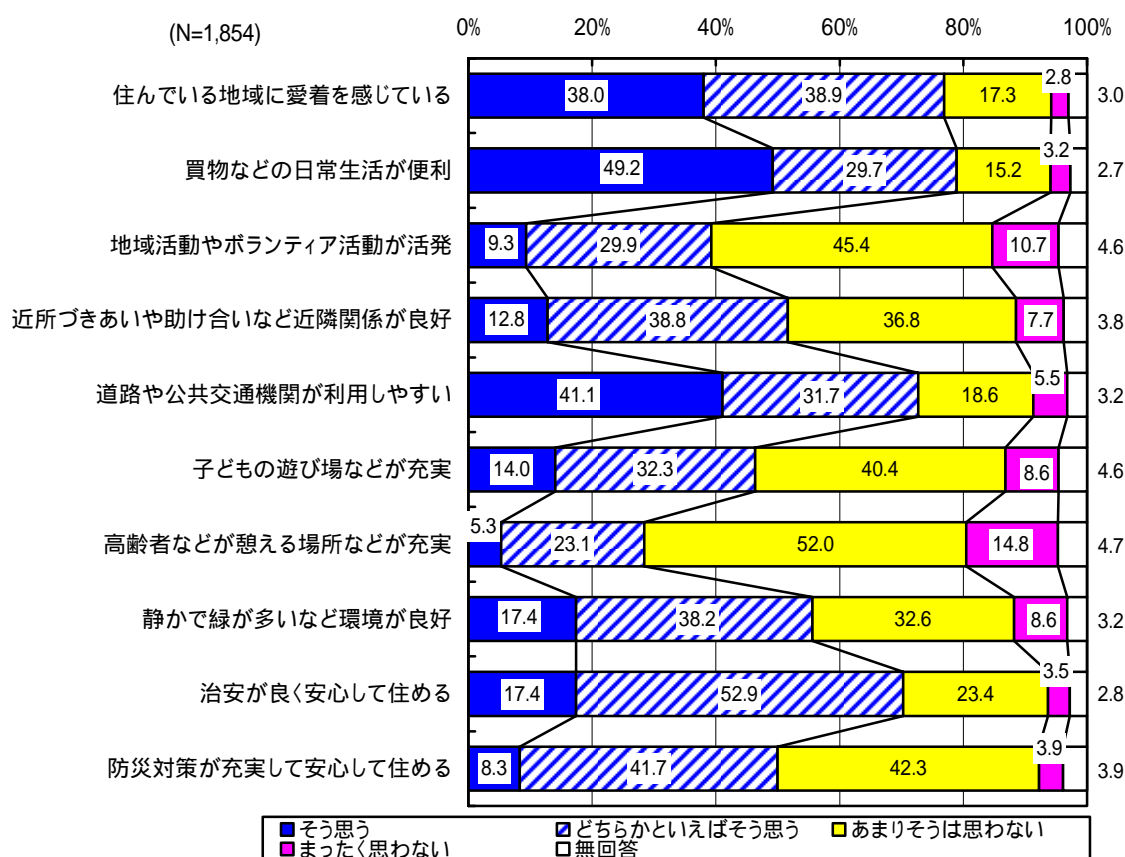
(3) 地域や周辺の環境評価

問10 あなたがお住まいの地域（小学校区）の環境について、どのように思いますか。～のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号（1～4）を1つ選んでをつけてください。

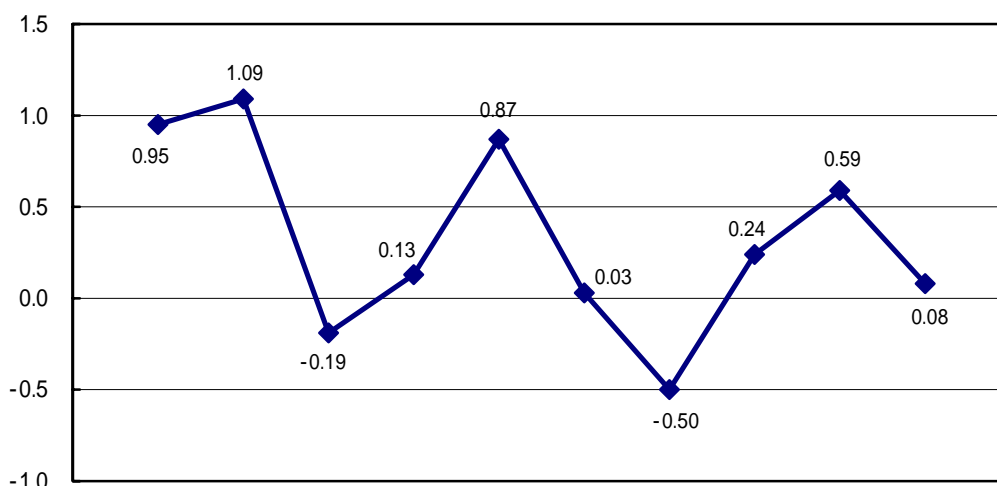
加重平均の評価点では、プラス評価は10項目中8項目と多く、その中では「買物などの日常生活が便利である」が最も評価が高く、次いで「住んでいる地域に愛着を感じている」「道路や公共交通機関が利用しやすい」「治安が良く安心して住める」が0.50以上となっています。

一方、マイナス評価は2項目で、「高齢者やしょうがいのある人が憩える場所などが充実」が-0.50、「地域活動やボランティア活動が活発」が-0.19です。

地域や周辺の環境評価



評価点（加重平均）による地域や周辺の環境評価



住んでいる地域に愛着を感じている
 買物などの日常生活が便利
 地域活動やボランティア活動が活発
 近所づきあいや助け合いなど近隣関係が良好
 道路や公共交通機関が利用しやすい
 子どもの遊び場などが充実
 高齢者やしょうがいのある人が憩える場所などが充実
 静かで緑が多いなど環境が良好
 治安が良く安心して住める
 防災対策が充実して安心して住める

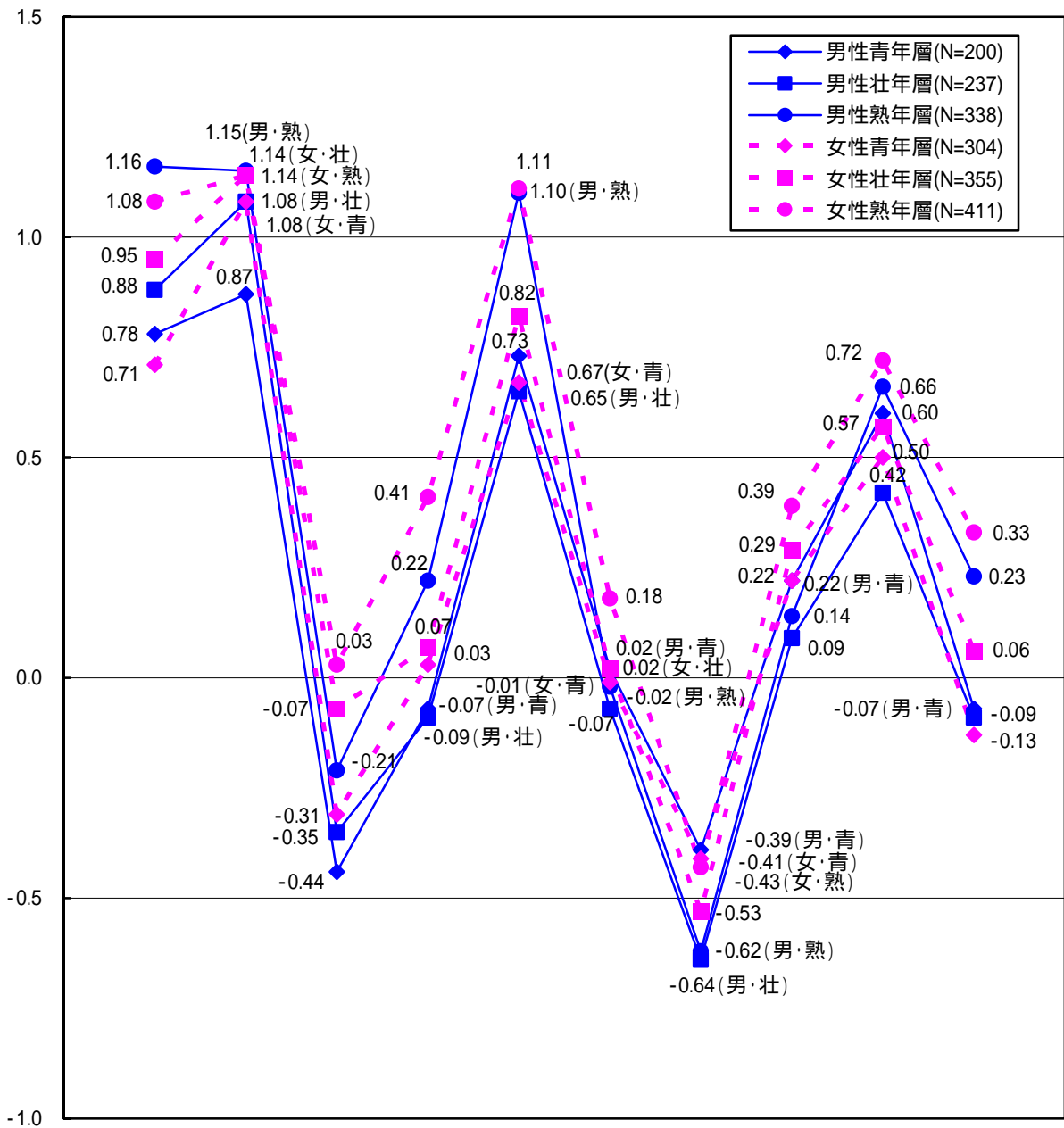
加重平均:それぞれの項目について、「そう思う」を2点、「どちらかといえばそう思う」を1点、「あまりそうは思わない」を-1点、「まったく思わない」を-2点として、それぞれの回答者数を掛け合わせ、無回答を除く回答者数で除すことにより算出しています。加重平均点の高い項目ほど評価が高いこととなります。

性・年齢層による評価の開きが大きい項目は、「近所づきあいや助け合いなど近隣関係が良好である」で、最も評価の高い女性の熟年層と最も評価の低い男性の壮年層では0.50ポイントの差があります。この他に0.40ポイント以上の差がある項目は、「地域活動やボランティア活動が活発である」や「道路や公共交通機関が利用しやすい」「防災対策が充実して安心して住める地域である」「住んでいる地域に愛着を感じている」の4項目です。

一方、評価の差が最も小さい項目は、「子どもの遊び場などが充実している」及び「高齢者やしょうがいのある人が憩える場所などが充実している」の0.25ポイント差となっています。

「高齢者やしょうがいのある人が憩える場所などが充実している」以外は、男女共に熟年層の評価が高い傾向があります。

性・年齢層別 評価点（加重平均）による地域や周辺の環境評価



住んでいる地域に愛着を感じている

買い物などの日常生活が便利

地域活動やボランティア活動が活発

近所づきあいや助け合いなど近隣関係が良好

道路や公共交通機関が利用しやすい

子どもの遊び場などが充実

高齢者やしょうがいのある人が憩える場所などが充実

静かで緑が多いなど環境が良好

治安が良く安心して住める

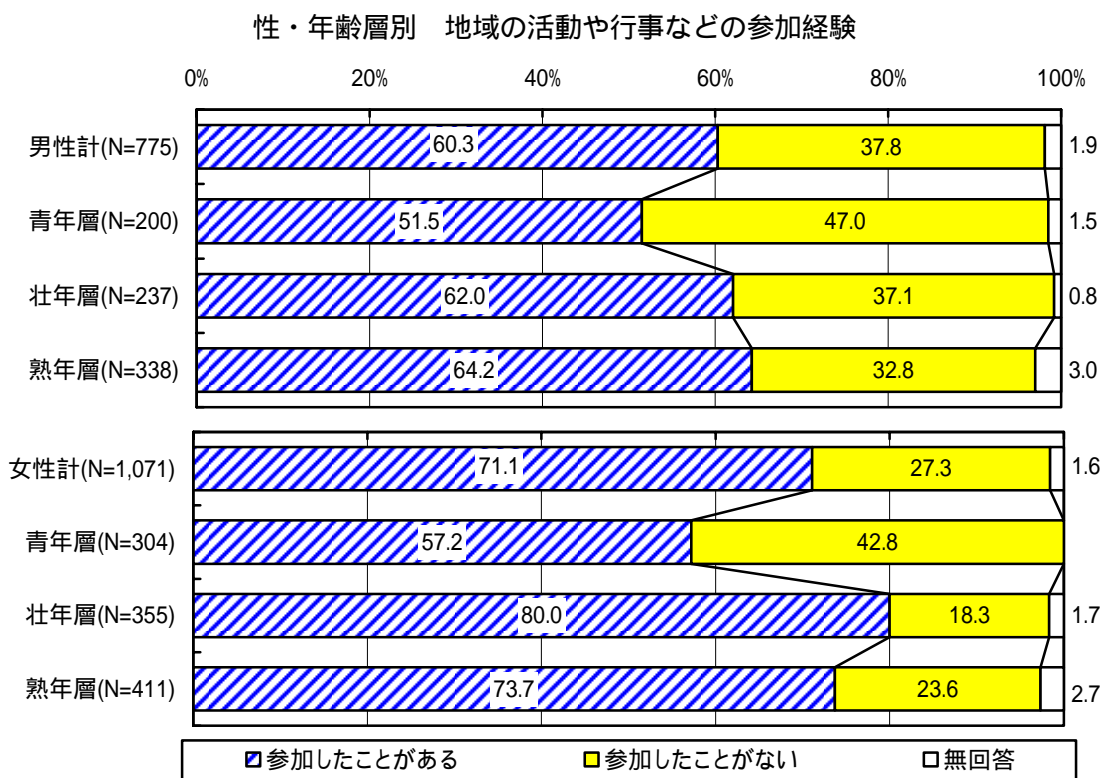
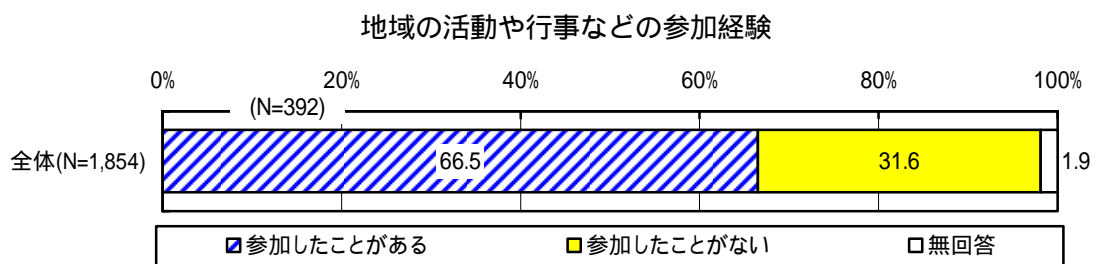
防災対策が充実して安心して住める

(4) 地域の行事や活動等への参加状況

地域の行事や活動等への参加経験と参加したことがない理由

- 問11 あなたは、地域の行事や地域活動などへの参加経験がありますか。
 1. 参加したことがある。どのような活動ですか。(あてはまるものすべてに)
 2. 参加したことがない。主な理由を教えてください。(1つに)

「参加したことがある」人は全体で66.5%です。
 「参加したことがある」率は、男性が60.3%、女性が71.1%で、女性の方が高くなっています。
 「参加したことがある」率は、男性の場合、青年層が51.5%で最も低く、壮年層と熟年層がそれぞれ62.0%、64.2%で大差ありません。女性の場合、やはり青年層が57.2%で最も低いものの、男性よりも高くなっています。また、壮年層が80.0%で最も高く、熟年層が73.7%で、両年齢層共に女性の方が高くなっています。

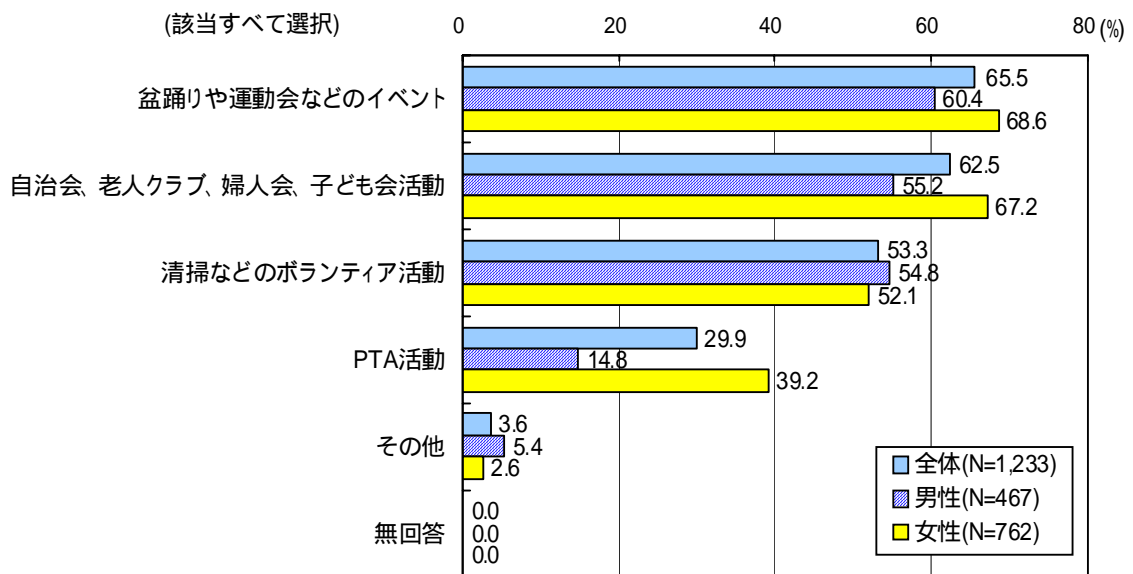


参加した活動内容は、全体では「盆踊りや運動会などのイベント」が65.5%、「自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会活動」が62.5%、「清掃などのボランティア活動」が53.3%、「PTA活動」が29.9%、「その他」が3.6%です。

男女共に「盆踊りや運動会などのイベント」が最も高く、男性が60.4%、女性が68.6%、「自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会活動」は男性が55.2%、女性が67.2%で、どちらも女性が高く、「PTA活動」も男性の14.8%に対して、女性は39.2%で、男性の2倍以上となっています。一方、「清掃などのボランティア活動」は男性が54.8%、女性が52.1%で、男性が若干高くなっています。

「盆踊りや運動会などのイベント」は、男性は青年層と壮年層が、女性は青年層が高く、「清掃などのボランティア活動」は青年層が最も低いものの、男性で48.5%、女性は32.2%となっています。

性別 参加した活動内容



性・年齢層別 参加した活動内容

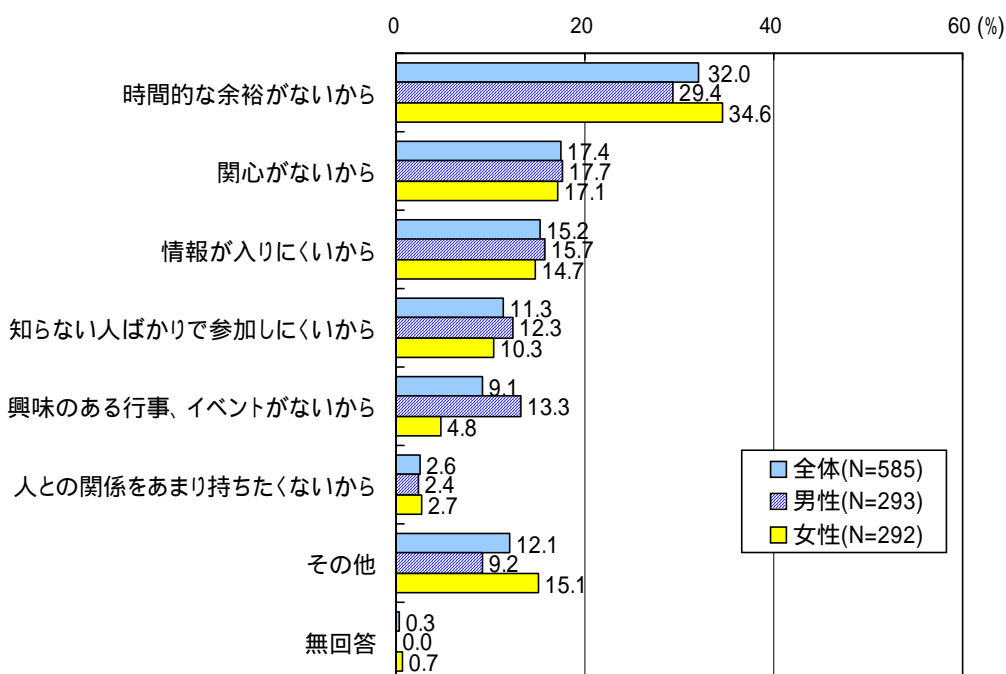
		回答数	盆踊りや運動会などのイベント	自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会活動	清掃などのボランティア活動	PTA活動	その他	無回答
男性	青年層	103	71.8	41.7	48.5	5.8	2.9	0.0
	壮年層	147	70.7	53.7	54.4	27.9	5.4	0.0
	熟年層	217	47.9	62.7	58.1	10.1	6.5	0.0
女性	青年層	174	86.2	55.7	32.2	26.4	0.6	0.0
	壮年層	284	73.2	70.4	55.3	66.5	2.5	0.0
	熟年層	303	54.5	70.6	60.7	21.1	4.0	0.0

参加したことがない主な理由は、全体では「時間的な余裕がないから」が32.0%で第1位、次いで「関心がないから」が17.4%、「情報が入りにくいから」が15.2%、「知らない人ばかりで参加しにくいから」が11.3%、「興味のある行事、イベントがないから」が9.1%などで、情報の提供や声かけ、興味をひく内容等、今後、活動への参加を促進するために必要です。

男女共に「時間的な余裕がないから」が第1位で、男性が29.4%、女性が34.6%で、女性の方が高くなっています。また、「興味のある行事、イベントがないから」は男性が13.3%、女性が4.8%で、男性の方が高く、「その他」が女性の方が高くなっている以外は、男女で大差ありません。

「時間的な余裕がないから」は特に女性の青年層が44.6%と高くなっています。

性別 参加したことがない主な理由



性・年齢層別 参加したことがない主な理由

		回答数	理由							
			時間的な余裕がないから	関心がないから	情報が入りにくいから	知らない人ばかりで参加しにくいから	興味のある行事、イベントがないから	人との関係をあまり持ちたくないから	その他	無回答
男性	青年層	94	35.1	18.1	20.2	4.3	13.8	0.0	8.5	0.0
	壮年層	88	35.2	10.2	25.0	14.8	5.7	2.3	6.8	0.0
	熟年層	111	19.8	23.4	4.5	17.1	18.9	4.5	11.7	0.0
女性	青年層	130	44.6	15.4	16.9	6.2	3.8	2.3	10.0	0.8
	壮年層	65	36.9	12.3	15.4	15.4	4.6	1.5	12.3	1.5
	熟年層	97	19.6	22.7	11.3	12.4	6.2	4.1	23.7	0.0

地域の行事や活動などについての関心の変化

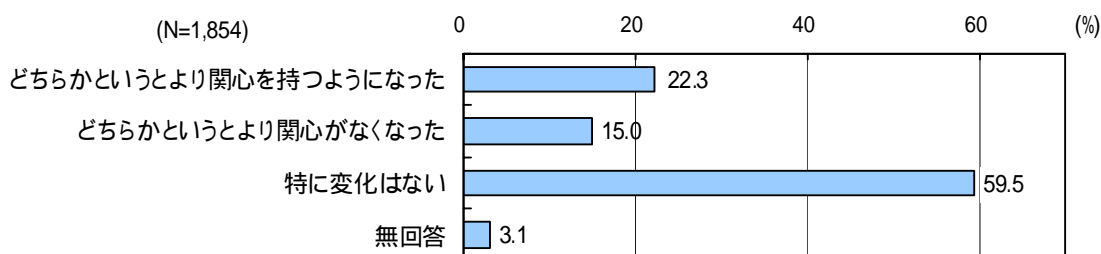
問12 あなたの地域の行事や活動などについての関心は、以前と比べて(約5年前と比べて)どのように変化したと感じますか。(1つに)

「特に変化はない」が59.5%です。

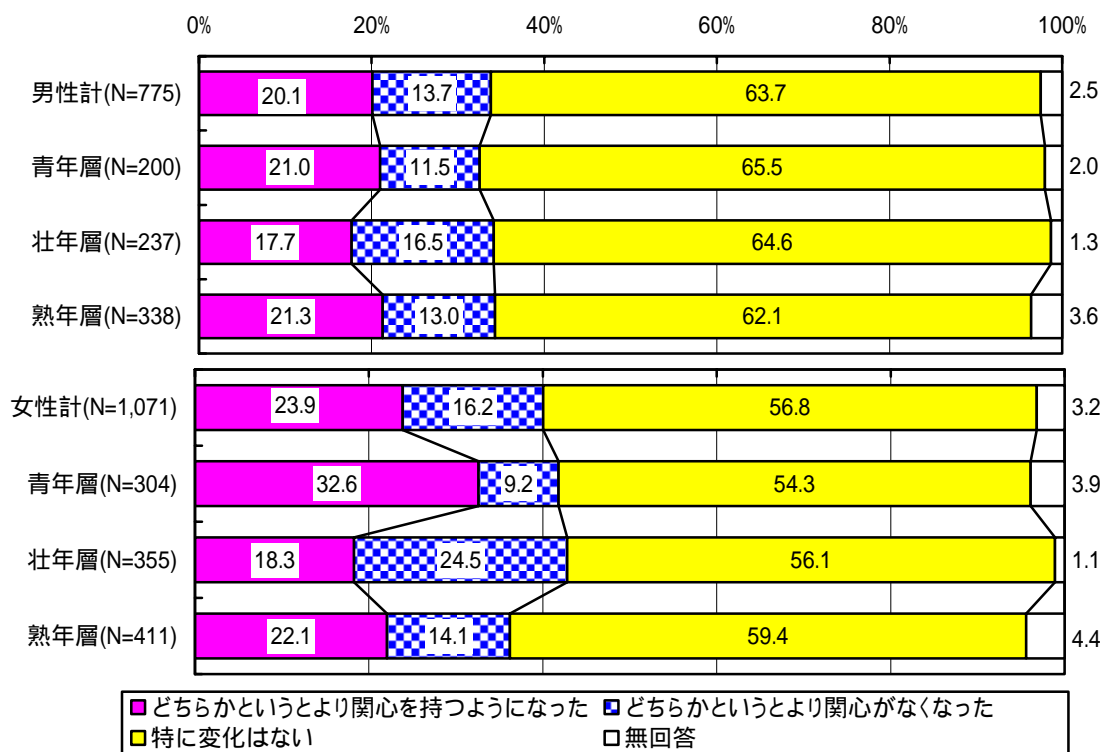
「どちらかというより関心を持つようになった」が22.3%で、「どちらかというより関心がなくなった」の15.0%を7.3ポイント上回っています。

「どちらかというより関心を持つようになった」は、男性が20.1%、女性が23.9%で大差ありません。男性は年齢層による大きな違いはありませんが、女性の場合、青年層は32.6%と高くなっています。

地域の行事や活動などについての関心の変化



性・年齢層別 地域の行事や活動などについての関心の変化



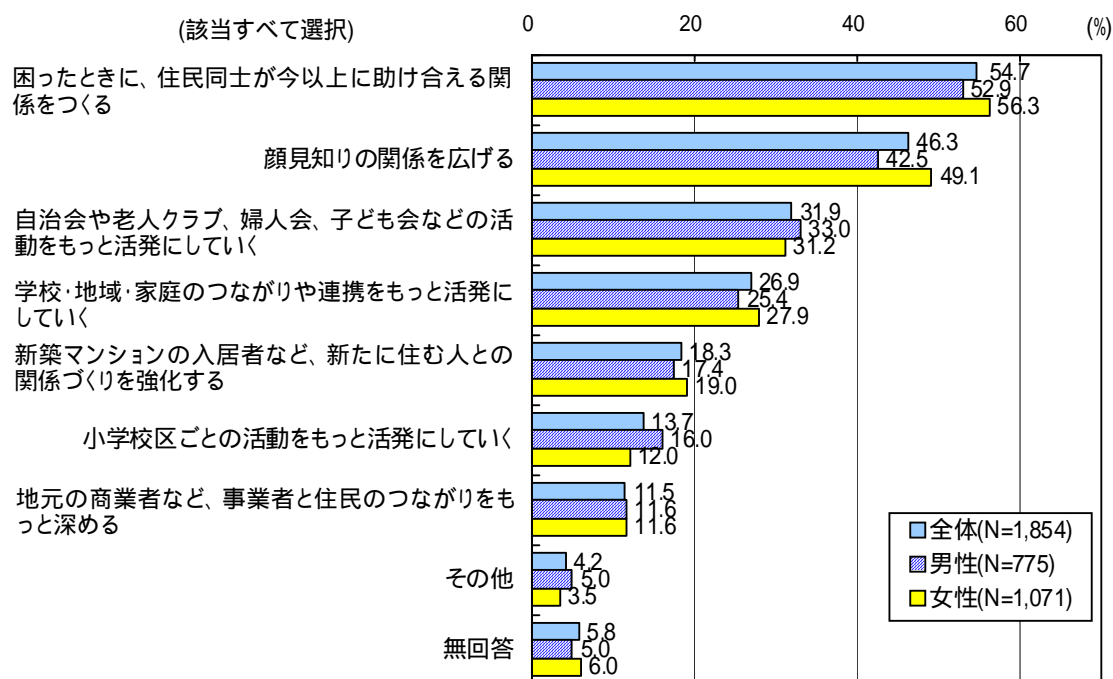
(5) 地域の行事や活動を活発にするために必要なこと

問13 あなたの地域の行事や活動が、地域でもっと活発に行われるようにしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。（あてはまるものすべてに ）

「困ったときに、住民同士が今以上に助け合える関係をつくる」が54.7%で第1位、次いで「顔見知りの関係を広げる」が46.3%など、住民一人ひとりが地域で顔の見える関係づくりを進めていくことが求められています。

男女共に「困ったときに、住民同士が今以上に助け合える関係をつくる」が第1位で、男性は52.9%、女性は56.3%で、男女共に特に熟年層で高くなっています。また、「顔見知りの関係を広げる」は男性が42.5%、女性が49.1%で女性の方が高く、特に青年層が高くなっています。

性別 地域の行事や活動を活発にするために必要なこと



性・年齢層別 地域の行事や活動を活発にするために必要なこと

		回答数	困ったときに、住民同士が今以上に助け合える関係をつくる	顔見知りの関係を広げる	自治会や老人クラブ、婦人会、子ども会などの活動をもっと活発にしていく	学校・地域・家庭のつながりや連携をもっと活発にしていく	新築マンションの入居者など、新たに住民との関係づくりを強化する	小学校区ごとの活動をもっと活発にしていく	地元の事業者など、事業者と住民のつながりをもっと深める	その他	無回答
男性	青年層	200	45.5	42.0	26.0	31.0	20.5	18.0	16.0	7.5	2.0
	壮年層	237	52.3	45.6	36.3	32.1	17.3	20.3	11.8	5.1	3.4
	熟年層	338	57.7	40.5	34.9	17.5	15.7	11.8	8.9	3.6	8.0
女性	青年層	304	51.0	54.9	31.3	38.8	23.7	20.4	15.5	2.6	2.3
	壮年層	355	54.9	48.7	28.2	32.1	18.3	9.3	13.8	3.9	5.4
	熟年層	411	61.3	45.3	33.6	16.3	16.1	8.3	6.6	3.9	9.2

(6) 福祉に関する学習意欲

福祉に関する研修会などへの参加状況

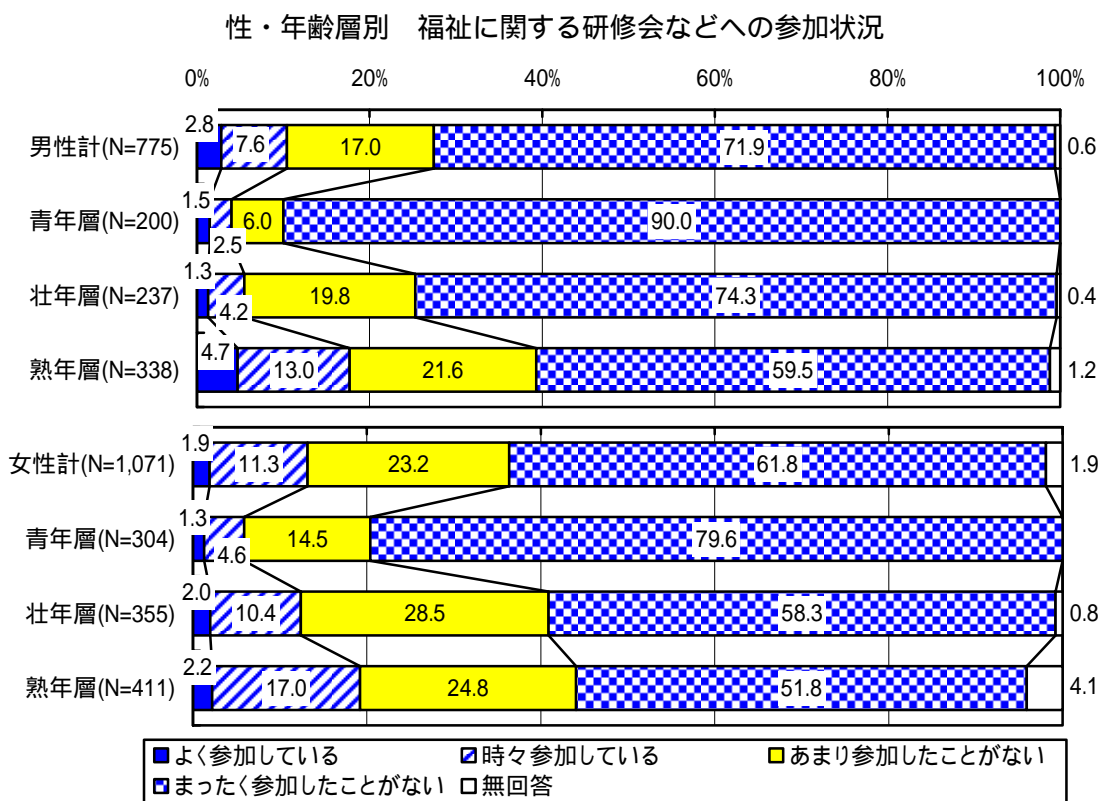
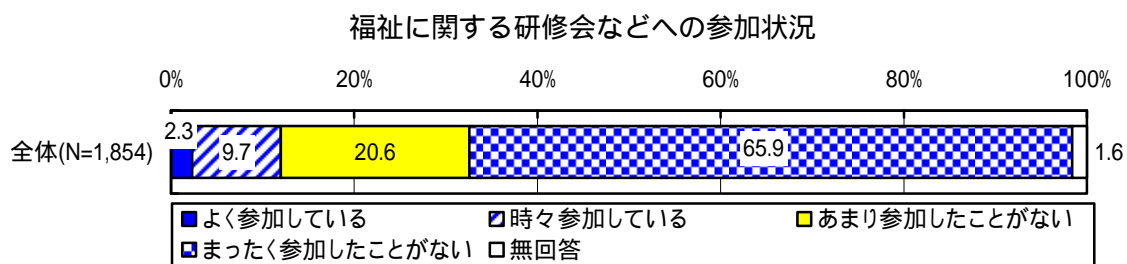
問14 あなたは、福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどに参加したことがありますか。(1つに)

「よく参加している」が2.3%、「時々参加している」が9.7%、両者を合わせた[参加している]人は、12.0%です。

一方、「あまり参加したことがない」は20.6%、「まったく参加したことがない」は65.9%で、両者を合わせた[参加したことがない]人は、86.5%です。

[参加している]人は、男性が10.4%、女性が13.2%で、女性が若干高く、男女共に熟年層が高く、男性が17.7%、女性が19.2%です。

一方、[参加したことがない]人は、男性が88.9%、女性が85.0%で、男性が若干高く、男女共に青年層が高く、男性が96.0%、女性が94.1%です。



地域の福祉課題を話し合う会議などへの参加状況

問15 あなたは、地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会（ワークショップなど）に参加したことがありますか。（1つに）

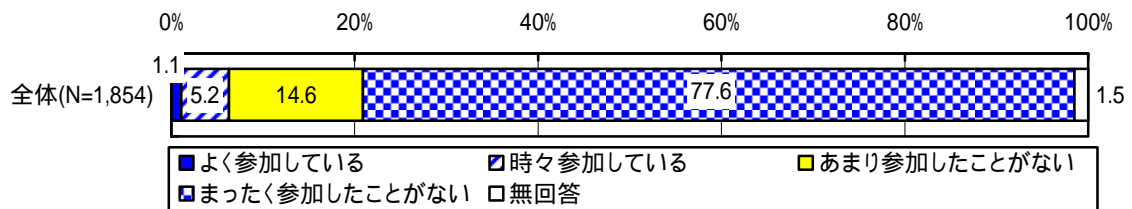
「よく参加している」が1.1%、「時々参加している」が5.2%、両者を合わせた〔参加している〕人は6.3%で、1割に満たない状況です。

一方、「あまり参加したことがない」は14.6%、「まったく参加したことがない」は77.6%で、両者を合わせた〔参加したことがない〕人は、92.2%です。

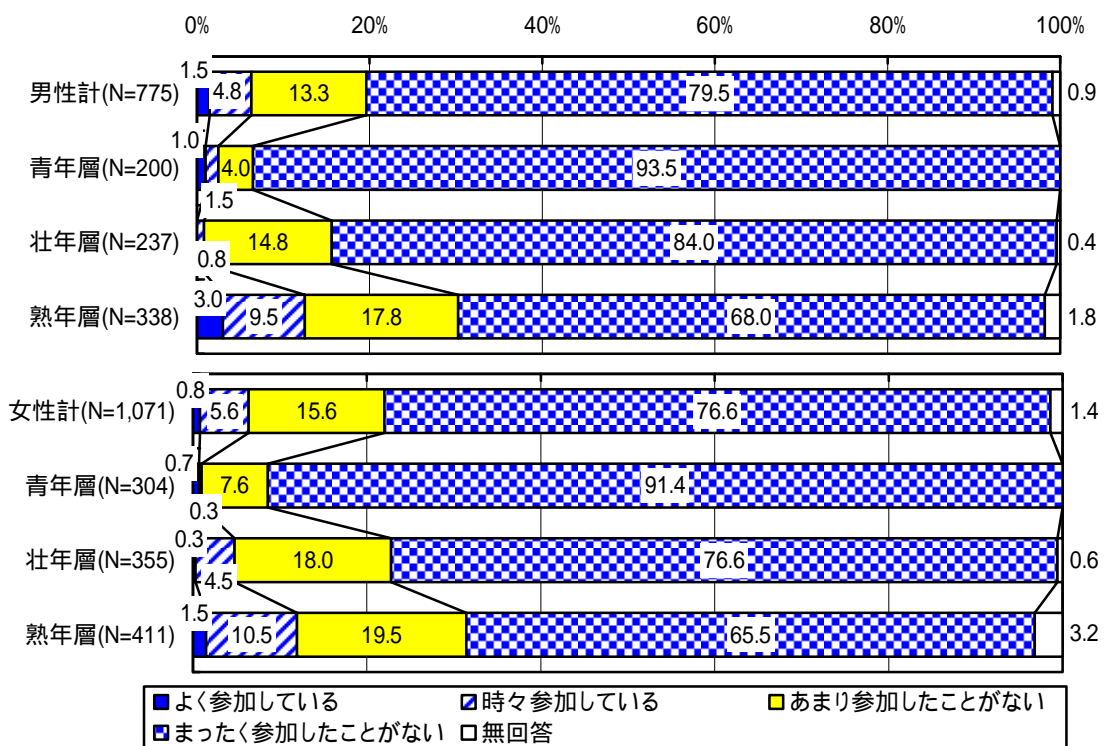
〔参加している〕人は、男性が6.3%、女性が6.4%と同程度、男女共に熟年層が高く、男性が12.5%、女性が12.0%です。

一方、〔参加したことがない〕人は、男性が92.8%、女性が92.2%と同程度、男性は壮年層が高く98.8%、女性は青年層が高く99.0%です。

地域の福祉課題を話し合う会議などへの参加状況



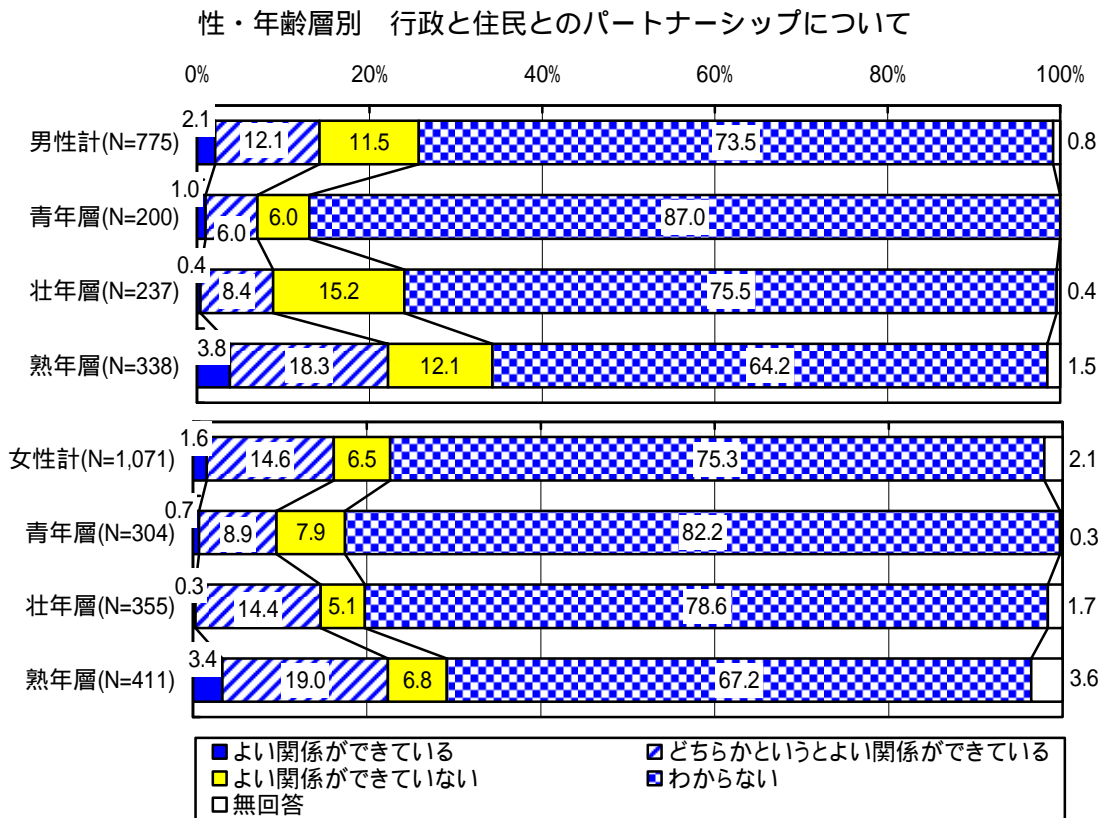
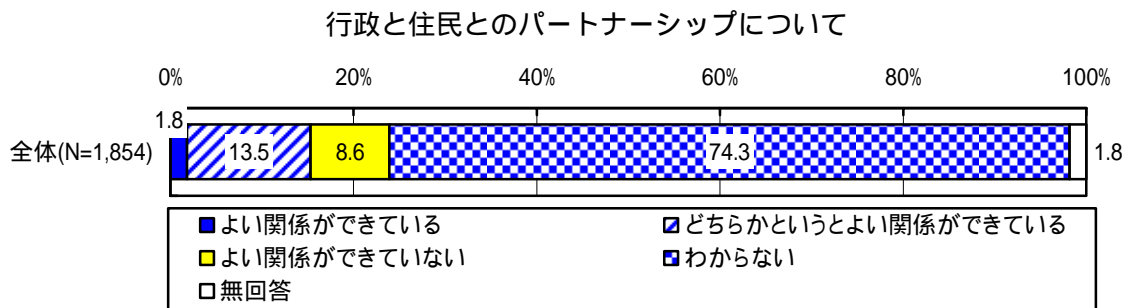
性・年齢層別 地域の福祉課題を話し合う会議などへの参加状況



(7) 行政と住民とのパートナーシップについて

問16 あなたは、市全体の地域福祉に関する行政と住民との協働（パートナーシップ）についてどのように感じていますか。（1つに）

「よい関係ができている」が1.8%、「どちらかというともよい関係ができている」が13.5%、両者を合わせた「よい関係ができている」と回答した人は15.3%です。
 一方、「よい関係ができていない」は8.6%、「わからない」は74.3%です。
 「よい関係ができている」と回答した人は、男性が14.2%、女性が16.2%で、男女共に熟年層が高く、男性が22.1%、女性が22.4%と同程度です。
 一方、「よい関係ができていない」は、男性が11.5%、女性が6.5%で、男性が高く、男性は壮年層が15.2%で最も高くなっています。



(8) 福祉サービスや福祉活動の情報提供について

福祉サービスや福祉活動の情報提供について

問17 あなたは、本市での福祉サービスや福祉活動の情報提供について、どのように感じていますか。(1つに)

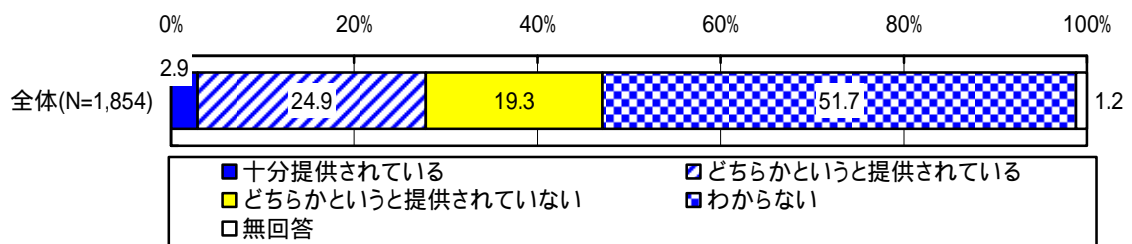
「十分提供されている」が2.9%、「どちらかというと提供されている」が24.9%、両者を合わせた[提供されている]と回答した人は27.8%です。

一方、「どちらかというと提供されていない」は19.3%、「わからない」は51.7%です。

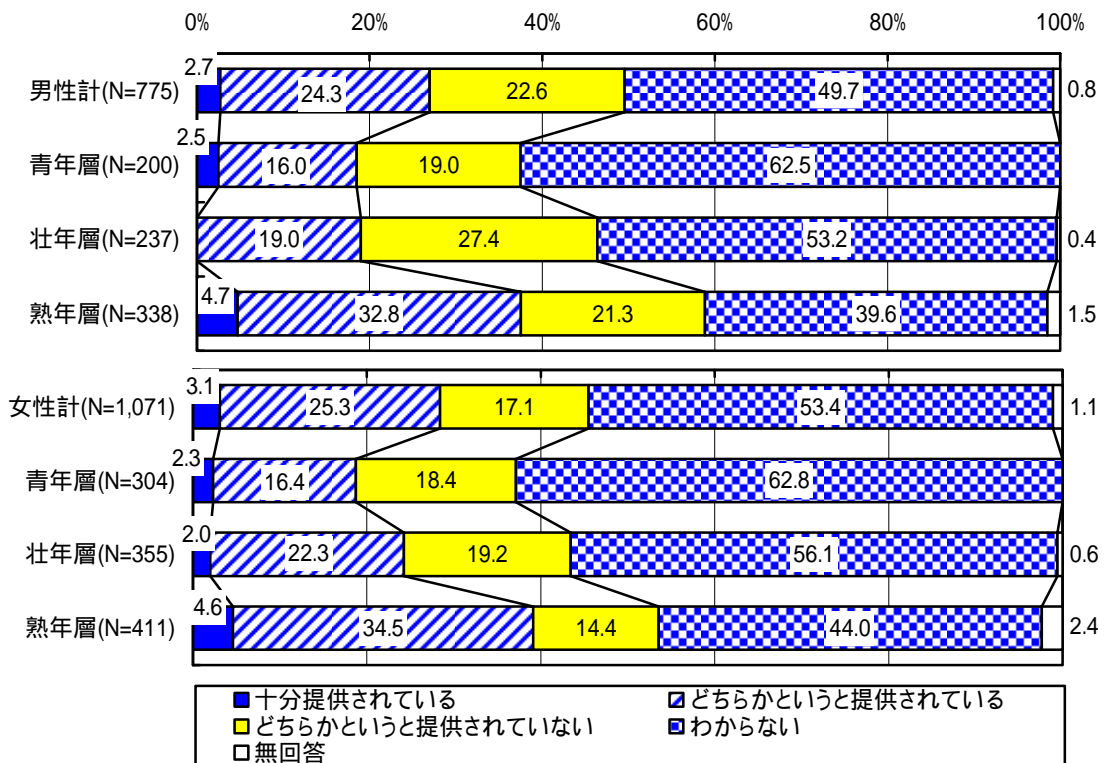
[提供されている]と回答した人は、男性が27.0%、女性が28.4%で大差なく、男女共に熟年層が高く、男性が37.5%、女性が39.1%です。

一方、「どちらかというと提供されていない」は、男性が22.6%、女性が17.1%で、男性が高く、男性の壮年層が27.4%で最も高くなっています。

福祉サービスや福祉活動の情報提供について



性・年齢層別 福祉サービスや福祉活動の情報提供について



福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況

問18 あなたは、福祉に関するさまざまな相談窓口などの必要な福祉サービス情報は、十分入手できていますか。(1つに)

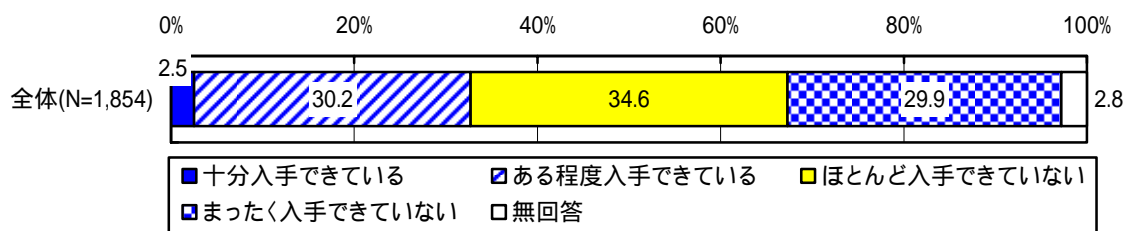
「十分入手できている」が2.5%、「ある程度入手できている」が30.2%、両者を合わせた[入手できている]と回答した人は32.7%です。

一方、「ほとんど入手できていない」は34.6%、「まったく入手できていない」は29.9%で、両者を合わせた[入手できていない]と回答した人は64.5%です。

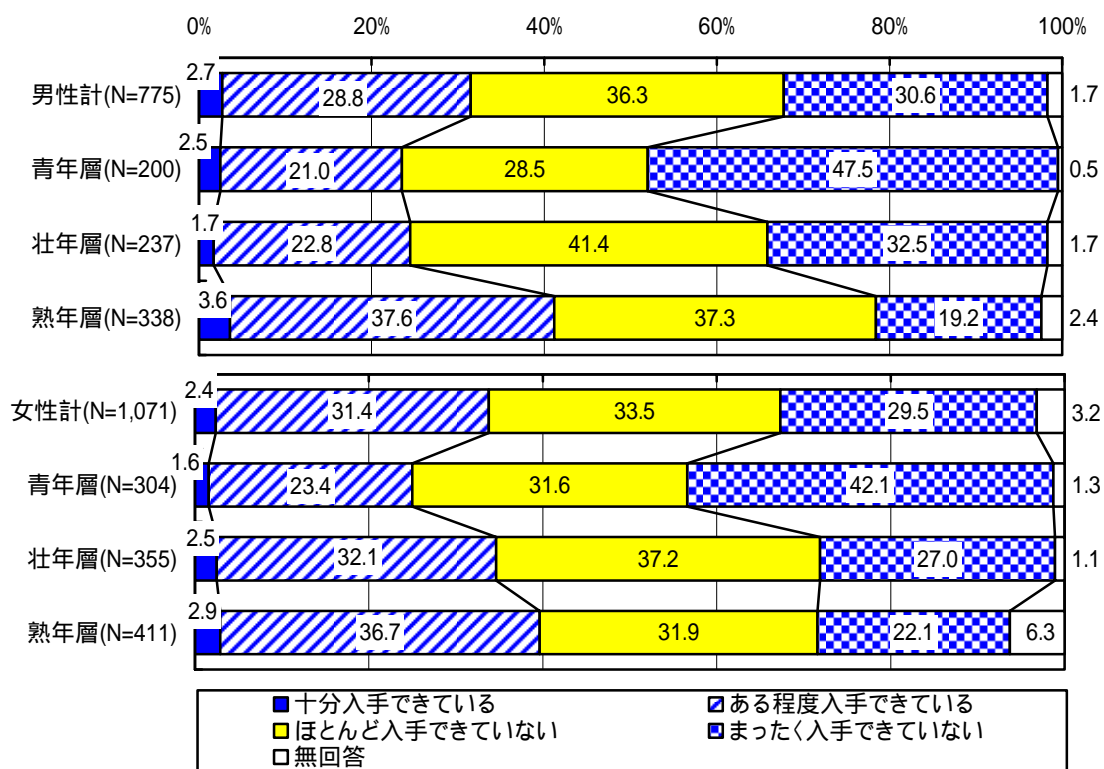
[入手できている]と回答した人は、男性が31.5%、女性が33.8%で、大差ありません。男女共に熟年層が高く、男性が41.2%、女性が39.6%です。

一方、[入手できていない]は、男性が66.9%、女性が63.0%です。男女共に青年層が高く、男性が76.0%、女性が73.7%ですが、男性は壮年層も73.9%と70%を超えています。

福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況



性・年齢層別 福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況



福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況についての変化

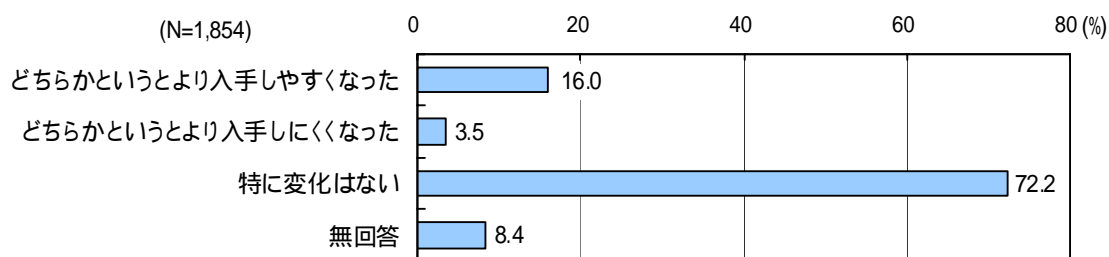
問18-1 問18の答えは、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感ずるか。（1つに ）

「特に変化はない」が72.2%です。

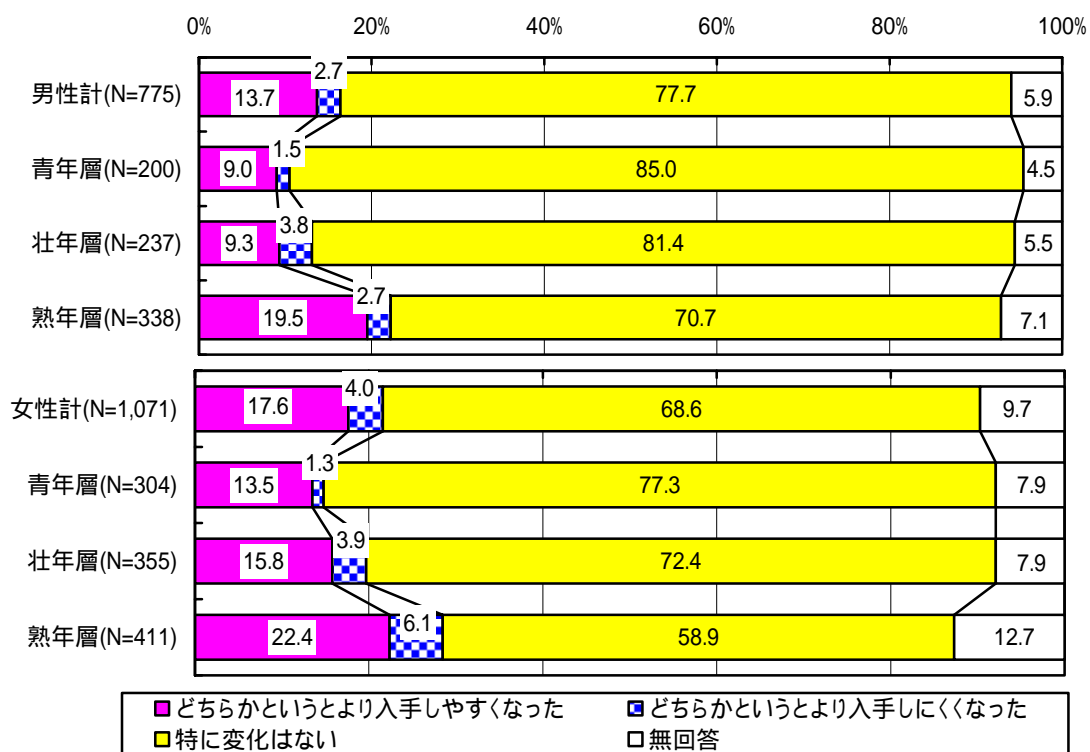
「どちらかというより入手しやすくなった」が16.0%で、「どちらかというより入手しにくくなった」の3.5%を12.5ポイント上回っています。

「どちらかというより入手しやすくなった」は、男性が13.7%、女性が17.6%で女性が若干高く、男女共に熟年層が高く、男性が19.5%、女性が22.4%です。

福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況についての変化



性・年齢層別 福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況についての変化

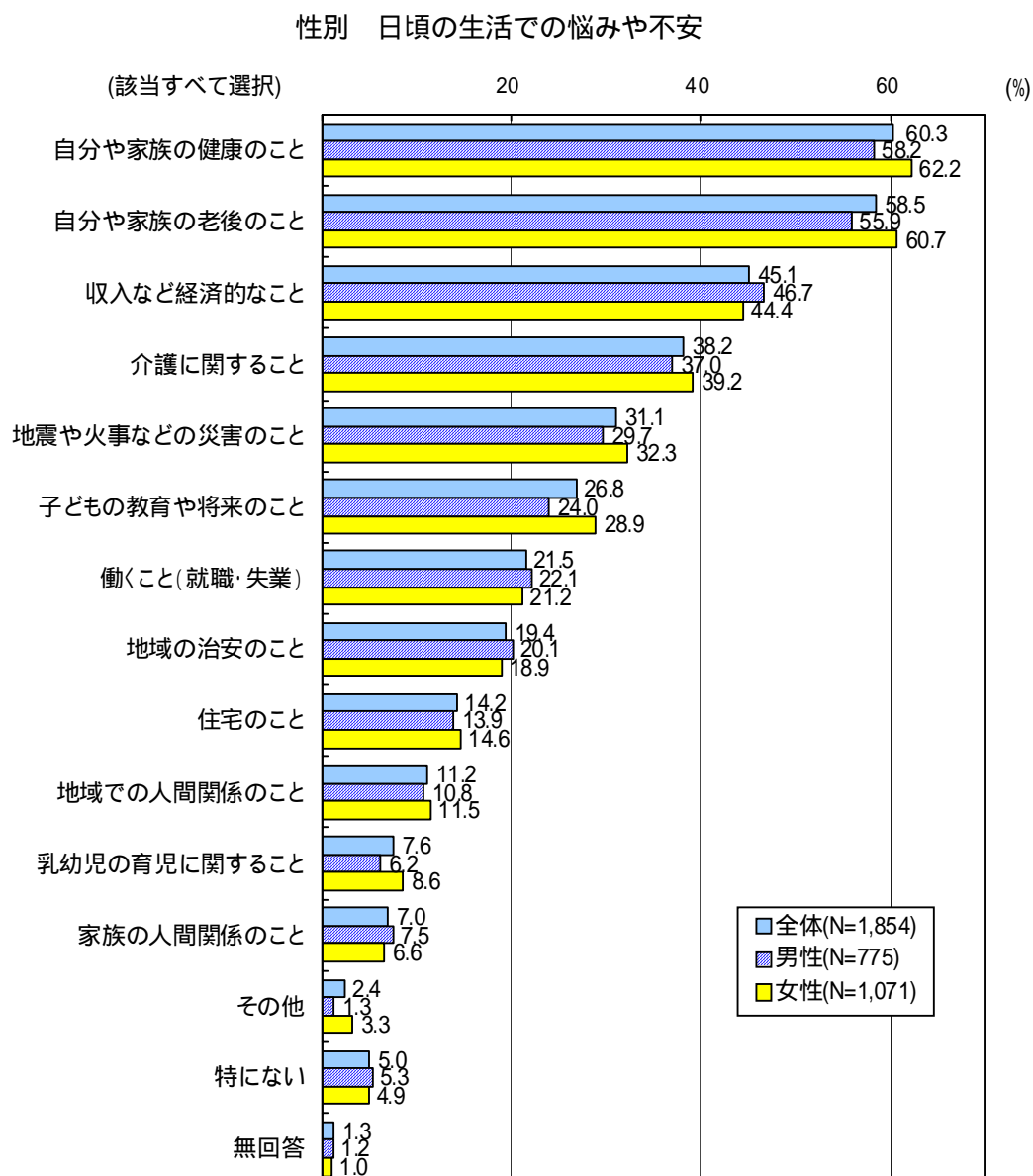


3 生活課題や福祉について

(1) 日頃の生活での悩みや不安

問19 あなたは、日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(あてはまるものすべてに)

「自分や家族の健康のこと」が60.3%で第1位、次いで「自分や家族の老後のこと」が58.5%、「収入など経済的なこと」が45.1%、「介護に関すること」が38.2%、「地震や火事など災害のこと」が31.1%などで、熟年層が多いことを反映しています。男女共に「自分や家族の健康のこと」が第1位で、男性が58.2%、女性が62.2%で、次いで「自分や家族の老後のこと」が第2位で、男性が55.9%、女性が60.7%で、どちらも女性の方が高くなっています。男性は「収入など経済的なこと」や「働くこと(就職・失業)」、「地域の治安のこと」、「家族の人間関係のこと」が女性よりも高くなっています。



青年層の第1位は、男性が「収入など経済的なこと」で59.5%、女性が「自分や家族の健康のこと」で59.5%です。「子どもの教育や将来のこと」は男性が29.5%で第5位、女性が46.7%で第4位に、また、「働くこと(就職・失業)」は男性が39.5%で第4位、女性が42.4%で第5位に挙げられます。

壮年層は、男女共に「自分や家族の老後のこと」が第1位で、男性が60.8%、女性が71.5%と特に女性が高くなっています。また、「収入など経済的なこと」が男性は59.5%で第2位に、女性も49.0%で第3位に挙げられています。

熟年層は、男女共に「自分や家族の健康のこと」「自分や家族の老後のこと」が第1位、第2位と続き、第3位に「介護に関すること」が挙げられ、男性が51.5%、女性が53.0%と半数を超えています。また、男女共に「地震や火事などの災害のこと」が第4位に挙げられ、男性が35.5%、女性が36.7%で、他の年齢層よりも高くなっています。

性・年齢層別 日頃の生活での悩みや不安

		回答数	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	収入など経済的なこと	介護に関すること	地震や火事などの災害のこと	子どもの教育や将来のこと	働くこと(就職・失業)	地域の治安のこと	住宅のこと	地域での人間関係のこと	乳幼児の育児に関すること	家族の人間関係のこと	その他	特にない	無回答
男性	青年層	200	50.0	44.5	59.5	13.5	22.0	29.5	39.5	25.0	15.5	12.0	13.0	5.5	1.5	6.0	0.0
	壮年層	237	55.3	60.8	59.5	36.3	27.8	39.2	24.9	21.9	18.6	10.1	5.9	5.5	1.7	3.4	1.3
	熟年層	338	65.1	59.2	30.2	51.5	35.5	10.1	9.8	16.0	9.8	10.7	2.4	10.1	0.9	6.2	1.8
女性	青年層	304	59.5	50.0	55.3	20.4	31.3	46.7	42.4	24.7	17.1	13.8	23.7	5.9	1.6	7.6	0.0
	壮年層	355	62.0	71.5	49.0	39.4	28.2	38.9	21.7	14.6	18.6	9.3	2.8	7.3	3.1	2.0	0.3
	熟年層	411	64.2	59.1	32.1	53.0	36.7	6.8	4.9	18.0	9.2	11.7	2.2	6.6	4.6	5.4	2.4

(2) 困ったときの家族以外の相談先

困ったときの家族以外の相談先

問20 もし、あなた自身がさまざまな場面で困ったとき、家族以外の誰に相談しますか。8を選んだ方は、ア～ウについても選んでください。（は3つまで）

「友人、サークル仲間」が50.3%で第1位、次いで「市役所などの行政機関」が27.9%、「近隣の知人」が23.9%、「職場の同僚、上司」が22.4%などで、「民生委員・児童委員」や「社会福祉協議会」は1割を割って低い結果となっています。

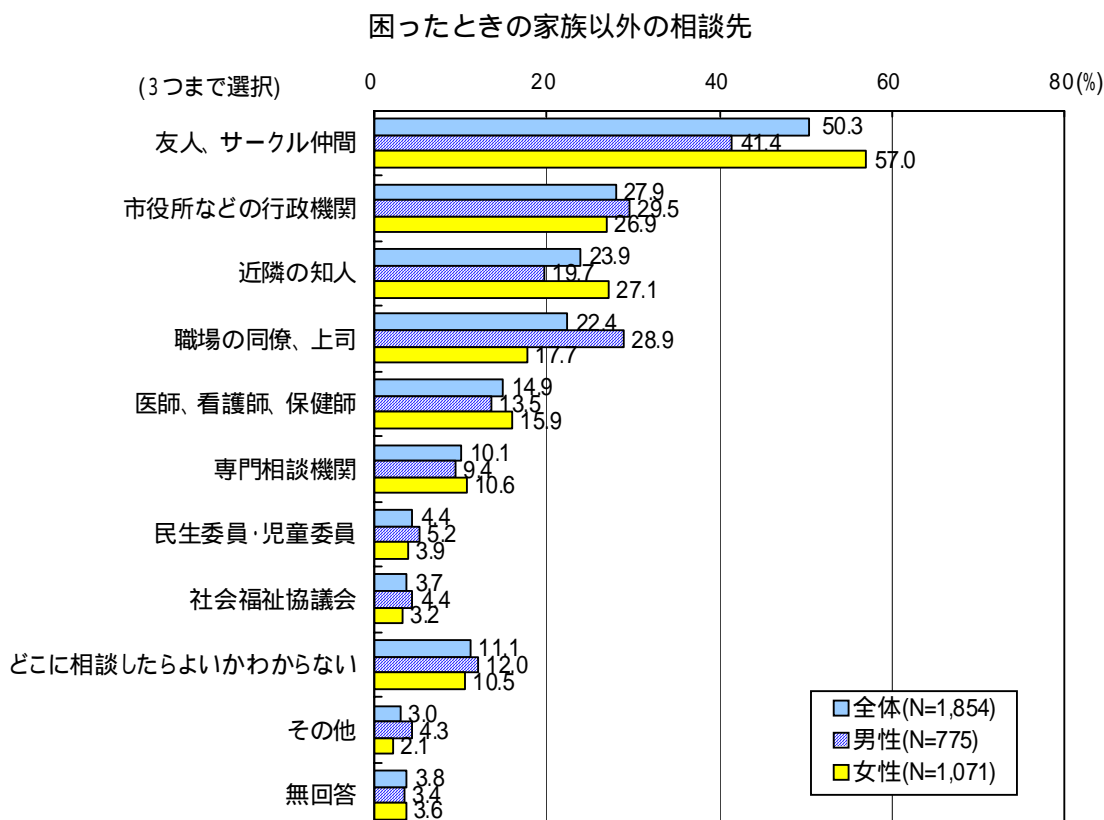
また、「どこに相談したらよいかわからない」が11.1%となっています。

専門相談機関の中では「介護支援センター」が33.5%で最も多く、次いで「地域生活支援センター」が27.1%、「地域包括支援センター」が14.4%です。

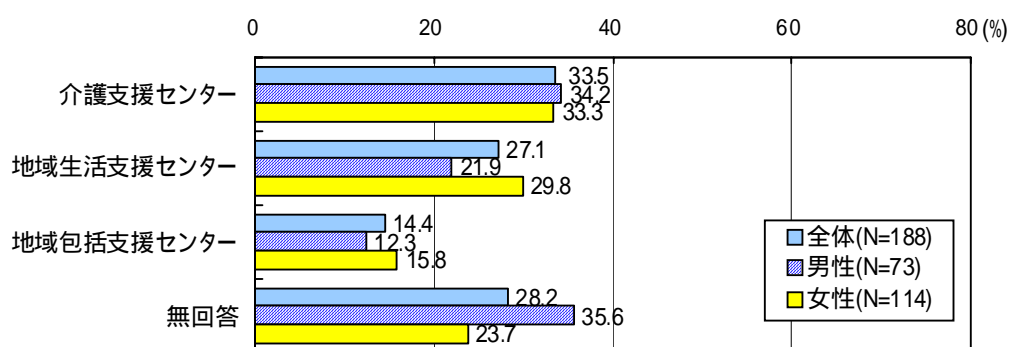
男女共に「友人、サークル仲間」が第1位ですが、男性が41.4%に対して女性は57.0%で女性が高く、また、女性は「近隣の知人」も男性よりも高くなっています。男性は「市役所などの行政機関」や「職場の同僚、上司」が女性よりも高く、これ以外の項目は男女で大差ありません。

「どこに相談したらよいかわからない」は、男性が12.0%、女性が10.5%です。

専門相談機関の中では、「地域生活支援センター」が男性の21.9%に対して女性は29.8%で、女性が高くなっていますが、その他は大差ありません。



専門相談機関の内容



青年層は、「友人、サークル仲間」が第1位で、男性が66.5%、女性が81.3%と特に女性が高くなっています。また、男女共に「職場の同僚、上司」が第2位で、男性は48.5%、女性は30.3%で、特に男性が高くなっています。

壮年層も「友人、サークル仲間」が第1位で、男性が47.3%、女性が68.2%と青年層と同様に女性が高くなっています。また、男性は「職場の同僚、上司」が第2位で、42.6%です。女性は「近隣の知人」や「市役所などの行政機関」がそれぞれ28.5%で第2位となっています。

熟年層は、男女共に「市役所などの行政機関」が第1位で、男性が41.4%、女性が33.8%です。次いで男女共に「近隣の知人」「友人、サークル仲間」と続き、いずれも男性より女性の方が高くなっています。また、「医師、看護師、保健師」や「民生委員・児童委員」「専門相談機関」は、いずれも他の年齢層よりも高くなっています。

性・年齢層別 困ったときの家族以外の相談先

	回答数	友人サークル仲間	市役所などの行政機関	近隣の知人	職場の同僚、上司	医師、看護師、保健師	専門相談機関	民生委員 児童委員	社会福祉協議会	どこに相談したらよいかわからない	その他	無回答	
男性	青年層	200	66.5	20.0	10.5	48.5	6.0	5.5	0.5	2.5	8.0	3.5	1.0
	壮年層	237	47.3	20.7	17.7	42.6	9.7	5.5	1.3	1.7	11.4	4.2	4.6
	熟年層	338	22.5	41.4	26.6	7.7	20.7	14.5	10.7	7.4	14.8	4.7	3.8
女性	青年層	304	81.3	15.8	17.1	30.3	6.3	4.3	0.3	1.0	10.5	0.7	2.0
	壮年層	355	68.2	28.5	28.5	23.4	14.6	9.0	1.7	3.1	9.0	3.9	2.3
	熟年層	411	29.2	33.8	33.3	3.6	24.1	16.8	8.5	4.9	11.7	1.7	6.1

相談先の範囲の変化

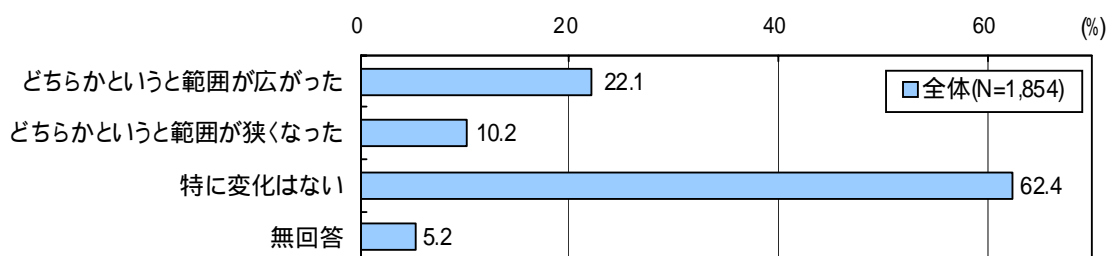
問20-1 相談できる相手先は、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（1つに）

「特に変化はない」が62.4%です。

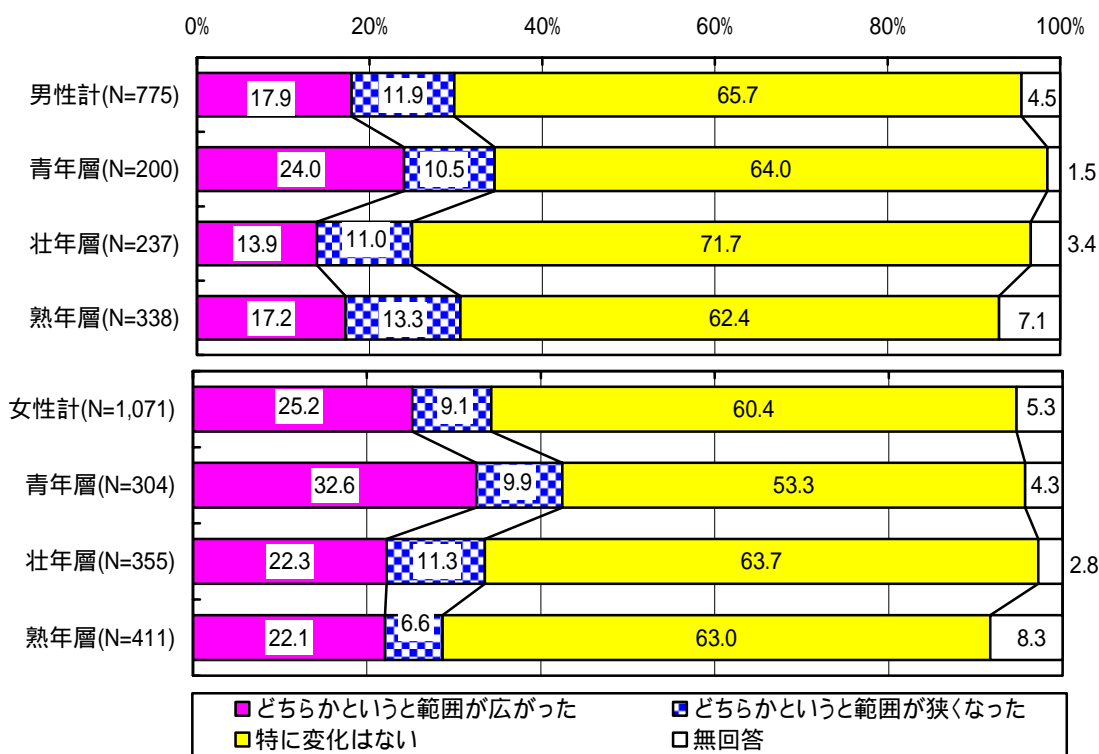
「どちらかという範囲が広がった」が22.1%で、「どちらかという範囲が狭くなった」の10.2%を11.9ポイント上回っています。

「どちらかという範囲が広がった」は、男性よりも女性が高くなっています。また、男女共に青年層で高く、特に女性が高くなっています。一方、「どちらかという範囲が狭くなった」は男性が若干高く、男性は熟年層が、女性は壮年層が若干高くなっています。

相談先の範囲の変化



性・年齢層別 相談先の範囲の変化



(3) 福祉に対する関心度

福祉に対する関心の有無

問21 あなたは、福祉に関心をお持ちですか。(1つに)

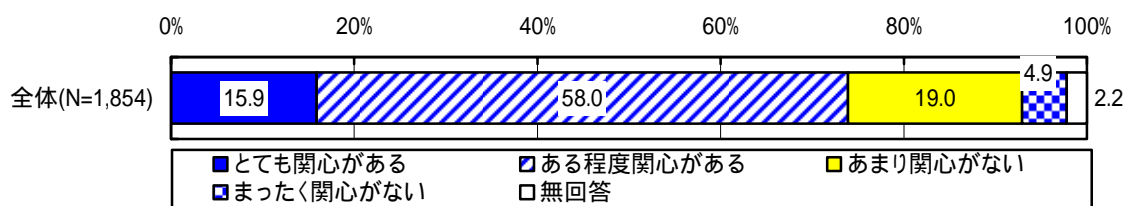
「とても関心がある」が15.9%、「ある程度関心がある」が58.0%で、両者を合わせた[関心がある]人は73.9%で、およそ3/4になります。

一方、「あまり関心がない」は19.0%、「まったく関心がない」は4.9%で、両者を合わせた[関心がない]人は23.9%で、およそ1/4となっています。

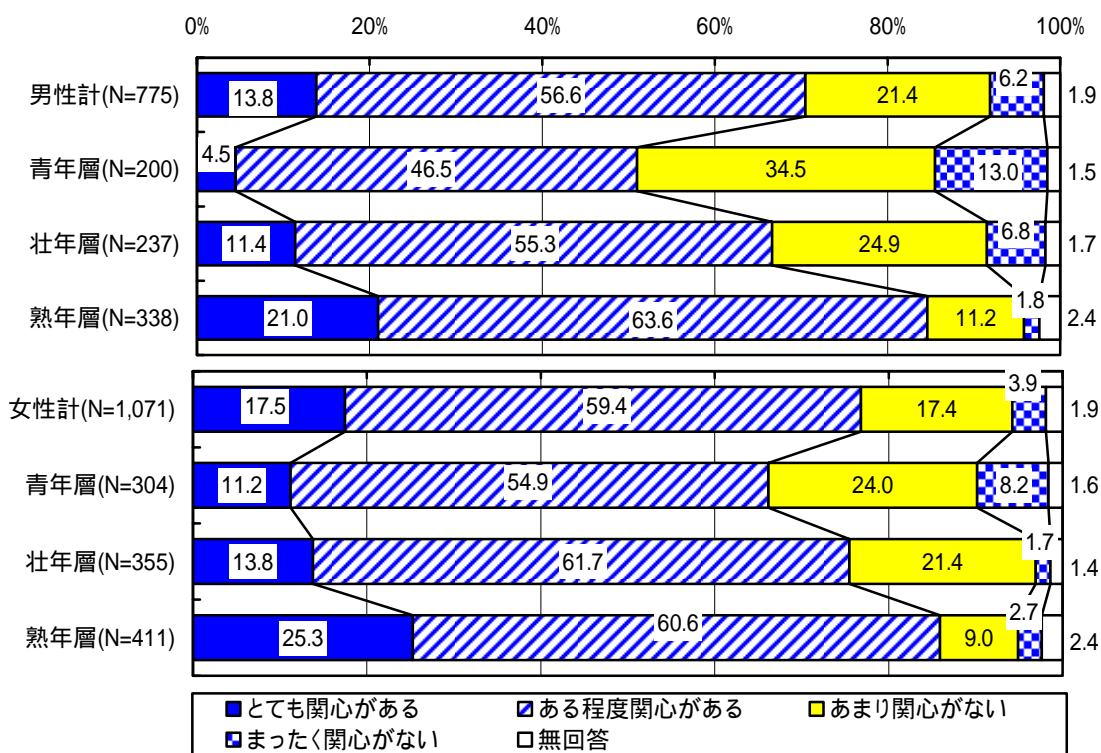
[関心がある]人は、男性が70.4%、女性が76.9%で女性が高く、女性は青年層でも66.1%と男性の51.0%よりも高くなっています。また、男女共に熟年層が高く、男性が84.6%、女性が85.9%です。

一方、[関心がない]人は、男性が27.6%、女性が21.3%で男性が高く、特に青年層は47.5%とおよそ半数で、「まったく関心がない」も13.0%と1割を超えています。

福祉に対する関心の有無



性・年齢層別 福祉に対する関心の有無



福祉に対する関心の変化

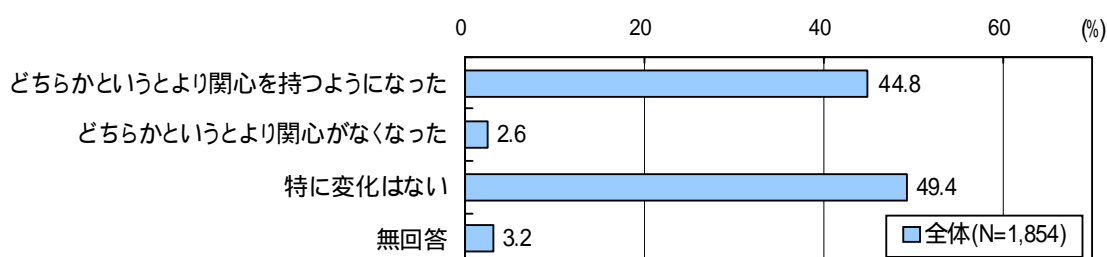
問21-1 あなたは、福祉への関心について、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（1つに ）

「特に変化はない」が49.4%です。

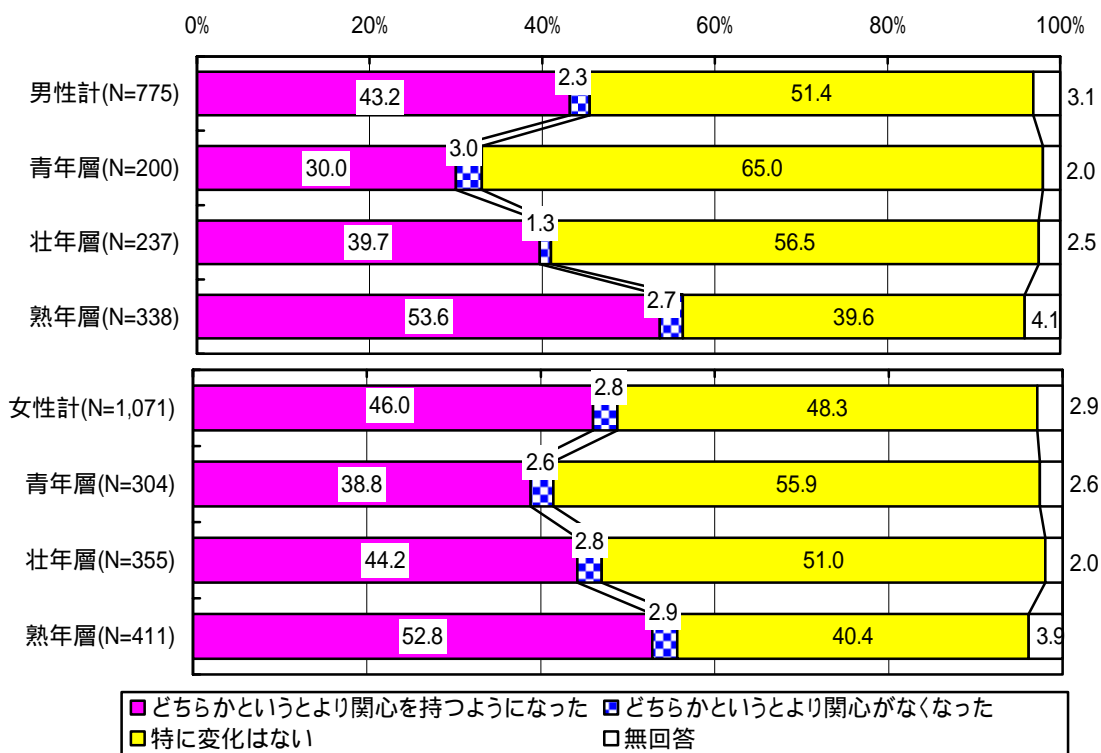
「どちらかというより関心を持つようになった」が44.8%で、「どちらかというより関心がなくなった」の2.6%を42.2ポイントも上回り、関心が高まっています。

「どちらかというより関心を持つようになった」は、男性が43.2%、女性が46.0%で大差ありません。男女共に青年層が最も低く、男性が30.0%、女性が38.8%で、年齢が上がるにしたがい高くなり、男女共に熟年層が高く、男性が53.6%、女性が52.8%で、半数を超えています。

福祉に対する関心の変化



性・年齢層別 福祉に対する関心の変化



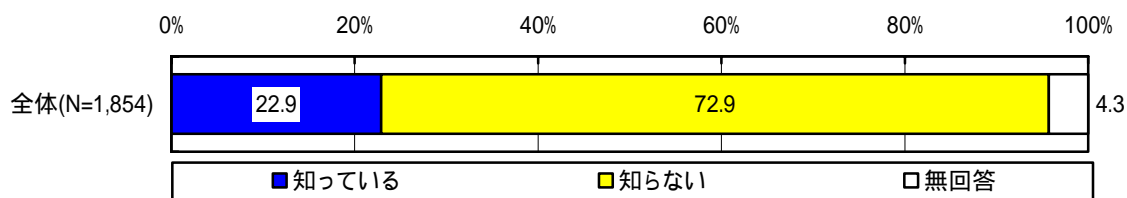
(4) 権利擁護の認知度

「権利擁護」の言葉の認知状況

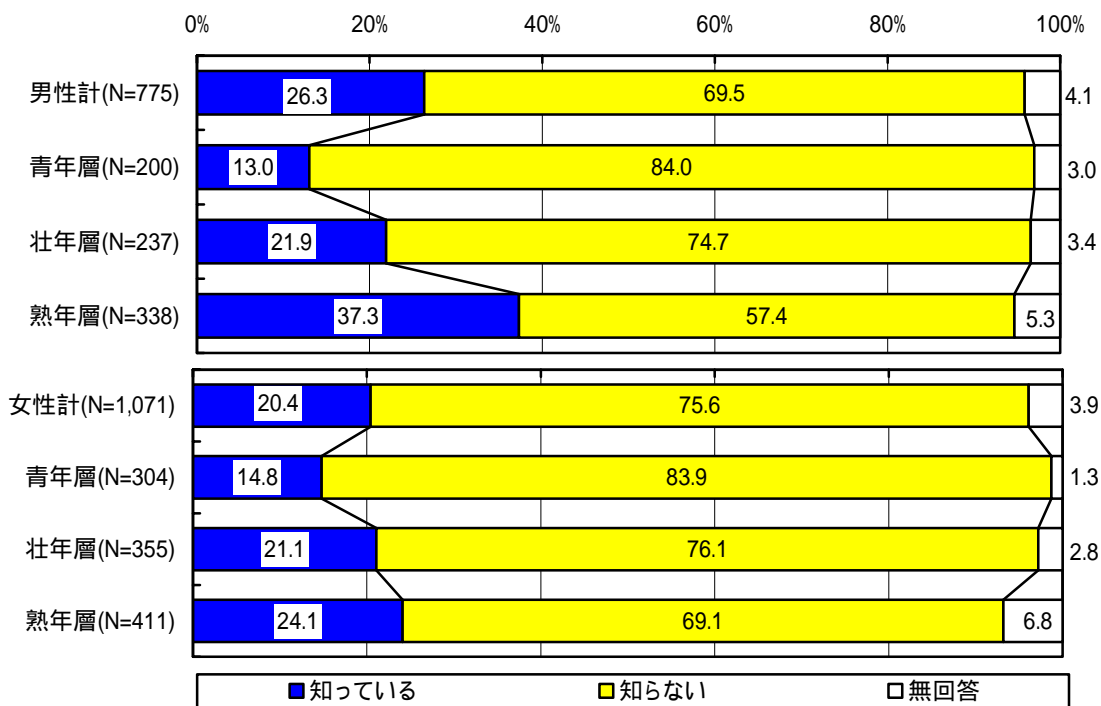
問22 あなたは、「権利擁護」という言葉をご存知ですか。(1つに)

「知っている」が22.9%、一方「知らない」が72.9%です。
 「知っている」は、男性が26.3%、女性が20.4%で、男性の方が高くなっています。
 男女共に青年層が最も低く、男性が13.0%、女性が14.8%で、年齢が上がるにしたがい高くなり、熟年層が最も高く、男性が37.3%、女性が24.1%で、男性の方が高くなっています。

「権利擁護」の言葉の認知状況



性・年齢層別 「権利擁護」の言葉の認知状況



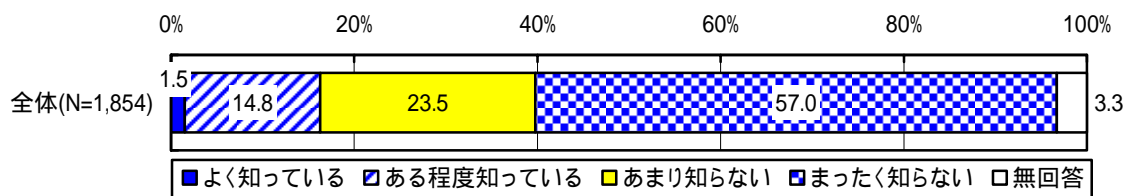
「地域福祉に関する権利擁護」の認知状況

問22-1 あなたは、「地域福祉に関する権利擁護」についてご存知ですか。（1つに ）

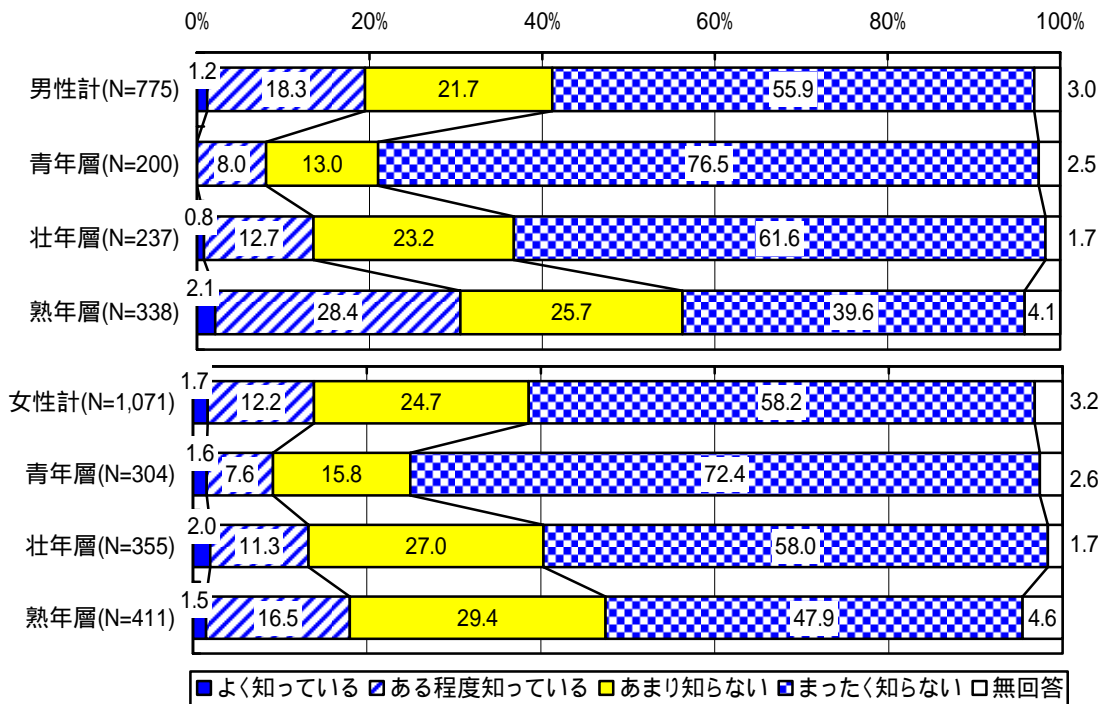
「よく知っている」は1.5%にすぎず、「ある程度知っている」が14.8%で、合わせて「知っている」は16.3%です。

「知っている」は、男性が19.5%、女性が13.9%で、権利擁護の言葉とともに男性の方が高くなっています。男女共に青年層が最も低く、男性が8.0%、女性が9.2%で、年齢が上がるにしたがい高くなり、熟年層が最も高く、男性が30.5%、女性が18.0%で、権利擁護の言葉と同様に男性の方が高くなっています。

「地域福祉に関する権利擁護」の認知状況



性・年齢層別 「地域福祉に関する権利擁護」の認知状況



(5) 住民相互の支え合い、助け合いの必要性

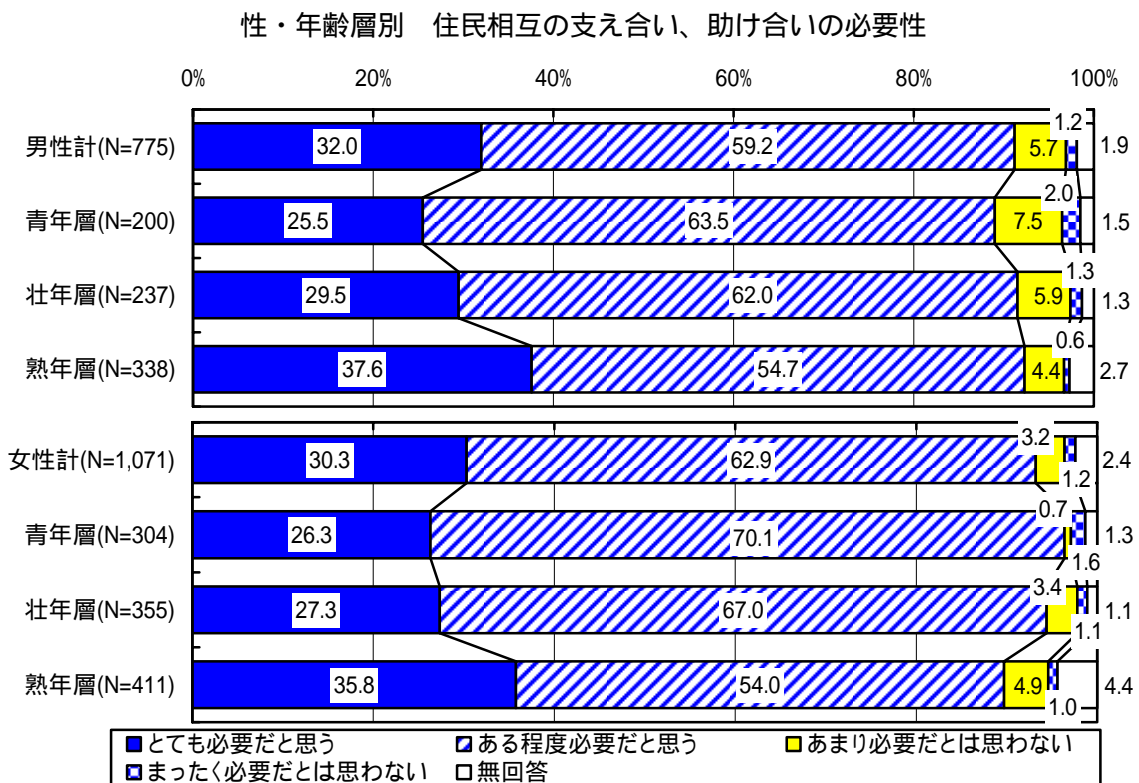
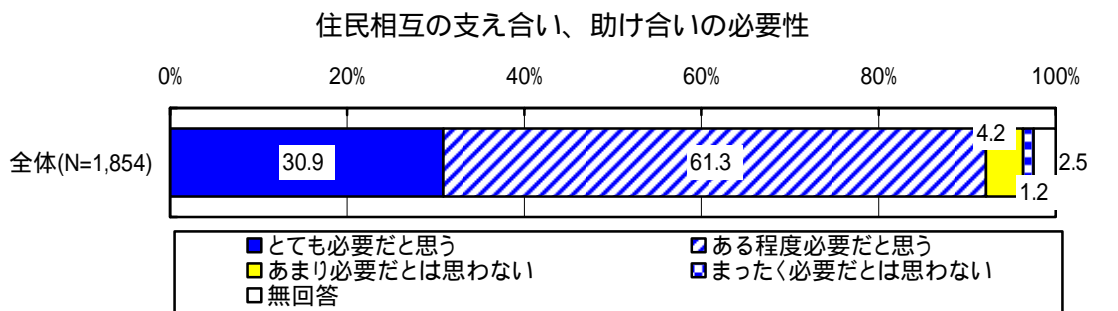
住民相互の支え合い、助け合いの必要性

問23 あなたは、地域の福祉課題に対し、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性についてどう思いますか。(1つに)

「とても必要だと思う」が30.9%、「ある程度必要だと思う」が61.3%で、両者を合わせた[必要だと思う]人は9割を占め、大半が必要性を認めています。

一方、「あまり必要だとは思わない」は4.2%、「まったく必要だとは思わない」は1.2%で、両者を合わせた[必要だとは思わない]人は、5.4%となっています。

「とても必要だと思う」は、男性が32.0%、女性が30.3%で、大差ありません。男女共に青年層が低いものの、男性は25.5%、女性は26.3%で、壮年層の男性の29.5%、女性の27.3%と大差ありません。また、男女共に熟年層が最も高く、男性が37.6%、女性が35.8%となっています。



住民相互の支え合い、助け合いの必要性についての変化

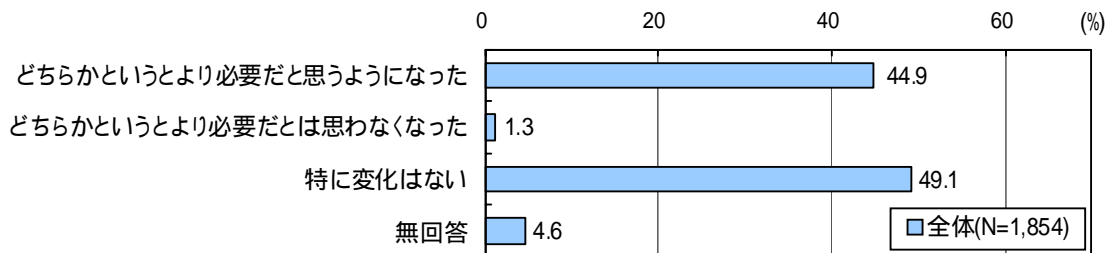
問23-1 問23の答えは、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（1つに ）

「特に変化はない」が49.1%です。

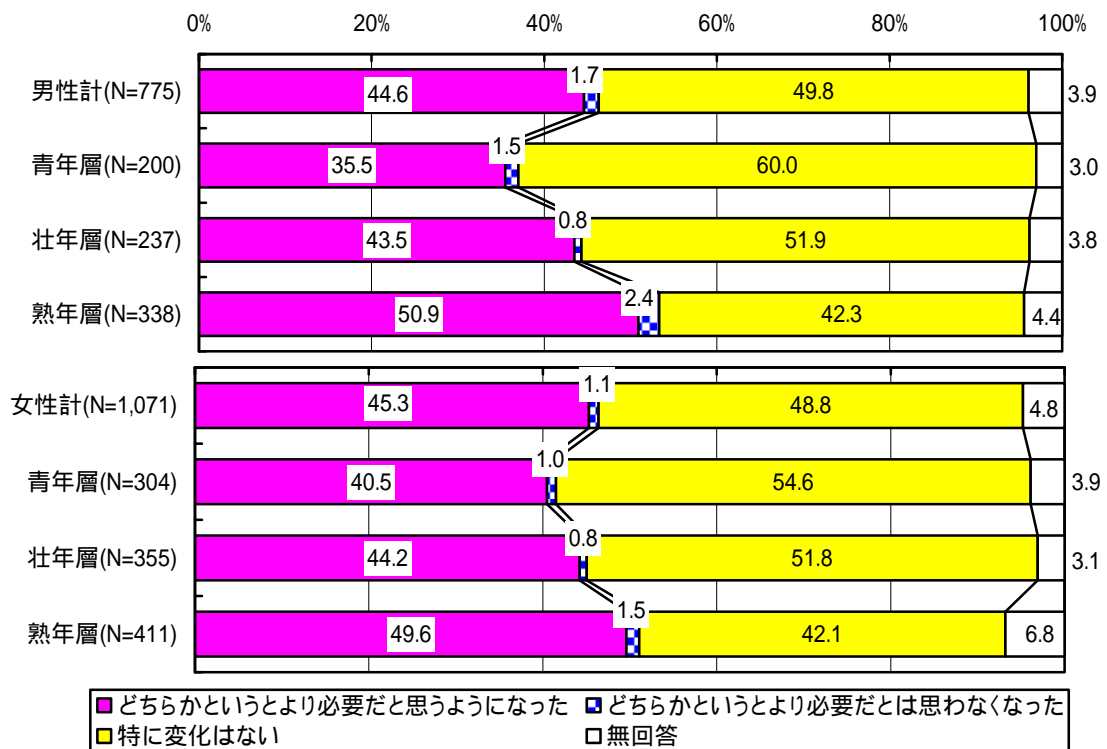
「どちらかというより必要だと思うようになった」が44.9%で、「どちらかというより必要だとは思わなくなった」の1.3%を43.6ポイントも上回り、必要性が高まっています。

「どちらかというより必要だと思うようになった」は、男性が44.6%、女性が45.3%で大差ありません。男女共に青年層が最も低く、男性が35.5%、女性が40.5%で、年齢が上がるにしたがい高くなり、男女共に熟年層が高く、男性が50.9%、女性が49.6%で、およそ半数となっています。

住民相互の支え合い、助け合いの必要性についての変化



性・年齢層別 住民相互の支え合い、助け合いの必要性についての変化



(6) 小地域福祉活動について

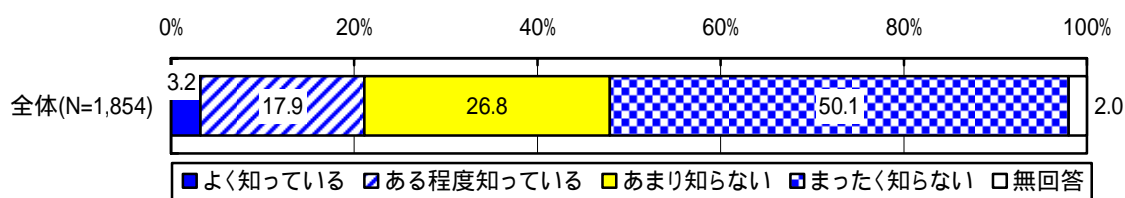
小地域福祉活動の認知状況

問24 あなたは、小地域福祉活動をご存知ですか。(1つに)

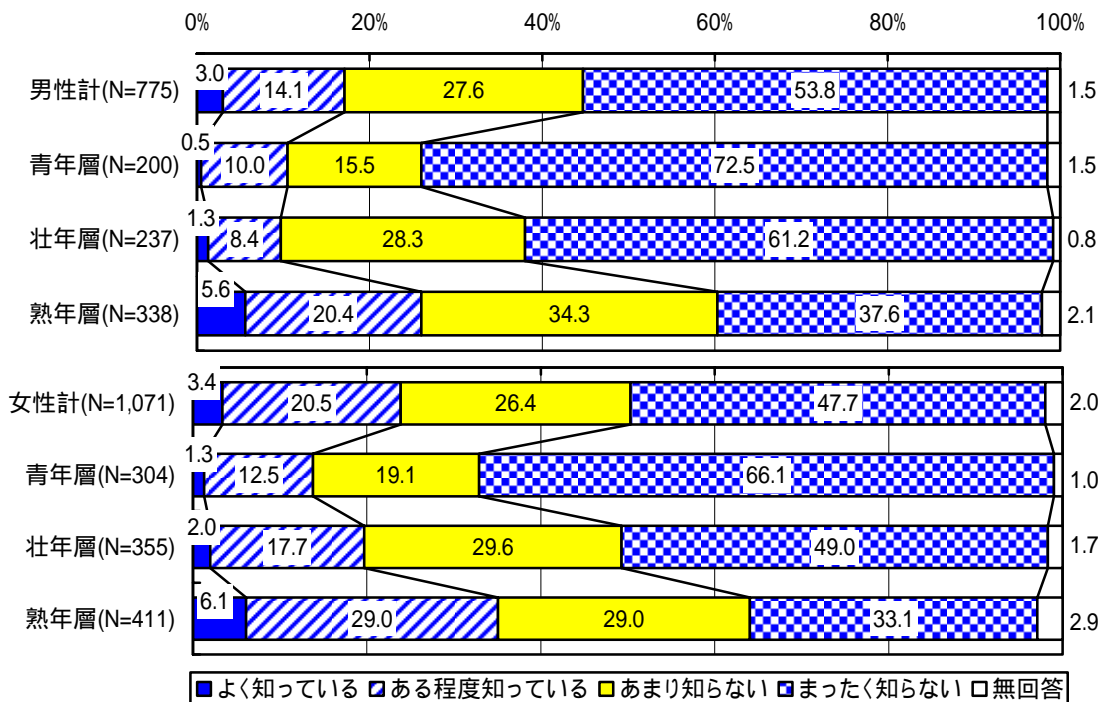
「よく知っている」は3.2%、「ある程度知っている」が17.9%で、合わせて[知っている]は21.1%です。

[知っている]は、男性が17.1%、女性が23.9%で、女性の方が高くなっています。男性は青年層とともに壮年層も低く、それぞれ10.5%、9.7%とおよそ1割です。女性は青年層が最も低く13.8%、壮年層が19.7%です。男女共に熟年層が最も高く、男性が26.0%、女性が35.1%で、女性の方が高くなっています。

小地域福祉活動の認知状況



性・年齢層別 小地域福祉活動の認知状況



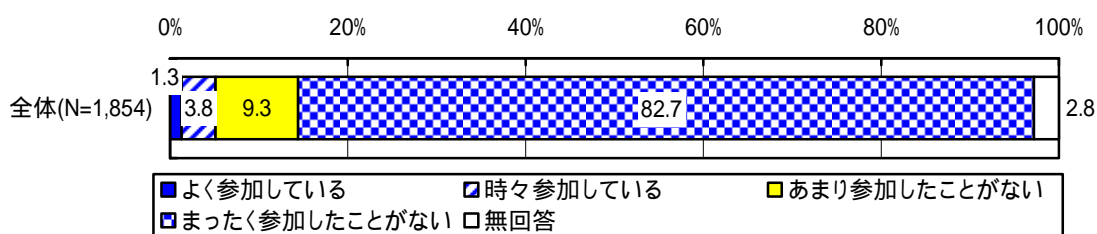
サービス提供など支援する側としての参加状況

問25 あなたは、小地域福祉活動に参加していますか。
サービスの提供など支援をする側として(1つに)

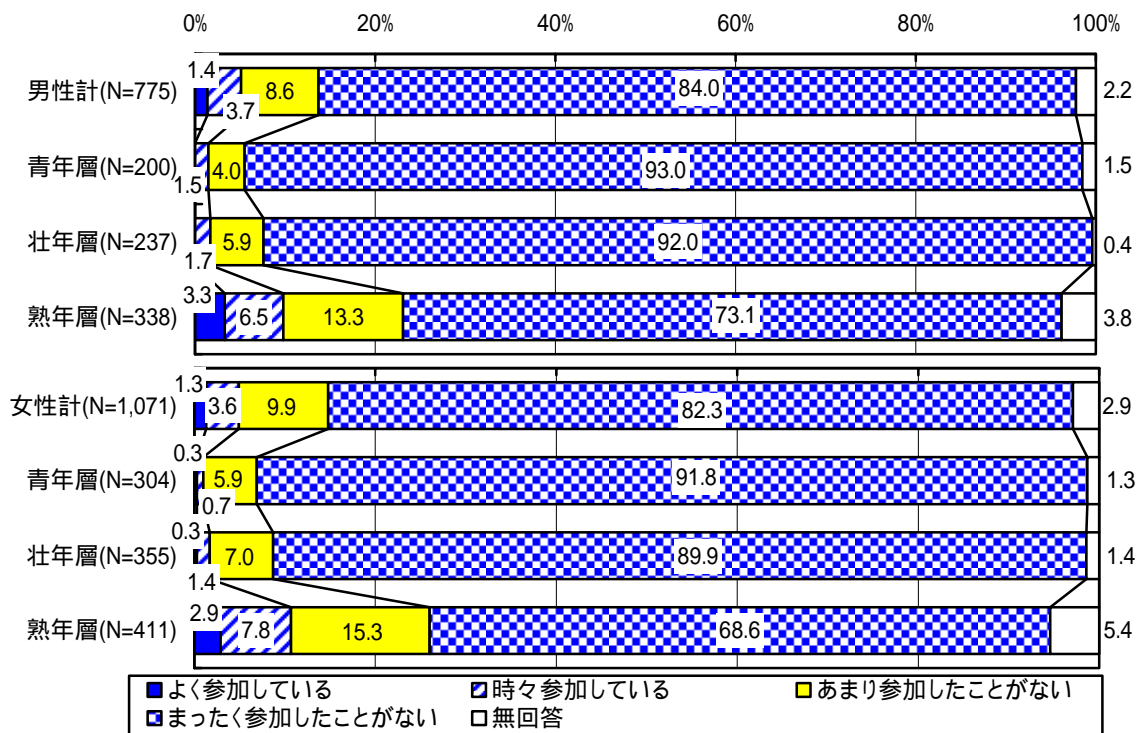
「よく参加している」が1.3%、「時々参加している」が3.8%で、両者を合わせた[参加している]人は、5.1%となっています。

一方、「まったく参加したことがない」は82.7%で、8割を超えて高くなっています。[参加している]は、男性が5.1%、女性が4.9%で同程度です。男女共に青年層、壮年層は低く、青年層は男性が1.5%、女性が1.0%、壮年層は男性が1.7%、女性も1.7%です。一方、男女共に熟年層が高く、男性が9.8%、女性が10.7%となっています。

サービス提供など支援する側としての小地域福祉活動への参加状況



性・年齢層別 サービス提供など支援する側としての小地域福祉活動への参加状況



サービスの利用など支援を受ける側としての参加状況

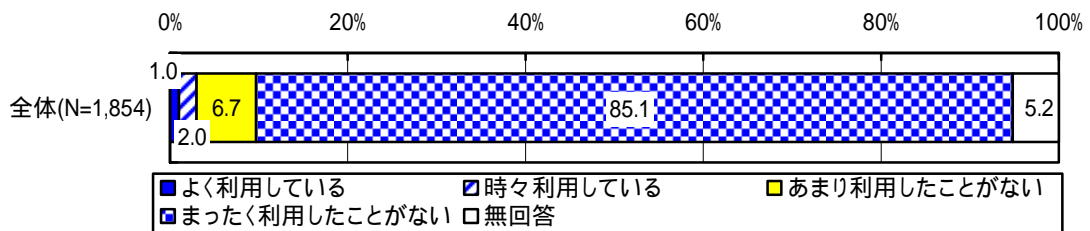
問25 あなたは、小地域福祉活動に参加していますか。
サービスの利用など支援を受ける側として（1つに ）

「よく利用している」が1.0%、「時々利用している」が2.0%で、両者を合わせた[利用している]人は3.0%で、支援をする側としての参加率の5.1%よりも低くなっています。

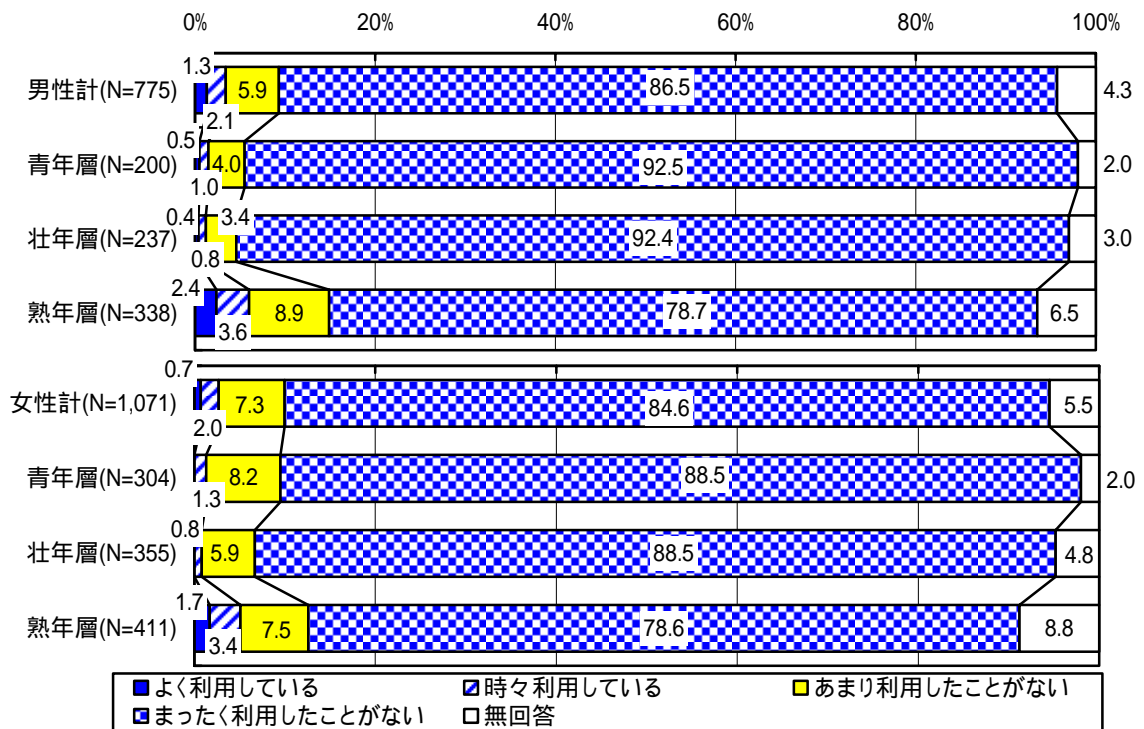
一方、「まったく利用したことがない」は85.1%と高くなっています。

[利用している]は、男性が3.4%、女性が2.7%で、男女共に青年層及び壮年層が相対的に低く、青年層は男性が1.5%、女性が1.3%、壮年層は男性が1.2%、女性が0.8%です。男女共に熟年層が相対的に高く、男性が6.0%、女性が5.1%となっています。

サービスの利用など支援を受ける側としての小地域福祉活動への参加状況



性・年齢層別 サービスの利用など支援を受ける側としての小地域福祉活動への参加状況



小地域福祉活動への参加意向

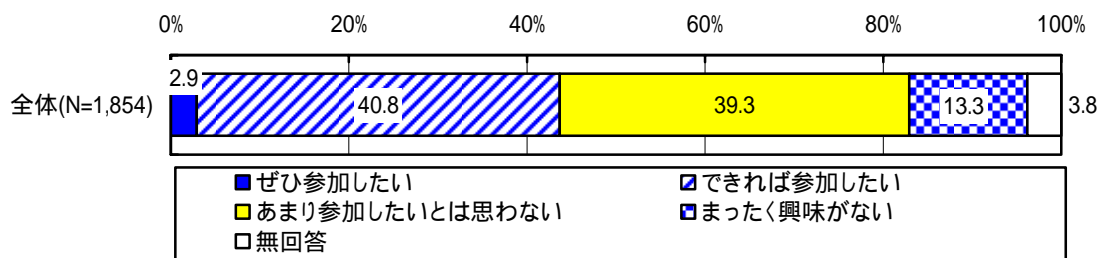
問26 あなたは、今後、小地域福祉活動に参加したいと思いますか。（1つに ）

「ぜひ参加したい」が2.9%、「できれば参加したい」が40.8%で、両者を合わせた[参加したい]人は43.7%です。

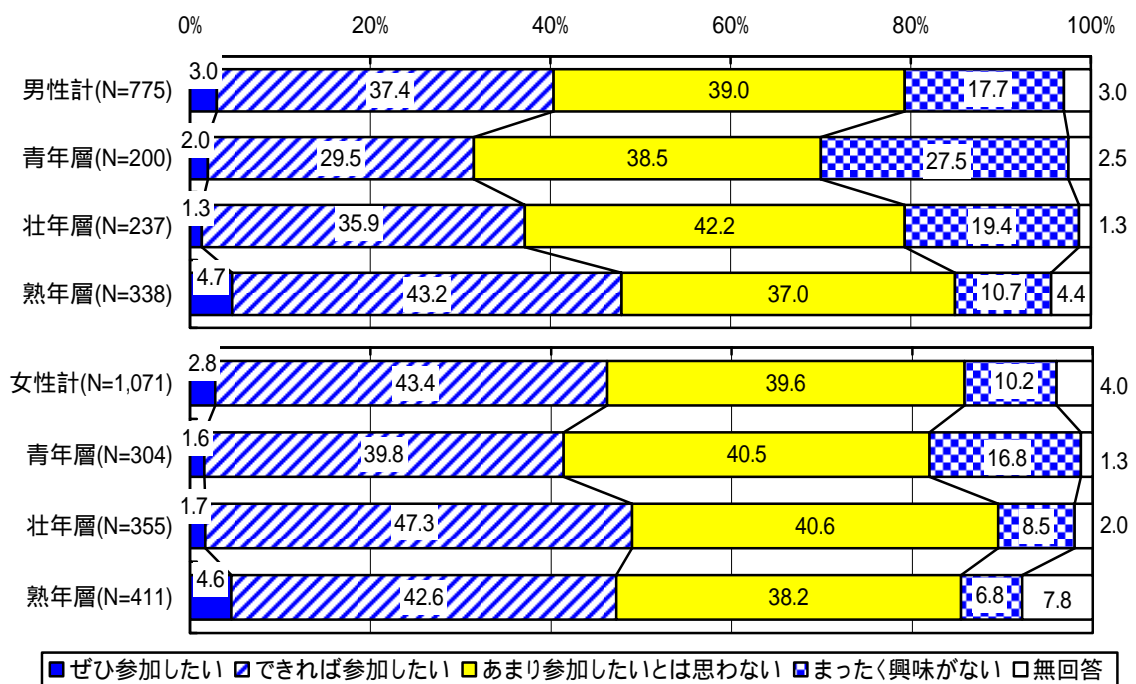
一方、「まったく興味がない」が13.3%、「あまり参加したいとは思わない」が39.3%で、両者を合わせた[参加したくない]人は52.6%で、[参加したい]人よりも8.9ポイント上回っています。

[参加したい]は、男性が40.4%、女性が46.2%で、女性の方が高くなっています。男女共に青年層が最も低くなっていますが、男性は31.5%、女性は41.4%で、女性が9.9ポイントも高くなっています。壮年層は男性が37.2%、女性が49.0%で、女性は11.8ポイントも高く、最も高くなっています。熟年層は男性が47.9%、女性が47.2%で同程度で、男性は最も高くなっています。

小地域福祉活動への参加意向



性・年齢層別 小地域福祉活動への参加意向



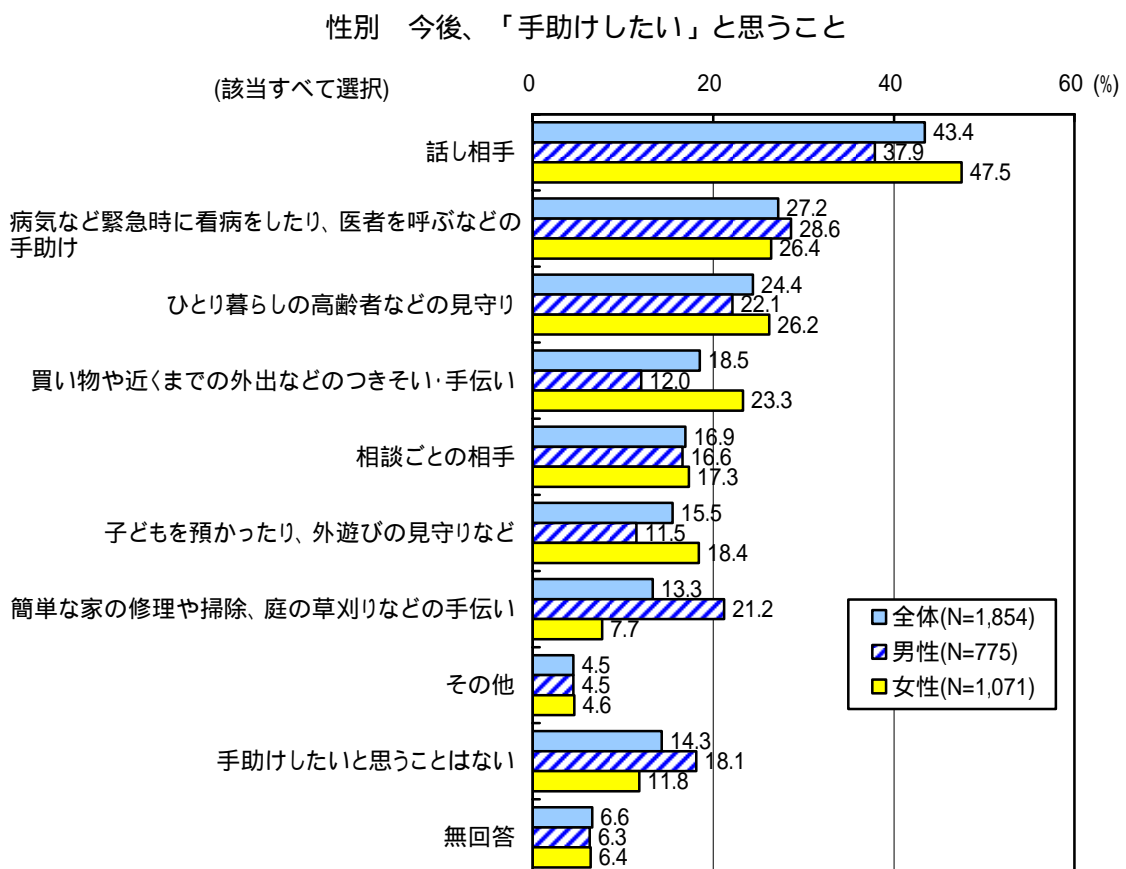
(7) ご近所とのつきあいの中での相互の支え合いや助け合い

今後、「手助けしたい」と思うこと

問27 今後、ご近所とのおつきあいの中で、「手助けしたい」と思うことがありますか。
(あてはまるものすべてに)

「手助けしたい」と思う人は、「手助けしたいと思うことはない」や無回答を除くと79.1%で、その中では「話し相手」が43.4%で第1位、次いで「病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」が27.2%、「ひとり暮らしの高齢者などの見守り」が24.4%、「買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い」が18.5%などとなっています。

「手助けしたい」と思う人は、男性が75.6%、女性が81.8%で女性の方が高くなっています。男女共に「話し相手」が第1位で、男性が37.9%、女性が47.5%で、女性はおよそ半数が挙げています。男性は、「簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い」が女性よりも特に高く、女性は「ひとり暮らしの高齢者などの見守り」や「買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い」「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」が男性よりも高くなっています。



「手助けしたい」と思う人は、男性の場合、壮年層が80.6%で最も高く、熟年層が73.9%、青年層でも72.5%が挙げています。その中では、「話し相手」はどの年齢層もおよそ4割程度で大差なく、「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」は青年層が19.0%と高く、「ひとり暮らしのお年寄りなどの見守り」は壮年層や熟年層が、「簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い」は壮年層が、「病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」は青年層や壮年層が高くなっています。

「手助けしたい」と思う人は、女性も壮年層が85.0%で最も高く、青年層が82.5%、熟年層が78.3%で、青年層が熟年層よりも高くなっています。「話し相手」は青年層でも43.1%と高く、特に熟年層は51.6%と半数を超えています。男性と同様に、「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」は青年層が高く37.5%となっています。「ひとり暮らしの高齢者などの見守り」や「買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い」は壮年層が高くなっています。

性・年齢層別 今後、「手助けしたい」と思うこと

		回答数	話し相手	病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け	ひとり暮らしの高齢者などの見守り	ひとり暮らしの高齢者などのつきそい・手伝い	買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い	相談ごとの相手	子どもを預かったり、外遊びの見守りなど	簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い	その他	手助けしたいと思うことはない	無回答
男性	青年層	200	38.0	31.0	14.0	9.0	17.0	19.0	16.5	3.0	22.5	5.0	
	壮年層	237	39.7	30.4	23.2	13.1	15.6	14.3	24.5	4.2	17.7	1.7	
	熟年層	338	36.7	26.0	26.0	13.0	17.2	5.0	21.6	5.6	15.7	10.4	
女性	青年層	304	43.1	29.9	20.7	21.1	15.1	37.5	10.2	3.6	15.5	2.0	
	壮年層	355	46.8	27.9	31.0	27.3	16.1	14.9	7.9	4.2	11.3	3.7	
	熟年層	411	51.6	22.6	26.3	21.7	20.0	7.1	5.6	5.6	9.5	12.2	

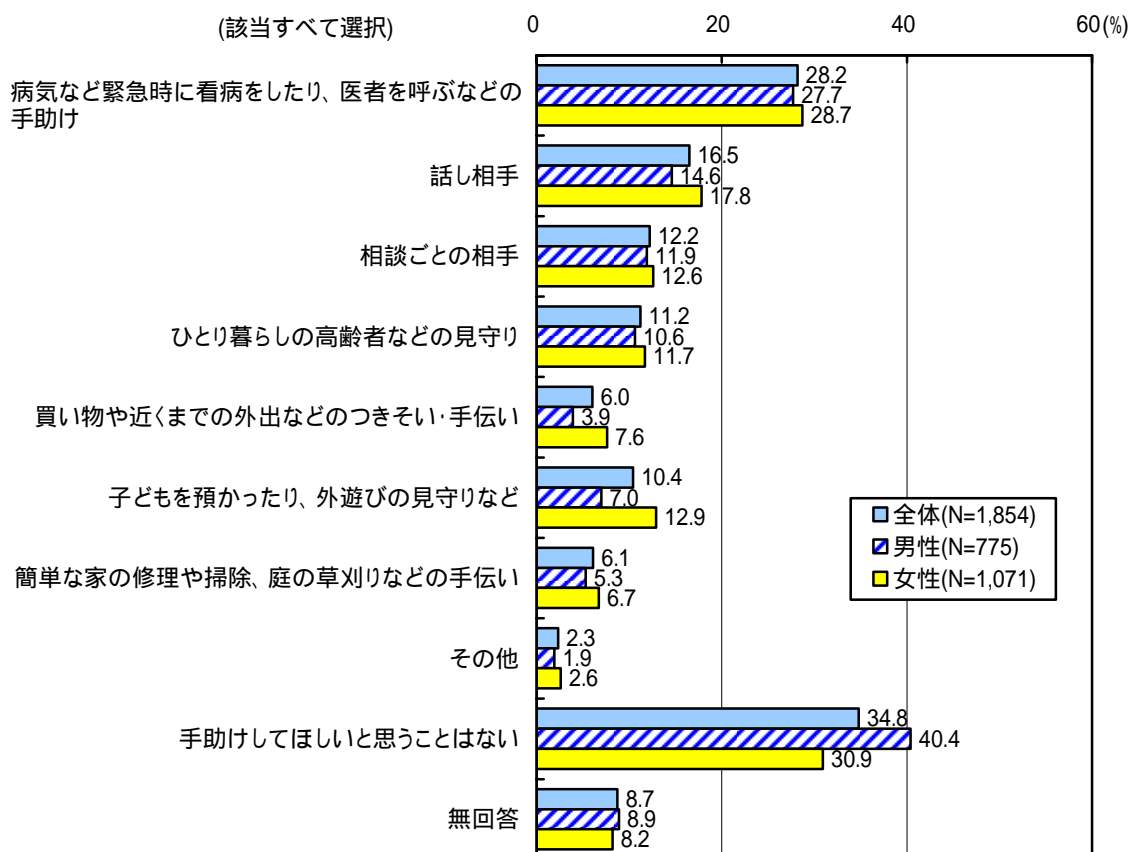
今後、「手助けをしてほしい」と思うこと

問27-1 今後、ご近所とおつきあいの中で、「手助けをしてほしい」と思うことがありますか。（あてはまるものすべてに ）

何らかの「手助けをしてほしい」と思う人は56.5%で、その中では「病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」が28.2%で第1位、次いで「話し相手」が16.5%、「相談ごとの相手」が12.2%、「ひとり暮らしの高齢者などの見守り」が11.2%などとなっています。

何らかの「手助けをしてほしい」と思う人は、男性が50.7%、女性が60.9%で、女性が高くなっています。男女共に「病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」が第1位で、男性が27.7%、女性が28.7%です。次いで「話し相手」で、男性が14.6%、女性が17.8%で、女性はこの他に「買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い」や「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」が男性より高く、その他は男女で大差ありません。

性別 今後、「手助けをしてほしい」と思うこと



何らかの「手助けをしてほしい」と思う人は、男性の場合、熟年層が52.4%で最も高く、青年層と壮年層がそれぞれ49.5%、49.4%で同程度です。「病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」は各年齢層大差なく、「話し相手」や「ひとり暮らしの高齢者などの見守り」は熟年層が、「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」は青年層が高くなっています。

何らかの「手助けをしてほしい」と思う人は、女性の場合、男性と異なり青年層が63.1%で最も高く、熟年層が61.8%、壮年層が57.7%です。病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け」や「話し相手」「ひとり暮らしの高齢者などの見守り」は熟年層が、「子どもを預かったり、外遊びの見守りなど」は青年層が特に高く、31.6%となっています。

「手助けしてほしいと思うことはない」は、男性の青年層と壮年層がそれぞれ44.5%、44.7%と高くなっています。

性・年齢層別 今後、「手助けをしてほしい」と思うこと

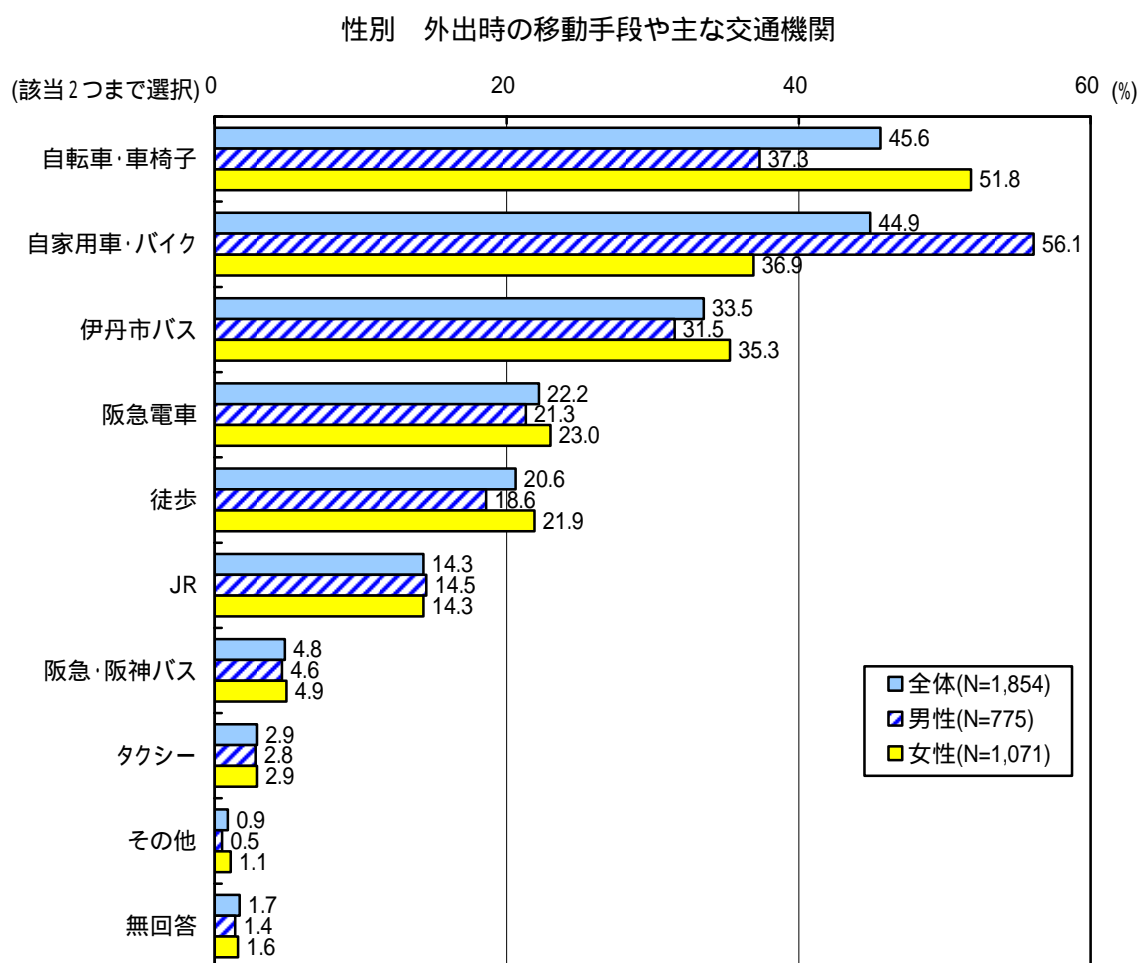
		回答数	病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け	話し相手	相談ごとの相手	ひとり暮らしの高齢者などの見守り	のつきそい手伝い	買い物や近くまでの外出などの見守りなど	子どもを預かったり、外遊びの見守りなど	草刈りなどの手伝い	簡単な家の修理や掃除、庭の	その他	手助けしてほしいと思うことはない	無回答
男性	青年層	200	27.5	12.5	11.5	9.0	2.0	13.5	3.5	2.0	44.5	6.0		
	壮年層	237	28.3	11.0	9.7	8.4	3.4	9.3	5.5	1.7	44.7	5.9		
	熟年層	338	27.5	18.3	13.6	13.0	5.3	1.5	6.2	2.1	34.9	12.7		
女性	青年層	304	26.0	12.8	12.8	4.6	5.6	31.6	3.9	1.6	33.9	3.0		
	壮年層	355	27.0	16.1	10.1	13.2	6.8	9.9	5.4	3.4	35.5	6.8		
	熟年層	411	32.1	23.1	14.6	15.6	9.7	1.5	10.0	2.7	24.8	13.4		

(8) 外出時の移動手段や主な交通機関

問28 あなたの外出時の移動手段、または主に利用する交通機関はどれですか。
(は2つまで)

よく利用されているのは「自転車・車椅子」と「自家用車・バイク」で、それぞれ45.6%、44.9%です。「伊丹市バス」が33.5%で第3位に挙げられ、「阪急電車」が22.2%、「徒歩」が20.6%などです。

男性は「自家用車・バイク」が56.1%で第1位、女性は「自転車・車椅子」が51.8%で第1位となっています。女性は「伊丹市バス」や「徒歩」が男性よりも高く、その他の交通手段は男女で大差ありません。



男性の場合、どの年齢層も「自家用車・バイク」が第1位で、青年層は「自転車・車椅子」が41.5%と高く、「阪急電車」や「JR」が他の年齢層よりも高く、壮年層は「自家用車・バイク」が68.8%と特に高く、熟年層は「伊丹市バス」や「徒歩」「タクシー」が他の年齢層よりも高くなっています。

女性の場合、青年・壮年層で「自転車・車椅子」が第1位で、青年層は「JR」が18.8%で他の年齢層よりも高く、壮年層は「自転車・車椅子」が62.3%と特に高く、熟年層は男性と同様に「伊丹市バス」や「徒歩」「タクシー」が他の年齢層よりも高くなっています。

性・年齢層別 外出時の移動手段や主な交通機関

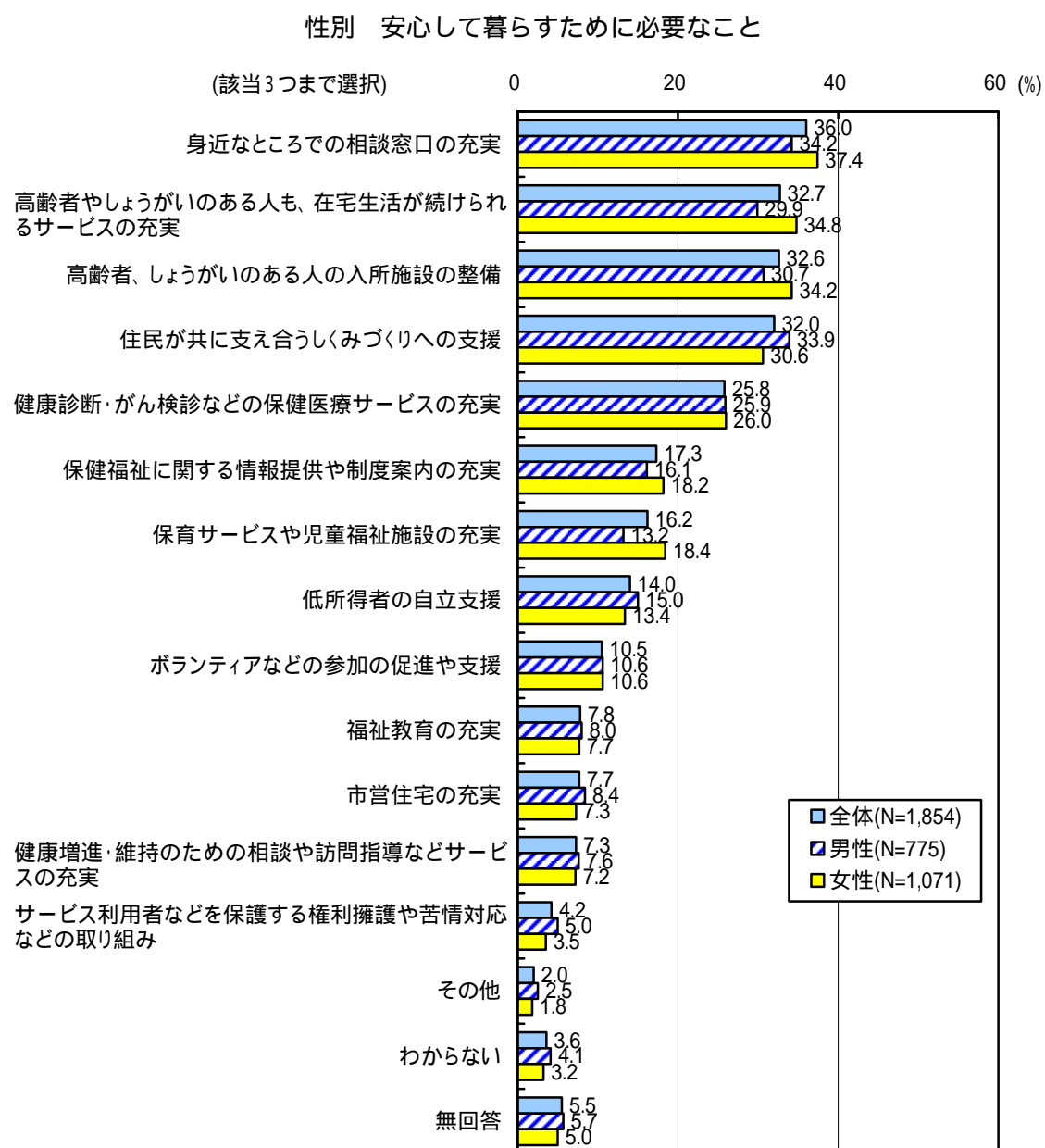
		回答数	自転車 車椅子	自家用車 バイク	伊丹市バス	阪急電車	徒歩	JR	阪急 阪神バス	タクシー	その他	無回答
男性	青年層	200	41.5	58.0	21.0	25.0	13.5	23.0	5.0	0.5	0.5	1.5
	壮年層	237	34.2	68.8	20.3	22.4	16.5	18.1	5.1	0.8	0.0	0.4
	熟年層	338	37.0	46.2	45.6	18.3	23.1	6.8	4.1	5.6	0.9	2.1
女性	青年層	304	56.6	47.0	22.4	23.0	22.0	18.8	4.6	0.7	0.0	1.0
	壮年層	355	62.3	45.6	27.0	22.8	19.2	13.0	5.9	1.7	0.3	0.8
	熟年層	411	39.2	21.7	52.1	22.9	24.3	12.2	4.4	5.6	2.7	2.7

(9) 安心して暮らすために必要なこと

問29 地域住民が安心して暮らせるようにするために、必要だと思うことは何ですか。
(は3つまで)

必要だと思うことの第1位は「身近なところでの相談窓口の充実」で36.0%、次いで「高齢者やしょうがいのある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実」(32.7%)、「高齢者、しょうがいのある人の入所施設の整備」(32.6%)で、「住民が共に支え合うしくみづくりへの支援」が32.0%で第4位に挙げられます。

男女共に「身近なところでの相談窓口の充実」が第1位で、男性が34.2%、女性が37.4%、次いで男性は「住民が共に支え合うしくみづくりへの支援」で33.9%、女性は「高齢者やしょうがいのある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実」で34.8%です。



男性の場合、必要なことの第1位は、青年層が「住民が共に支え合うしくみづくりへの支援」で31.5%、壮年層が「身近なところでの相談窓口」で37.1%、熟年層が「高齢者やしょうがいのある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実」で37.3%です。また、青年層は「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」や「保育サービスや児童福祉施設の充実」「低所得者の自立支援」が他の年齢層よりも高く、壮年層は「ボランティアなどの参加の促進や支援」が、熟年層は「高齢者、しょうがいのある人の入所施設の整備」が他の年齢層よりも高くなっています。

女性の場合、必要なことの第1位は、青年層が「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」で39.5%、壮年層が男性と同様に「身近なところでの相談窓口」で43.9%、熟年層がやはり男性と同様に「高齢者やしょうがいのある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実」で42.8%です。また、青年層は男性と同様に「保育サービスや児童福祉施設の充実」「低所得者の自立支援」が他の年齢層よりも高く、壮年層は「保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実」が、熟年層は「高齢者、しょうがいのある人の入所施設の整備」や「住民が共に支え合うしくみづくりへの支援」が他の年齢層よりも高くなっています。

性・年齢層別 安心して暮らすために必要なこと

		回答数	身近なところでの相談窓口の充実	高齢者やしょうがいのある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実	高齢者、しょうがいのある人の入所施設の整備	住民が共に支え合うしくみづくりへの支援	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実	保育サービスや児童福祉施設の充実	低所得者の自立支援	ボランティアなどの参加の促進や支援	福祉教育の充実	市営住宅の充実	健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実	サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み	その他	わからない	無回答
男性	青年層	200	26.5	18.5	20.0	31.5	29.0	16.5	26.5	20.5	8.0	11.0	10.5	4.0	6.0	4.0	8.0	7.0
	壮年層	237	37.1	29.1	31.6	34.2	26.2	15.2	11.4	16.5	13.9	11.0	9.3	8.9	5.5	1.7	3.4	3.4
	熟年層	338	36.7	37.3	36.4	35.2	24.0	16.6	6.5	10.7	9.8	4.1	6.5	8.9	4.1	2.1	2.4	6.5
女性	青年層	304	37.8	24.0	21.7	25.0	39.5	15.8	38.5	18.1	9.5	9.5	7.2	7.2	2.0	2.3	4.6	3.3
	壮年層	355	43.9	34.9	36.6	30.7	24.2	20.8	14.9	12.1	9.9	8.7	6.5	5.1	4.5	2.3	1.1	5.1
	熟年層	411	31.4	42.8	41.4	34.5	17.3	17.8	6.3	11.2	11.9	5.4	8.0	9.0	3.9	1.0	3.9	6.3

4 地域福祉にかかわる機関や団体などについて

(1) 伊丹市社会福祉協議会について

伊丹市社会福祉協議会の認知状況

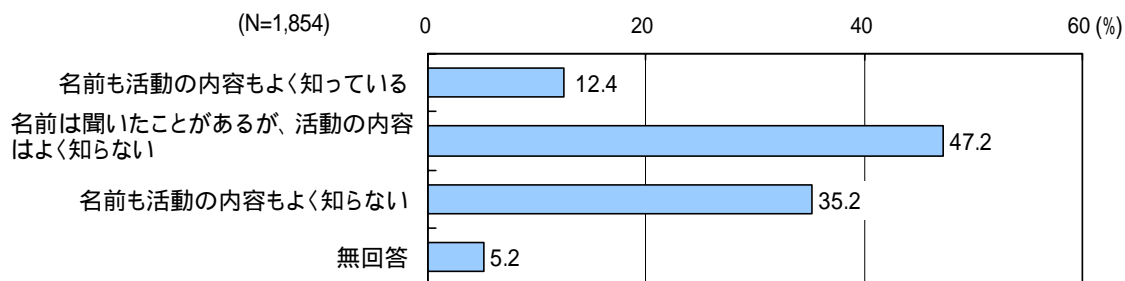
問30 市には、地域福祉を推進し、社会福祉への住民参加を促し意識の高揚を図るための諸活動を行う「伊丹市社会福祉協議会（市社協）」があります。あなたはこの組織をご存知ですか。（1つに ）

伊丹市社会福祉協議会について「名前も活動の内容もよく知っている」が12.4%、「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」が47.2%で、名前の認知度は合わせて59.6%となっています。

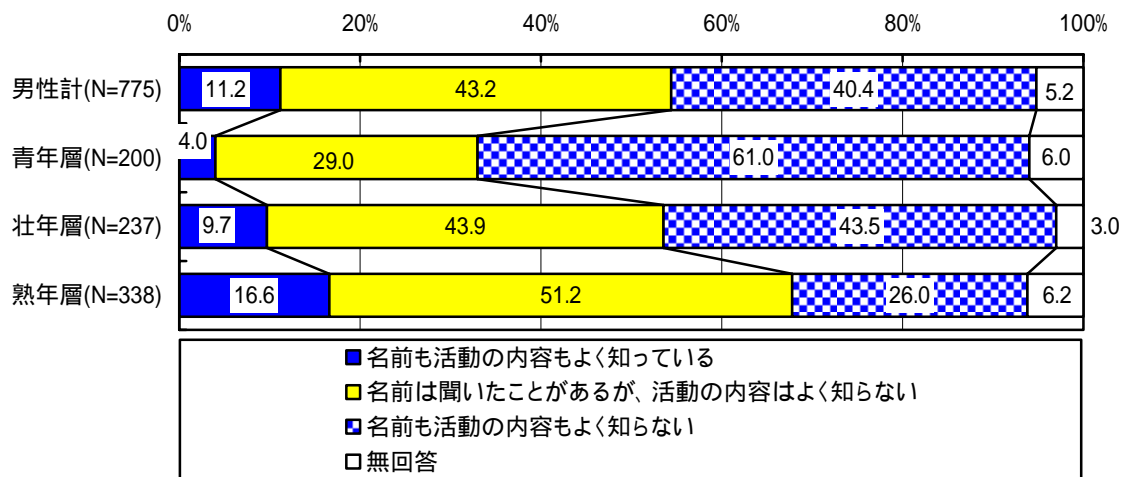
一方、「名前も活動の内容もよく知らない」は35.2%で、およそ1/3となっています。「名前も活動の内容もよく知っている」は、男性が11.2%、女性が13.2%で、男女共に青年層が低く、男性が4.0%、女性が7.2%です。年齢が上がるにしたがい認知率が高くなり、熟年層が最も高く、男性が16.6%、女性が18.2%です。青年層は名前の認知度は男性が33.0%、女性が42.4%です。

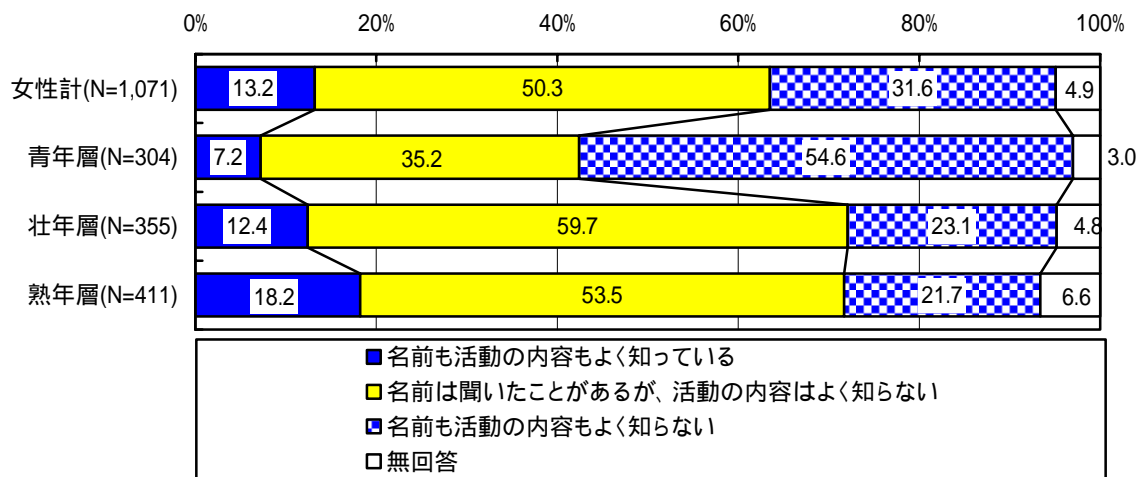
一方、「名前も活動の内容もよく知らない」は、男性が40.4%、女性が31.6%で、青年層が最も高く、男性が61.0%、女性が54.6%です。

伊丹市社会福祉協議会の認知状況



性・年齢層別 伊丹市社会福祉協議会の認知状況





伊丹市社会福祉協議会の事業の認知状況

問30-1 市社協の事業についてご存知ですか。（ご存知のものすべてに ）

伊丹市社会福祉協議会の事業について、「いずれも知らない」及び無回答を除くと、知っている人は49.5%とおよそ半数です。その中では、「共同募金会・日本赤十字社の事務局運営」が23.7%で第1位で、次いで「ひとり暮らし高齢者への安否確認の電話訪問や給食サービス」が22.9%、「地区社会福祉協議会などの地域住民による福祉活動の組織づくり」が21.0%、「市民のボランティア活動の振興」が18.4%、「民生委員児童委員連合会の事務局運営」が16.6%などと続きます。

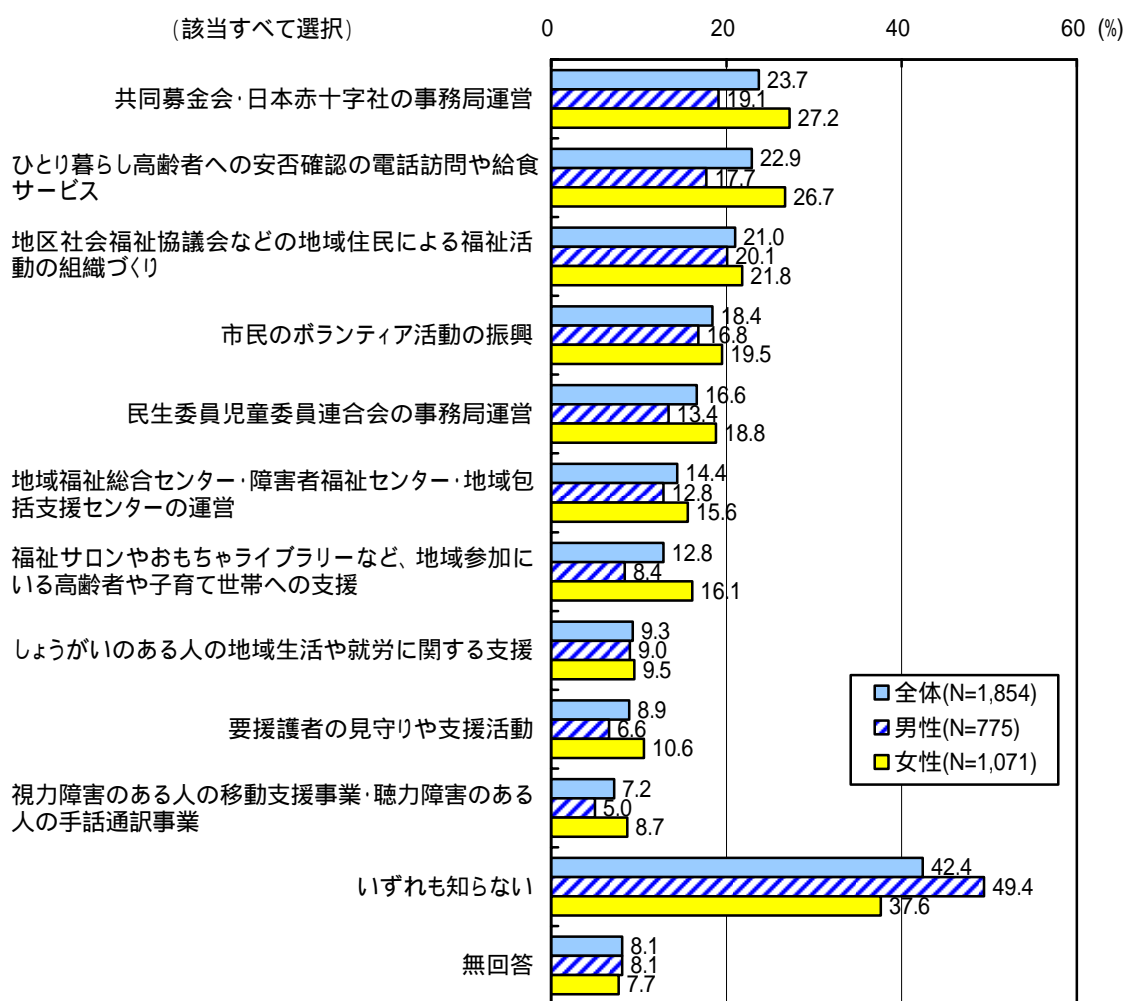
一方、「いずれも知らない」は42.4%となっています。

伊丹市社会福祉協議会の事業について知っている人は、男性が42.5%、女性が54.7%で、女性の方が高くなっています。男性は「地区社会福祉協議会などの地域住民による福祉活動の組織づくり」が20.1%で第1位、次いで「共同募金会・日本赤十字社の事務局運営」(19.1%)、「ひとり暮らし高齢者への安否確認の電話訪問や給食サービス」(17.7%)などと続きます。女性は「共同募金会・日本赤十字社の事務局運営」が27.2%で第1位、次いで「ひとり暮らし高齢者への安否確認の電話訪問や給食サービス」(26.7%)、「地区社会福祉協議会などの地域住民による福祉活動の組織づくり」(21.8%)などと続きます。

女性はどの事業も男性よりも認知率が高く、「いずれも知らない」は男性が49.4%、女性が37.6%です。

伊丹市社会福祉協議会の事業についての認知率は、男女共に青年層が最も低く、男性が23.5%、女性が35.5%で、熟年層が最も高く、男性が56.2%、女性が65.7%です。ほとんどの事業の認知率は、男女共に熟年層が高くなっています。

性別 伊丹市社会福祉協議会の事業の認知状況



性・年齢層別 伊丹市社会福祉協議会の事業の認知状況

	回答数	事業												いずれも知らない	無回答
		共同募金 白本赤十字社の事務局運営	ひとり暮らし高齢者への安否確認の電話訪問や給食サービス	地区社会福祉協議会などの地域住民による福祉活動の組織づくり	市民のボランティア活動の振興	民生委員児童委員連合会の事務局運営	地域福祉総合センター・障害者福祉センター・地域包括支援センターの運営	福祉サロンやおもちゃライブラリーなど、地域参加に いる高齢者や子育て世帯への支援	しょうがいのある人の地域生活や就労に関する支援	要援護者の見守りや支援活動	視力障害のある人の移動支援事業 聴力障害のある人の手話通訳事業	いずれも知らない	無回答		
男性	青年層	200	10.0	6.5	9.0	7.0	5.0	5.5	6.0	5.0	2.0	2.0	68.5	8.0	
	壮年層	237	13.9	12.7	18.1	16.0	12.2	11.4	8.0	9.3	5.9	4.2	56.1	5.1	
	熟年層	338	28.1	27.8	28.1	23.1	19.2	18.0	10.1	11.2	9.8	7.4	33.4	10.4	
女性	青年層	304	12.2	11.2	10.5	11.2	9.5	10.5	13.2	8.9	5.9	4.9	60.9	3.6	
	壮年層	355	26.5	24.8	25.4	21.4	19.7	17.7	18.0	8.5	10.7	9.9	34.6	6.8	
	熟年層	411	38.9	39.9	27.0	24.1	24.8	17.5	16.5	10.9	13.9	10.5	22.9	11.4	

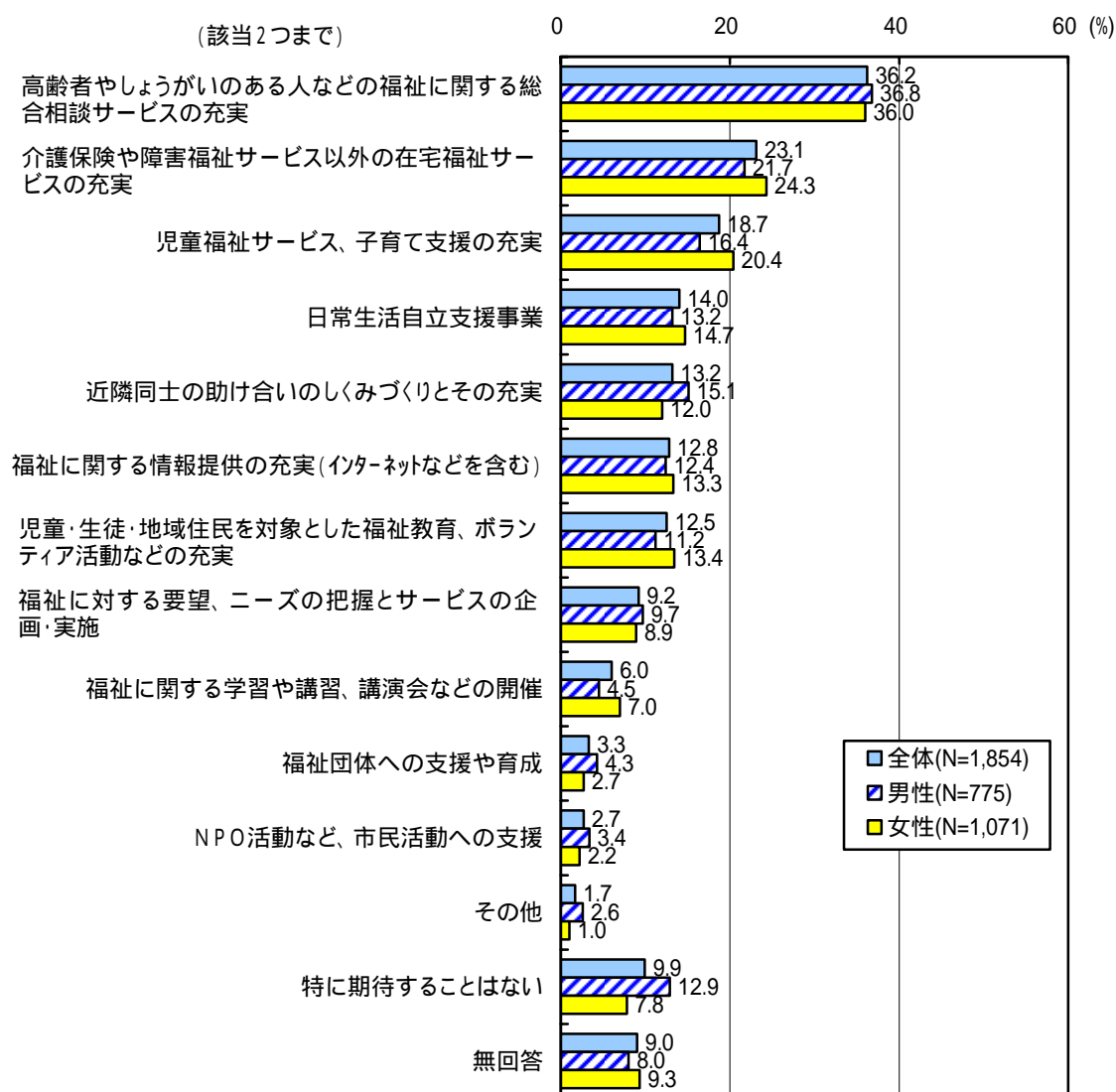
伊丹市社会福祉協議会に期待すること

問30-2 市社協にどのようなことを期待しますか。(は2つまで)

伊丹市社会福祉協議会への期待は、「特に期待することはない」及び無回答を除くと、[期待する人]は81.1%です。その中では、「高齢者やしょうがいのある人などの福祉に関する総合相談サービスの充実」が36.2%で第1位で、次いで「介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実」が23.1%、「児童福祉サービス、子育て支援の充実」が18.7%、「日常生活自立支援事業」が14.0%、「近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実」が13.2%などと続きます。「福祉団体への支援や育成」「NPO活動など、市民活動への支援」はそれぞれ3.3%、2.7%と低くなっています。

伊丹市社会福祉協議会に期待する人は、男性が79.1%、女性が82.9%で、女性の方が若干高くなっています。男女共に上位4位までは全体と同じ項目で、「児童福祉サービス、子育て支援の充実」以外は大きな差ありません。

性別 伊丹市社会福祉協議会に期待すること



伊丹市社会福祉協議会への期待は、男性の場合、青年層が74.5%で最も低く、壮年層が79.7%、熟年層が81.3%で最も高くなっています。「特に期待することはない」及び無回答を除くと、期待する人は81.1%です。その中では、「高齢者やしょうがいのある人などの福祉に関する総合相談サービスの充実」や「介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実」は熟年層が最も高く、「児童福祉サービス、子育て支援の充実」は青年層が最も高くなっています。

女性の場合は、伊丹市社会福祉協議会へ期待する人は青年層と壮年層がそれぞれ85.2%、85.3%と高く、熟年層が78.8%で最も低くなっています。その中では、「高齢者やしょうがいのある人などの福祉に関する総合相談サービスの充実」や「介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実」はやはり熟年層が最も高く、「児童福祉サービス、子育て支援の充実」は青年層が最も高くなっています。また、青年層では「児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動などの充実」が男性よりも高くなっています。

「近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実」は男性の場合、壮年層が16.5%で最も高いものの、熟年層が15.7%、青年層が12.5%と大差ありません。女性は熟年層が14.8%で最も高く、壮年層が11.0%、青年層が9.2%で、大差ありません。

性・年齢層別 伊丹市社会福祉協議会に期待すること

		回答数	高齢者やしょうがいのある人などの福祉に関する総合相談サービスの充実	介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実	児童福祉サービス、子育て支援の充実	日常生活自立支援事業	近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実	福祉に関する情報提供の充実(インターネットを含む)	児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動などの充実	福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施	福祉に関する学習や講習、講演会などの開催	福祉団体への支援や育成	NPO活動など、市民活動への支援	その他	特に期待することはない	無回答
男性	青年層	200	23.0	14.5	30.0	11.5	12.5	12.0	15.0	11.0	4.0	1.5	3.0	2.5	17.5	8.0
	壮年層	237	34.2	21.5	17.7	15.6	16.5	10.1	11.8	11.0	3.8	4.6	3.4	2.5	14.8	5.5
	熟年層	338	46.7	26.0	7.4	12.4	15.7	14.2	8.6	8.0	5.3	5.6	3.6	2.7	8.9	9.8
女性	青年層	304	19.4	17.1	44.1	10.5	9.2	12.5	23.0	12.2	4.6	3.6	3.0	1.0	10.5	4.3
	壮年層	355	38.3	24.5	14.4	15.5	11.0	16.9	13.5	9.3	8.7	2.8	3.1	1.4	6.5	8.2
	熟年層	411	46.2	29.4	7.8	17.0	14.8	10.7	6.1	6.1	7.3	1.9	1.0	0.7	7.1	14.1

(2) コミュニティワーカー（CW）の認知状況

問31 あなたは、地域福祉の総合相談人である市社協のコミュニティワーカー（CW）をご存知ですか。（1つに ）

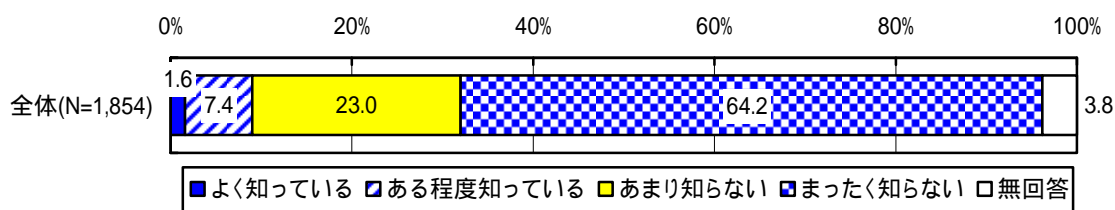
市社協のコミュニティワーカーについて「よく知っている」が1.6%、「ある程度知っている」が7.4%で、合わせて「知っている」は9.0%で、1割を割っています。

一方、「あまり知らない」は23.0%、「まったく知らない」が64.2%で、合わせて「知らない」は87.2%となっています。

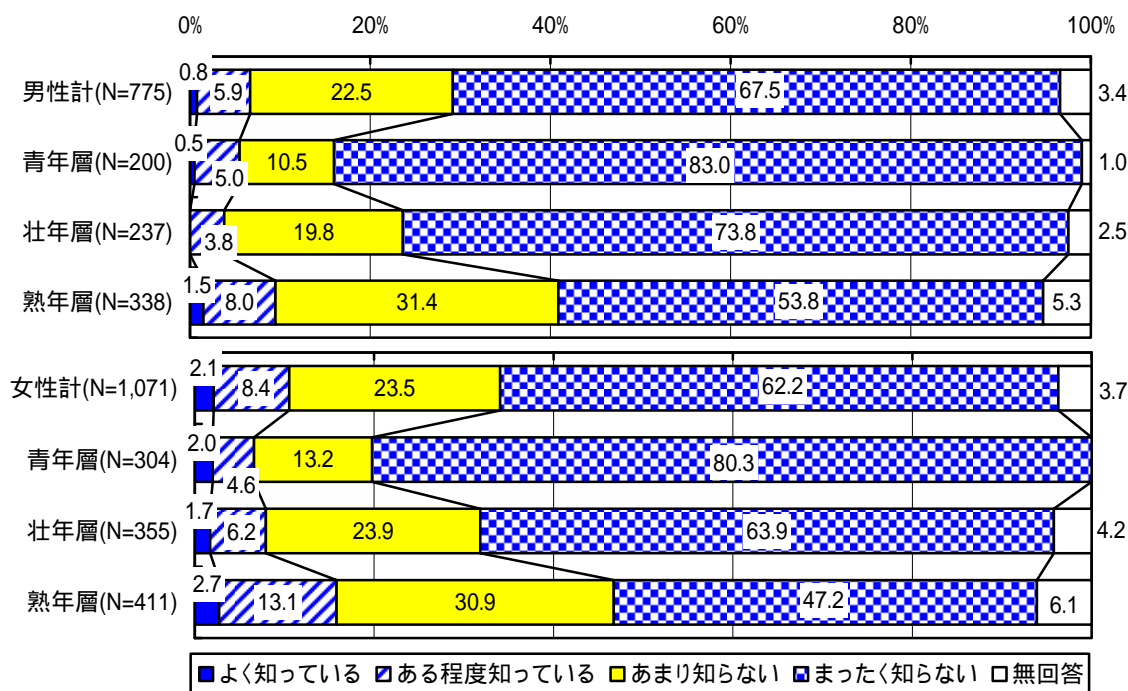
「知っている」は男性が6.7%、女性が10.5%で、女性が若干高くなっています。男性の場合、壮年層が3.8%で最も低く、青年層が5.5%、熟年層が9.5%で最も高くなっています。女性の場合、青年層が6.6%で最も低く、壮年層が7.9%、熟年層が15.8%で男性を含めて最も高くなっています。

一方、「知らない」は、男女共に青年層が最も高く、いずれも93.5%で、次いで男性の壮年層が93.6%、女性の壮年層が87.8%、男性の熟年層が85.2%、女性の熟年層が78.1%で最も低くなっています。

コミュニティワーカーの認知状況



性・年齢層別 コミュニティワーカーの認知状況



(3) 民生委員・児童委員の認知状況

地区担当民生委員・児童委員の認知状況

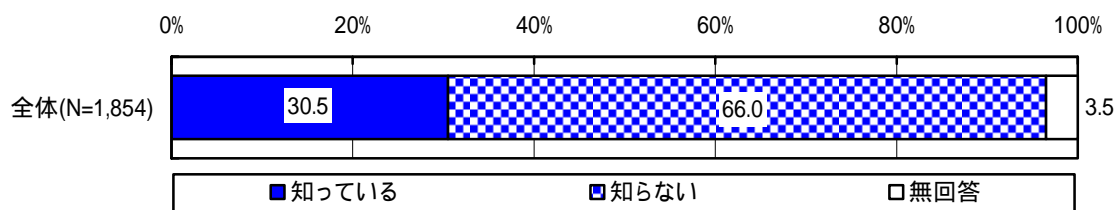
問32 市内では、社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会をめざし、民生委員・児童委員がさまざまな活動を行っています。あなたがお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(1つに)

地区担当の民生委員・児童委員を「知っている」は30.5%で、「知らない」が66.0%です。

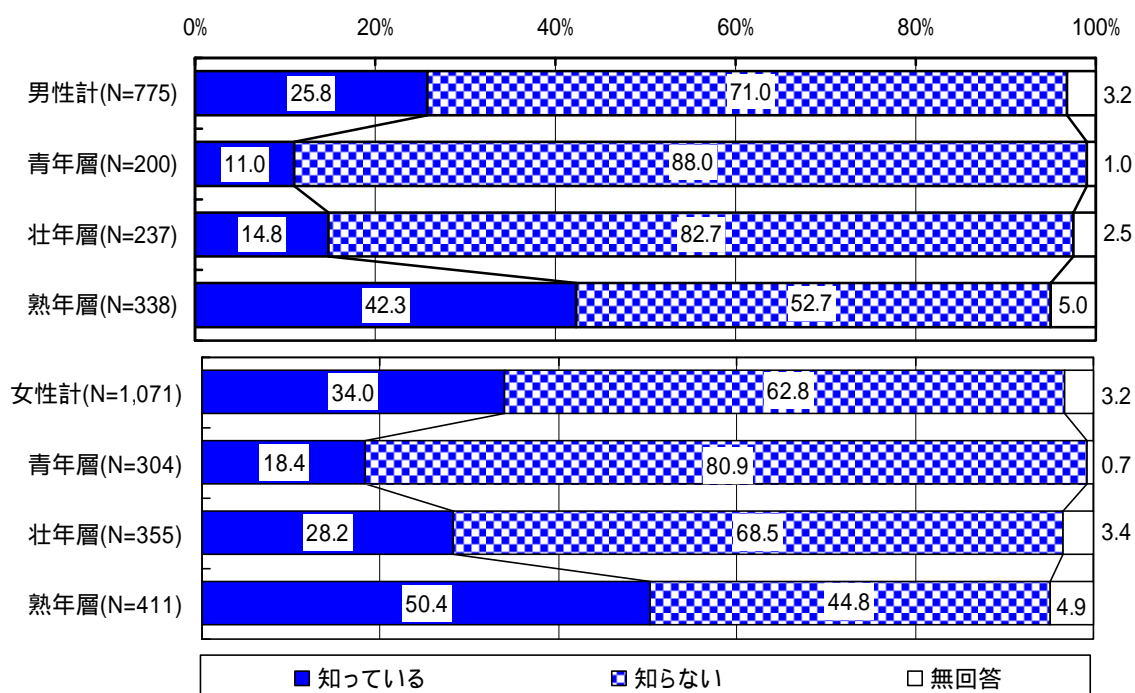
「知っている」は男性が25.8%、女性が34.0%で、女性の方が高くなっています。男性の場合、青年層が11.0%で最も低く、壮年層が14.8%、熟年層が42.3%で最も高くなっています。女性も青年層が最も低く18.4%、壮年層が28.2%、熟年層が50.4%で、どの年齢層も女性の方が認知率が高くなっています。

一方、「知らない」は、男女共に青年層が最も高く、男性は88.0%、女性は80.9%で、次いで男性の壮年層が82.7%、女性の壮年層が68.5%、男性の熟年層が52.7%、女性の熟年層が44.8%で最も低くなっています。

地区担当の民生委員・児童委員の認知状況



性・年齢層別 地区担当の民生委員・児童委員の認知状況



民生委員・児童委員の活動内容の認知状況

問32-1 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知の内容を選んでください。
(ご存知のものすべてに)

民生委員・児童委員の活動について、「いずれも知らない」及び無回答を除くと、知っている人は60.1%です。その中では、「高齢者など支援が必要な人への訪問」が39.5%で第1位で、次いで「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が28.5%、「子どもに関する相談」が21.9%、「関係行政機関の依頼による事実確認」が19.4%、「福祉に関する情報の提供」が16.1%です。

一方、「いずれも知らない」は34.5%で、およそ1/3となっています。

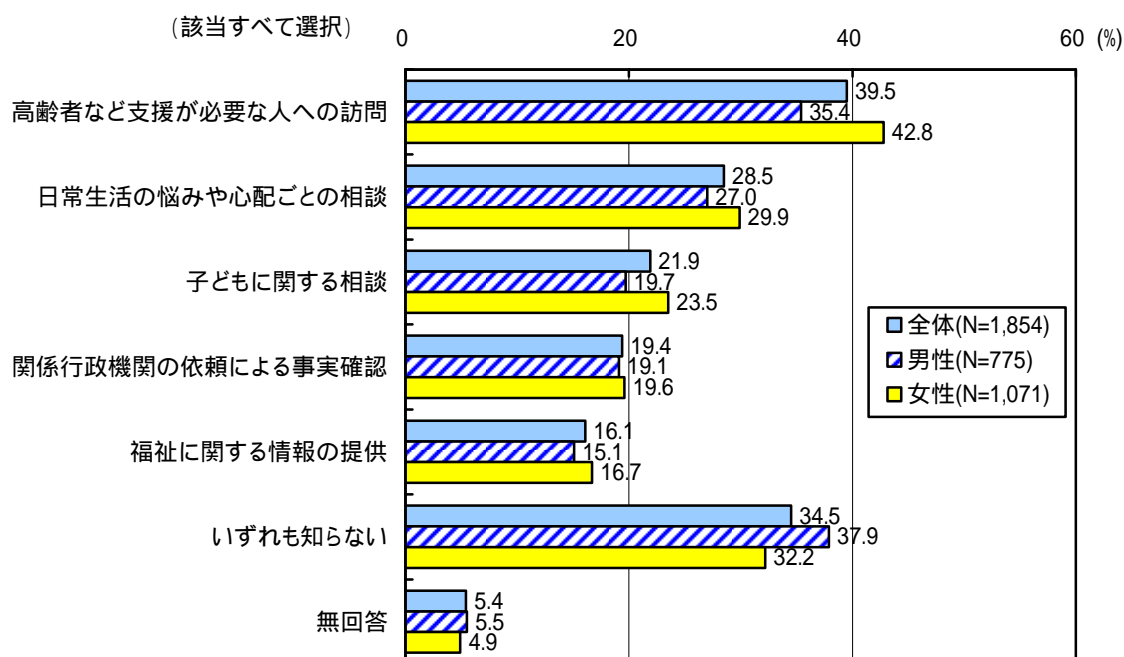
民生委員・児童委員の活動について知っている人は、男性が56.6%、女性が62.9%で、女性の方が高くなっています。男女共に「高齢者など支援が必要な人への訪問」が最も高く、男性が35.4%、女性が42.8%です。これ以外の項目は男女ともに全体と同じ順番で挙げられ、いずれも女性の方が認知率が高くなっています。

「いずれも知らない」は男性が37.9%、女性が32.2%です。

民生委員・児童委員の活動について知っている人は、男女共に青年層が最も低く、男性が32.0%、女性が43.0%で、熟年層が最も高く、男性が70.4%、女性が71.3%です。

「子どもに関する相談」は男女ともに壮年層が高く、「関係行政機関の依頼による事実確認」は男性の場合は熟年層が、女性は壮年層が最も高くなっています。これ以外の活動は男女共に熟年層が最も高くなっています。

性別 民生委員・児童委員の活動内容の認知状況



性・年齢層別 民生委員・児童委員の活動内容の認知状況

		回答数	高齢者など支援が必要な人への訪問	日常生活の悩みや心配ごとの相談	子どもに関する相談	関係行政機関の依頼による事実確認	福祉に関する情報の提供	いずれも知らない	無回答
男性	青年層	200	17.5	7.5	16.0	7.0	4.5	66.0	2.0
	壮年層	237	32.9	25.3	21.5	16.9	14.8	38.4	4.2
	熟年層	338	47.6	39.6	20.7	27.8	21.6	21.0	8.6
女性	青年層	304	20.7	13.5	25.0	9.9	8.2	56.3	0.7
	壮年層	355	45.6	30.7	26.2	24.5	17.7	25.6	4.5
	熟年層	411	56.7	41.4	20.0	22.6	22.1	20.2	8.5

(4) 福祉団体とのかかわり

福祉団体とのかかわりの現況

問33 現在、あなたは福祉の団体活動をしていますか。また、そのかかわりは何年くらいになりますか。(あてはまるものすべてに をし、期間を記入)

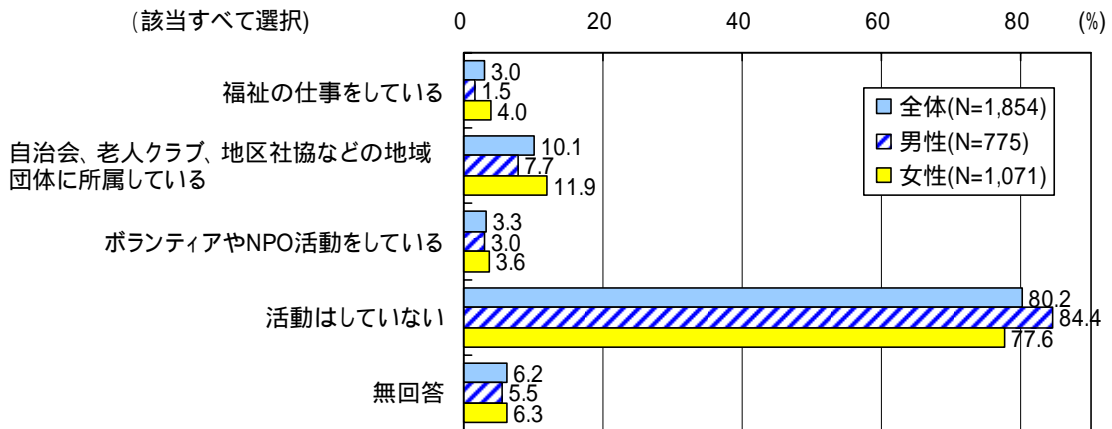
福祉の団体活動をしている人は13.6%で、そのうち「福祉の仕事をしている」は3.0%、「自治会、老人クラブ、地区社協など地域団体に所属している」が10.1%、「ボランティアやNPO活動をしている」が3.3%です。

福祉の団体活動をしている人は、男性が10.1%、女性が16.1%で女性の方が高く、男女共に青年層が低く、熟年層が高くなっています。特に男性の青年層は2.0%と低く、また、女性は壮年層が18.0%で、熟年層の19.8%と大差ありません。

「福祉の仕事をしている」は、男性の場合、熟年層が2.4%で最も高く、女性は壮年層が5.4%で最も高くなっています。「自治会、老人クラブ、地区社協などの地域団体に所属している」は、男女共に熟年層が高く、男性が12.7%、女性が17.5%です。「ボランティアやNPO活動をしている」は、男性の場合、熟年層が5.0%で最も高く、女性は壮年層が4.8%で最も高くなっています。

各団体の所属期間は、「福祉の仕事をしている」人は「5～10年未満」や「5年未満」が多く、合わせて64.3%で、「自治会、老人クラブ、地区社協などの地域団体に所属している」人は「20年以上」が30.9%もみられ、そのうち「40年以上」も5.8%となっています。「ボランティアやNPO活動をしている」人は「5～10年未満」や「5年未満」が多く、合わせて48.4%とおよそ半数です。

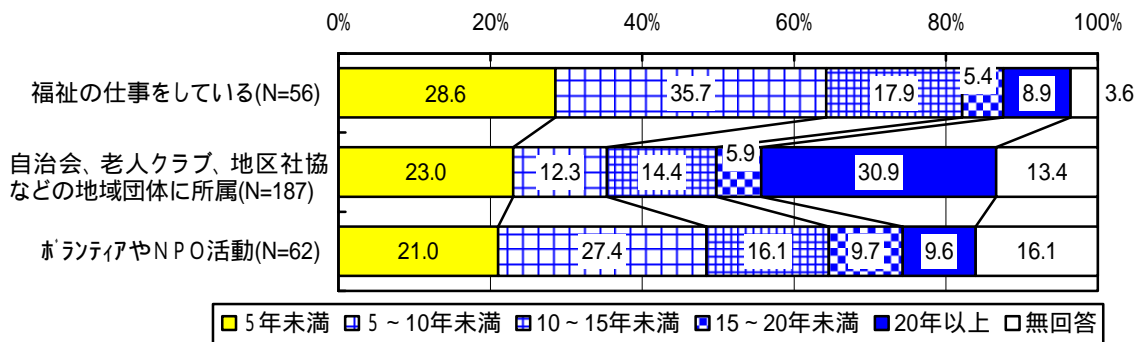
性別 福祉団体とのかかわりの現況



性・年齢層別 福祉団体とのかかわりの現況

		回答数	福祉の仕事をしている	自治会、老人クラブ、地区社協などの地域団体に所属している	ボランティアやNPO活動をしている	活動はしていない	無回答
男性	青年層	200	0.5	1.0	0.5	96.0	2.0
	壮年層	237	1.3	6.3	2.1	86.1	5.1
	熟年層	338	2.4	12.7	5.0	76.3	8.0
女性	青年層	304	3.6	4.6	2.0	88.8	2.0
	壮年層	355	5.4	11.5	4.8	77.5	4.5
	熟年層	411	3.2	17.5	3.9	69.3	10.9

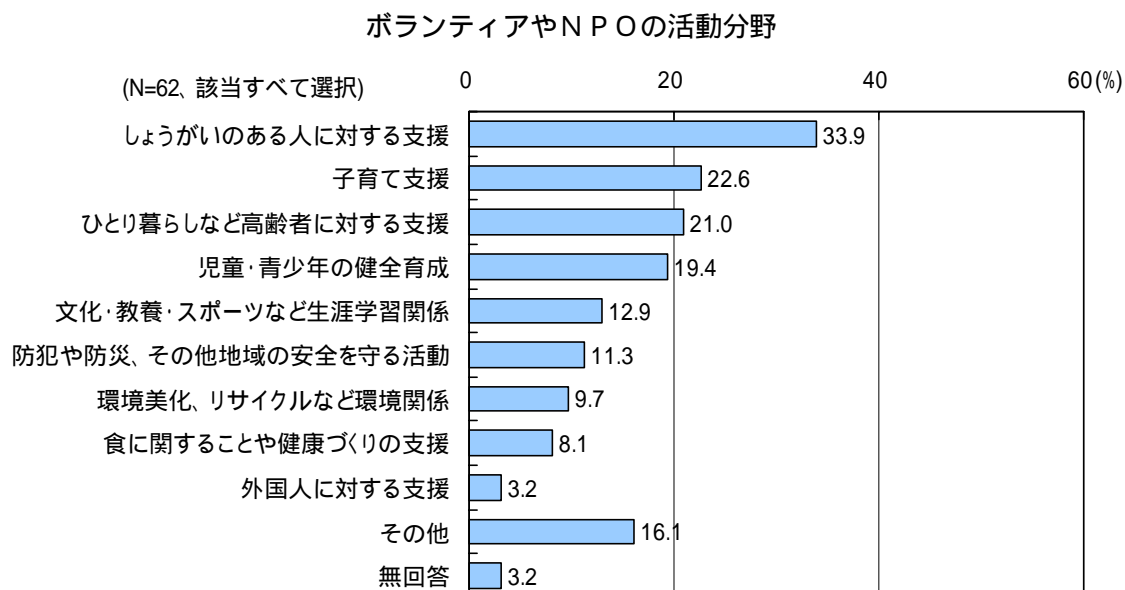
福祉団体とのかかわりの期間



ボランティアやNPOの活動分野

問33-1 問33で「3. ボランティアやNPO活動をしている」を選んだ方におうかがいします。どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに)

「しょうがいのある人に対する支援」が33.9%で最も多く、次いで「子育て支援」が22.6%、「ひとり暮らしなど高齢者に対する支援」が21.0%、「児童・青少年の健全育成」が19.4%などとなっています。



福祉サービスや福祉団体の支援とのかかわりの現況

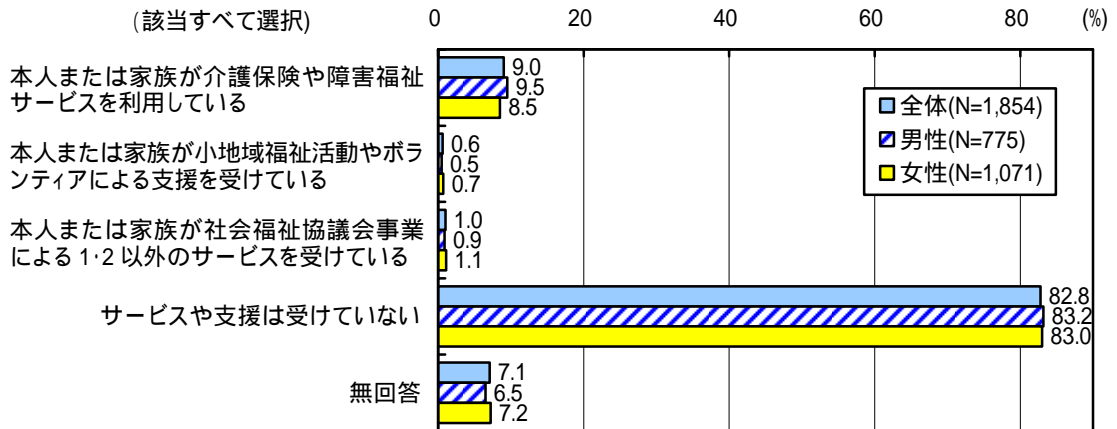
問34 現在、あなたまたは家族の方が、福祉団体のサービスや支援を受けていますか。また、そのかかわりは何年くらいになりますか。(あてはまるものすべてに をし、期間を記入)

福祉サービスや福祉団体の支援を受けている人は10.1%で、「本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している」が9.0%、「本人または家族が小地域福祉活動やボランティアによる支援を受けている」が0.6%、「本人または家族が社会福祉協議会事業による1・2以外のサービスを受けている」が1.0%です。

福祉サービスや福祉団体の支援を受けている人は、男性が10.3%、女性が9.8%で大差なく、男女共に青年層が低く、男性が7.0%、女性が4.0%、壮年層は男性が7.2%、女性が9.6%、熟年層が最も高く、男性が14.5%、女性が14.4%と同程度です。

「本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している」は男女共に熟年層が最も高く、男性が13.6%、女性が12.4%で、「本人または家族が小地域福祉活動やボランティアによる支援を受けている」は男女共に各年齢層で大差なく、「本人または家族が社会福祉協議会事業による1・2以外のサービスを受けている」は男女共に熟年層が高く、男性が1.5%、女性が1.9%です。

性別 福祉サービスや福祉団体の支援とのかかわりの現況

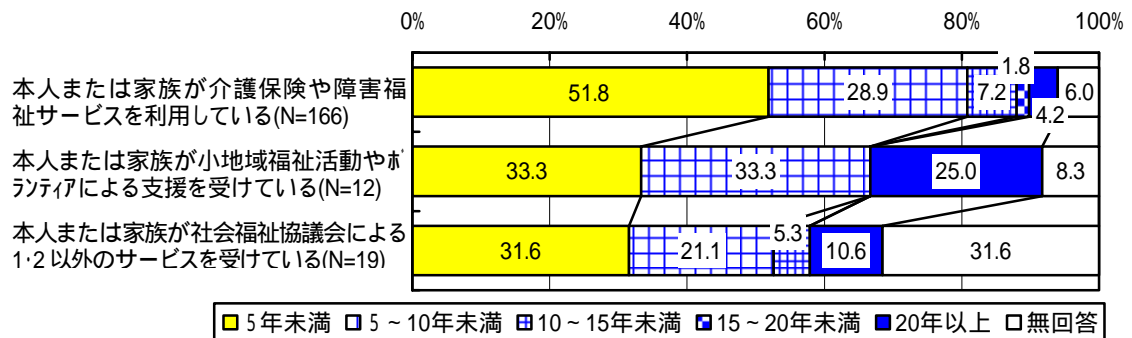


性・年齢層別 福祉サービスや福祉団体の支援とのかかわりの現況

	回答数	本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している					本人または家族が小地域福祉活動やボランティアによる支援を受けている					本人または家族が社会福祉協議会事業による1・2以外のサービスを受けている					サービスや支援は受けていない					無回答				
		5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20年以上	5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20年以上	5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20年以上	5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20年以上					
男性	青年層	200	6.5	0.5	0.5	91.0	2.0																			
	壮年層	237	6.3	0.4	0.4	88.2	4.6																			
	熟年層	338	13.6	0.6	1.5	75.1	10.4																			
女性	青年層	304	3.0	1.0	0.3	94.4	1.6																			
	壮年層	355	8.7	0.3	0.8	84.5	5.9																			
	熟年層	411	12.4	0.7	1.9	73.2	12.4																			

「本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している」は、「5年未満」が51.8%で最も多く、次いで「5～10年未満」が28.9%などです。「本人または家族が小地域福祉活動やボランティアによる支援を受けている」は「5年未満」及び「5～10年未満」が共に33.3%などで、「本人または家族が社会福祉協議会事業による1・2以外のサービスを受けている」は「5年未満」が31.6%、「5～10年未満」が21.1%などで、いずれのサービスや支援も[10年未満]の率が高くなっています。

福祉サービスや福祉団体の支援とのかかわりの期間



(5) 福祉施設・企業などの社会貢献や地域貢献について

問35 あなたは、福祉施設・企業などによる社会貢献や地域貢献についてどのように感じて
いますか。(1つに)

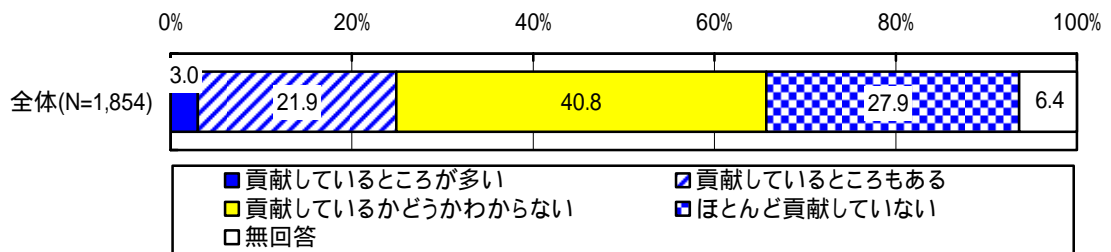
福祉施設・企業などによる社会貢献や地域貢献について、「貢献しているところが多い」
が3.0%、「貢献しているところもある」が21.9%で、合わせて[貢献している]との
意見は24.9%とおよそ1/4です。

一方、「貢献しているかどうか分からない」は40.8%、「ほとんど貢献していない」が
27.9%です。

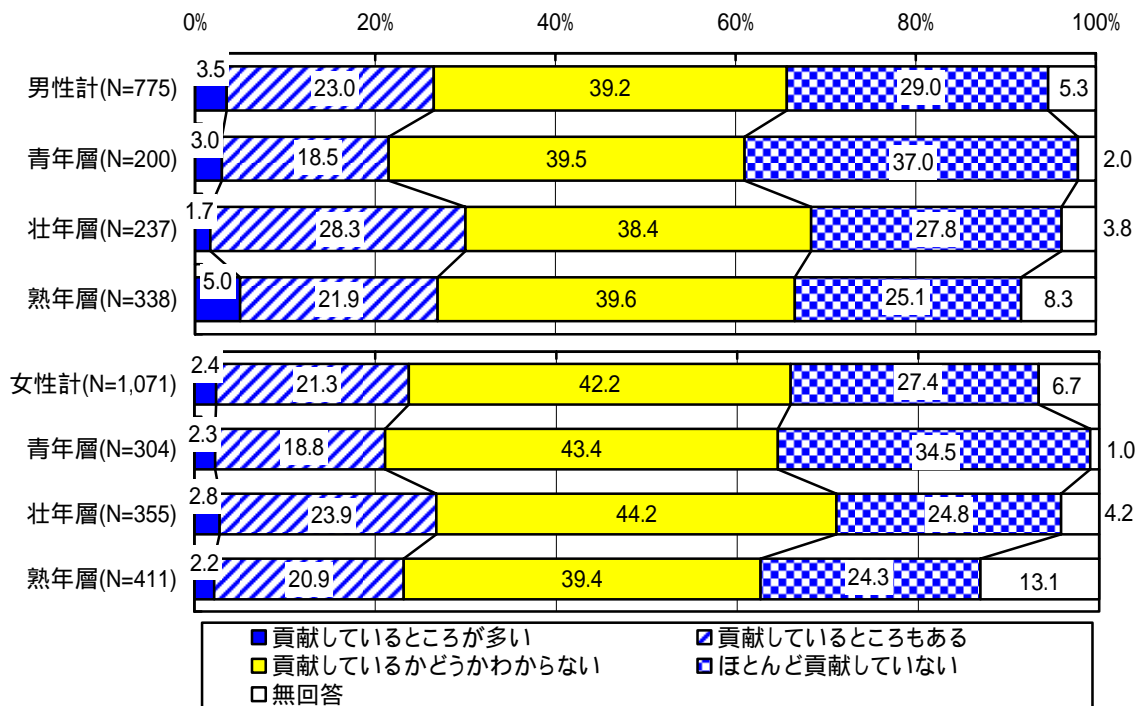
[貢献している]は男性が26.5%、女性が23.7%です。男女共に壮年層が高く、男性
が30.0%、女性が26.7%です。

一方、「ほとんど貢献していない」は、男女共に青年層が最も高く、男性が37.0%、女
性が34.5%です。

福祉施設・企業などの社会貢献や地域貢献について



性・年齢層別 福祉施設・企業などの社会貢献や地域貢献について



(6) 地域福祉に関する考え方について

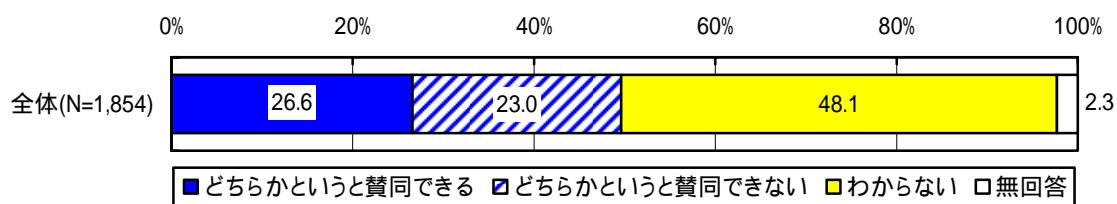
第4のポケットとして活用することについて

問36 あなたは、地域福祉に関する次のような考え方についてどう思いますか。
 地域福祉の向上のために住民同士でお金を出し合い、「第4のポケット」として活用することについて、あなたはどう思いますか。(1つに)

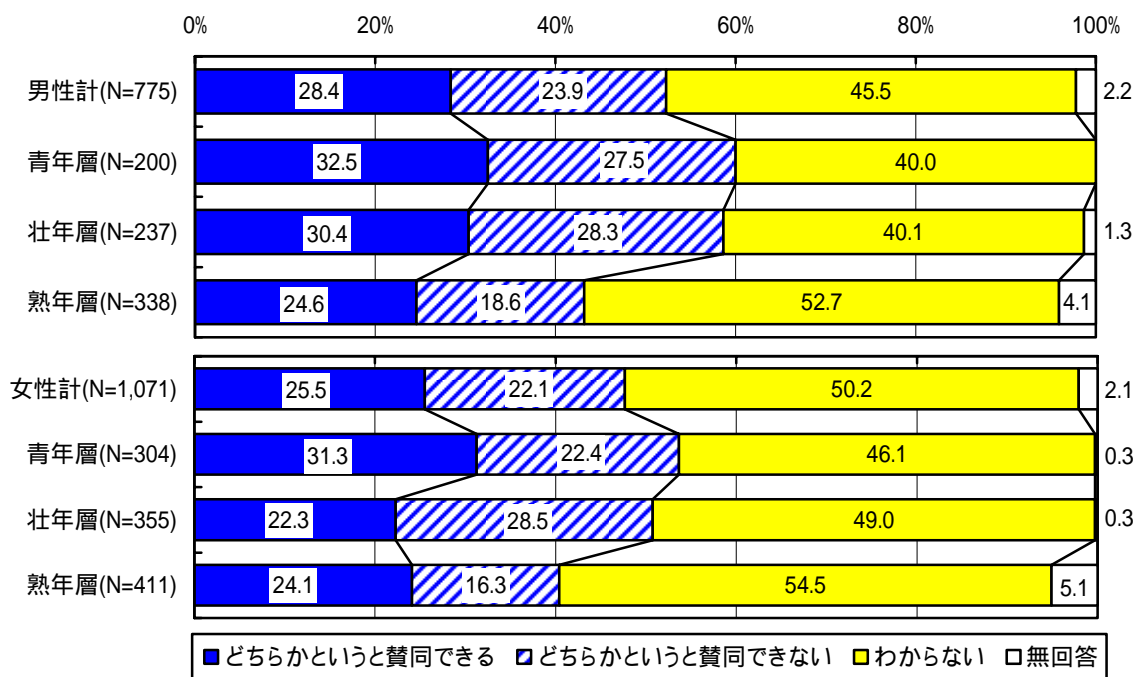
住民同士でお金を出し合い、「第4のポケット」として活用することについて、「わからない」が48.1%とおよそ半数を占め、残りの半数のうち、「どちらかというと同賛できる」が26.6%、「どちらかというと同賛できない」が23.0%で、賛同できる人の率が若干高くなっています。

「どちらかというと同賛できる」は男性が28.4%、女性が25.5%で、若干男性が高く、男女共に青年層が最も高く、男性が32.5%、女性が31.3%です。また、おおむね男女共に各年齢層で「どちらかというと同賛できる」が「どちらかというと同賛できない」より高くなっていますが、女性の壮年層は「どちらかというと同賛できない」方が高くなっています。

第4のポケットとして活用することについて



性・年齢層別 第4のポケットとして活用することについて

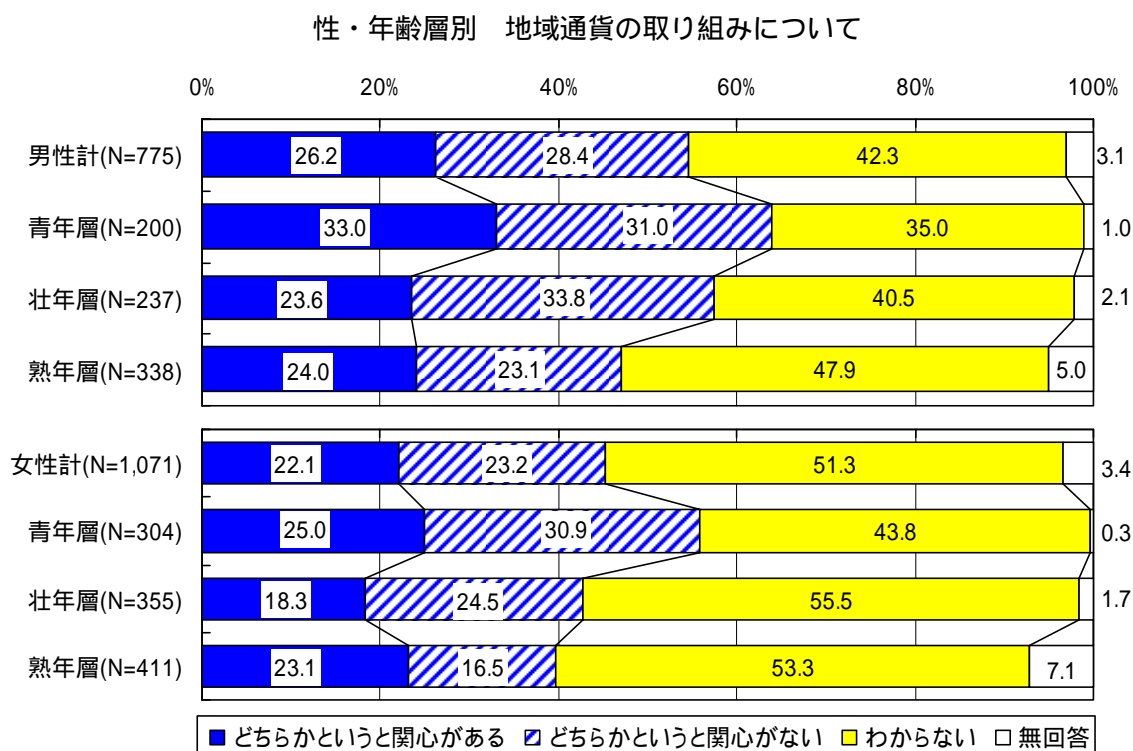
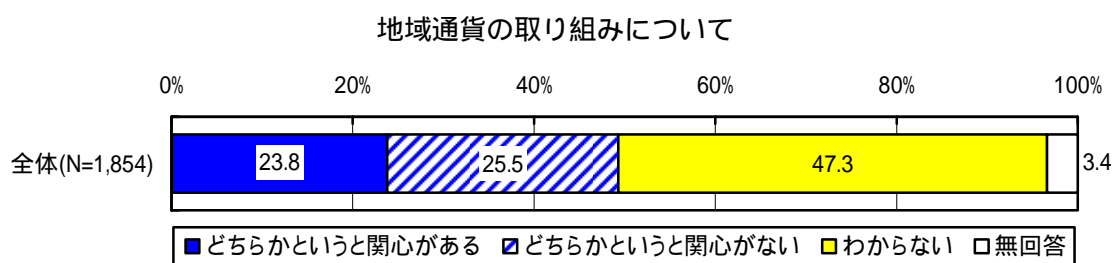


地域通貨の取り組みについて

問36 あなたは、地域福祉に関する次のような考え方についてどう思いますか。
地域通貨のような取り組みについて、あなたはどう思いますか。(1つに)

地域通貨のような取り組みについて、「わからない」がやはり47.3%とおよそ半数を占め、残りの半数のうち、「どちらかというに関心がある」が23.8%、「どちらかというに関心がない」が25.5%で、関心がない人の率が若干高くなっています。

「どちらかというに関心がある」は男性が26.2%、女性が22.1%で男性が高く、男女共に青年層が最も高く、男性が33.0%、女性が25.0%です。また、男性は青年層や熟年層で、女性は熟年層で「どちらかというに関心がある」が「どちらかというに関心がない」より高くなっています。

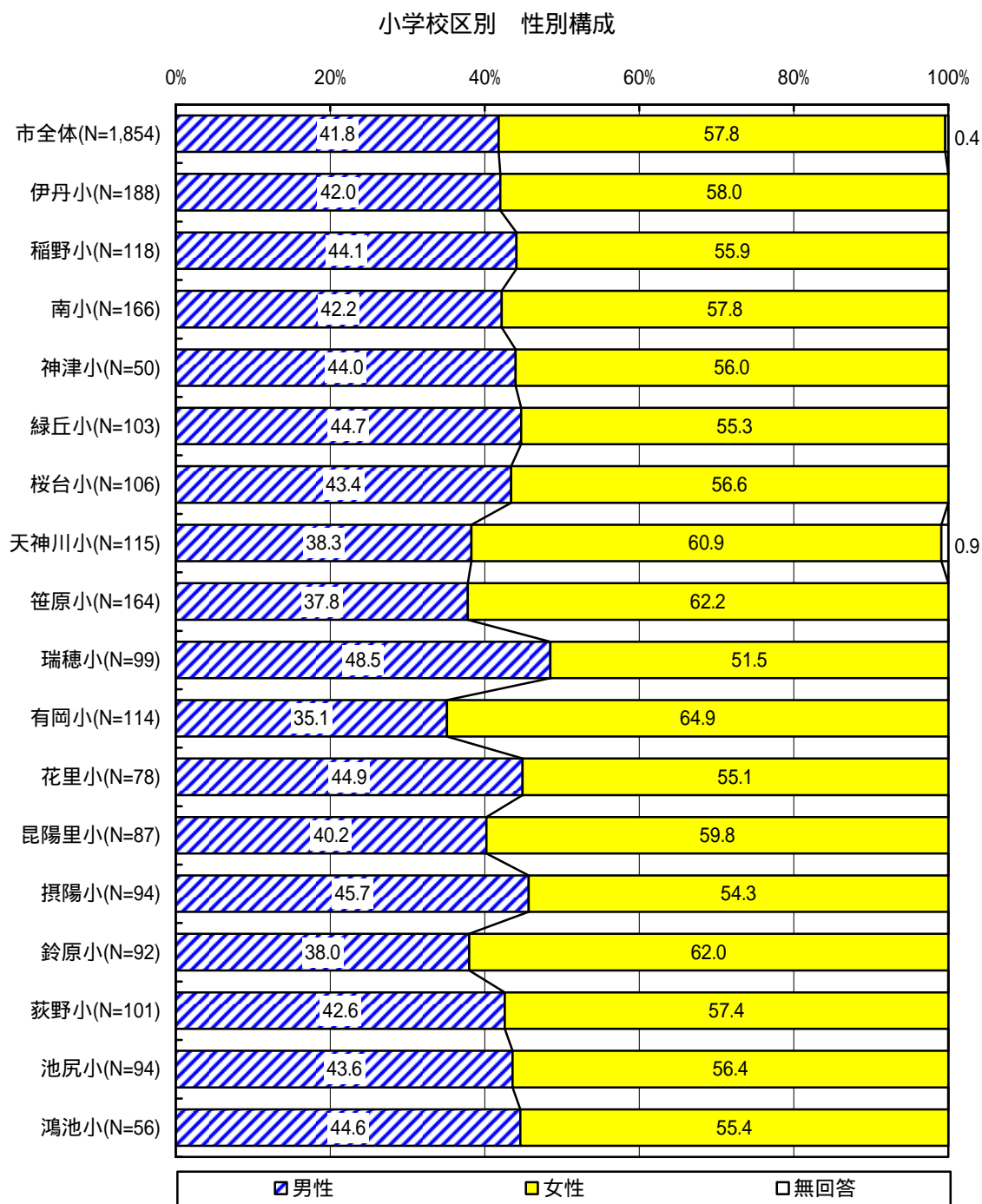


5 小学校区別調査結果の特性

(1) 調査回答者の属性

性別

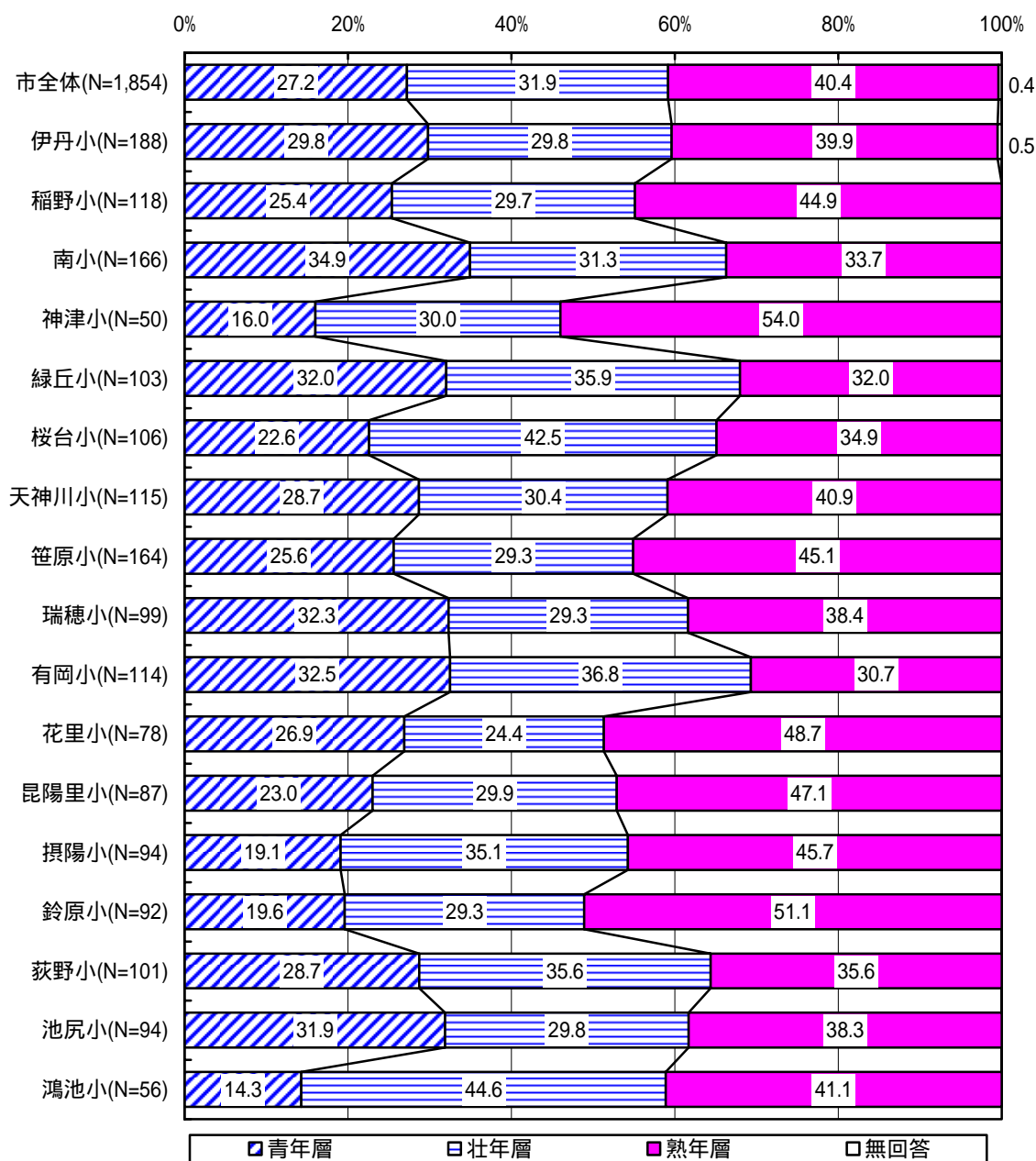
瑞穂小や摂陽小は、「男性」が45%以上と高く、天神川小や笹原小、有岡小、鈴原小は「男性」が40%を割って特に少なく、それ以外の校区は市全体の傾向と大差ありません。



年齢

青年層（「18～29歳」及び「30～39歳」）が30%を超えて高いのは南小（34.9%）や有岡小（32.5%）、瑞穂小（32.3%）、緑丘小（32.0%）、池尻小（31.9%）で、特に南小は壮年層（「40～49歳」及び「50～59歳」）や熟年層（「60歳以上」）よりも高くなっています。壮年層が40%を超えて特に高いのは鴻池小（44.6%）と桜台小（42.5%）、熟年層が50%を超えて特に高いのは神津小（54.0%）と鈴原小（51.1%）です。

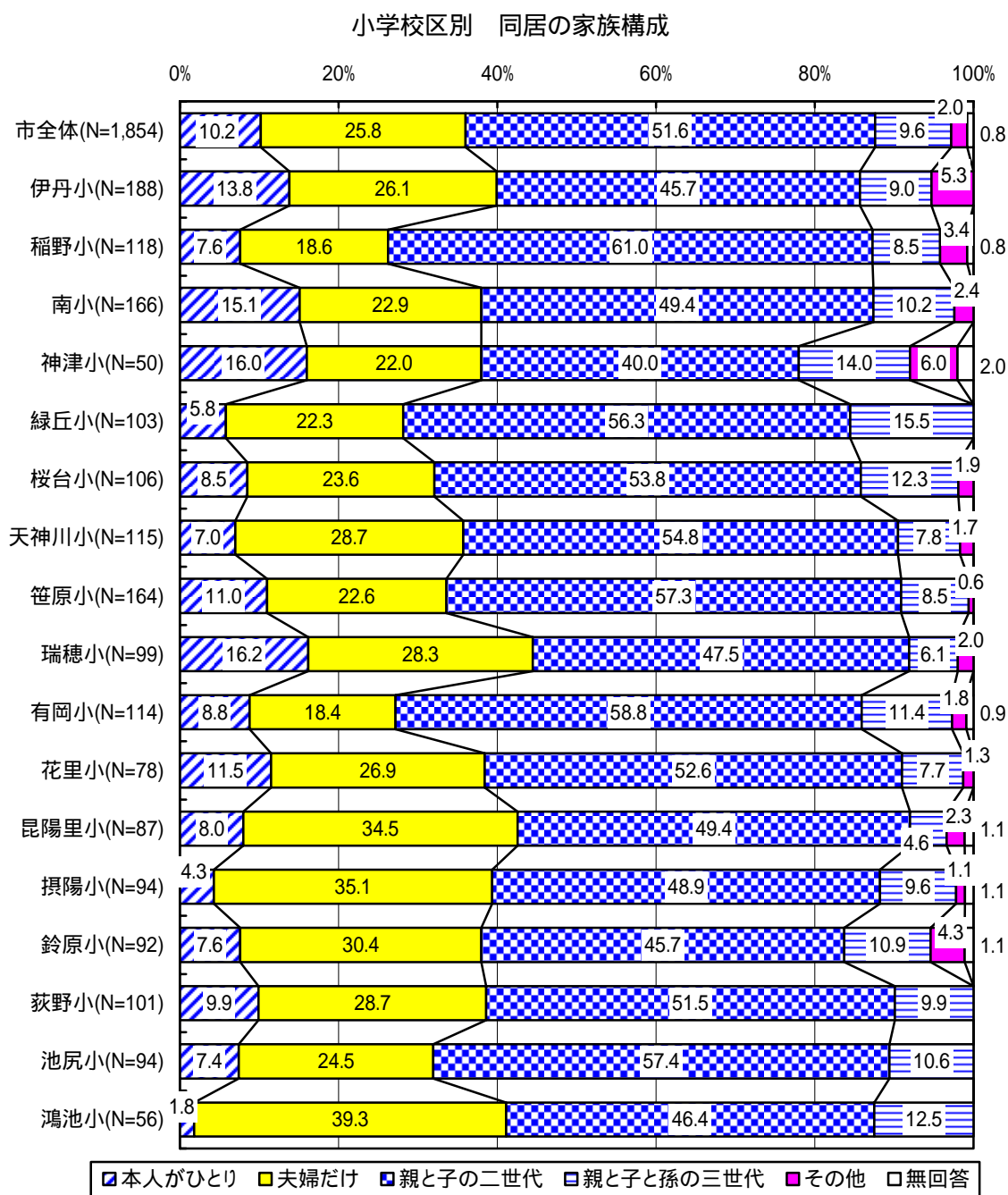
小学校区別 年齢層構成



同居の家族構成

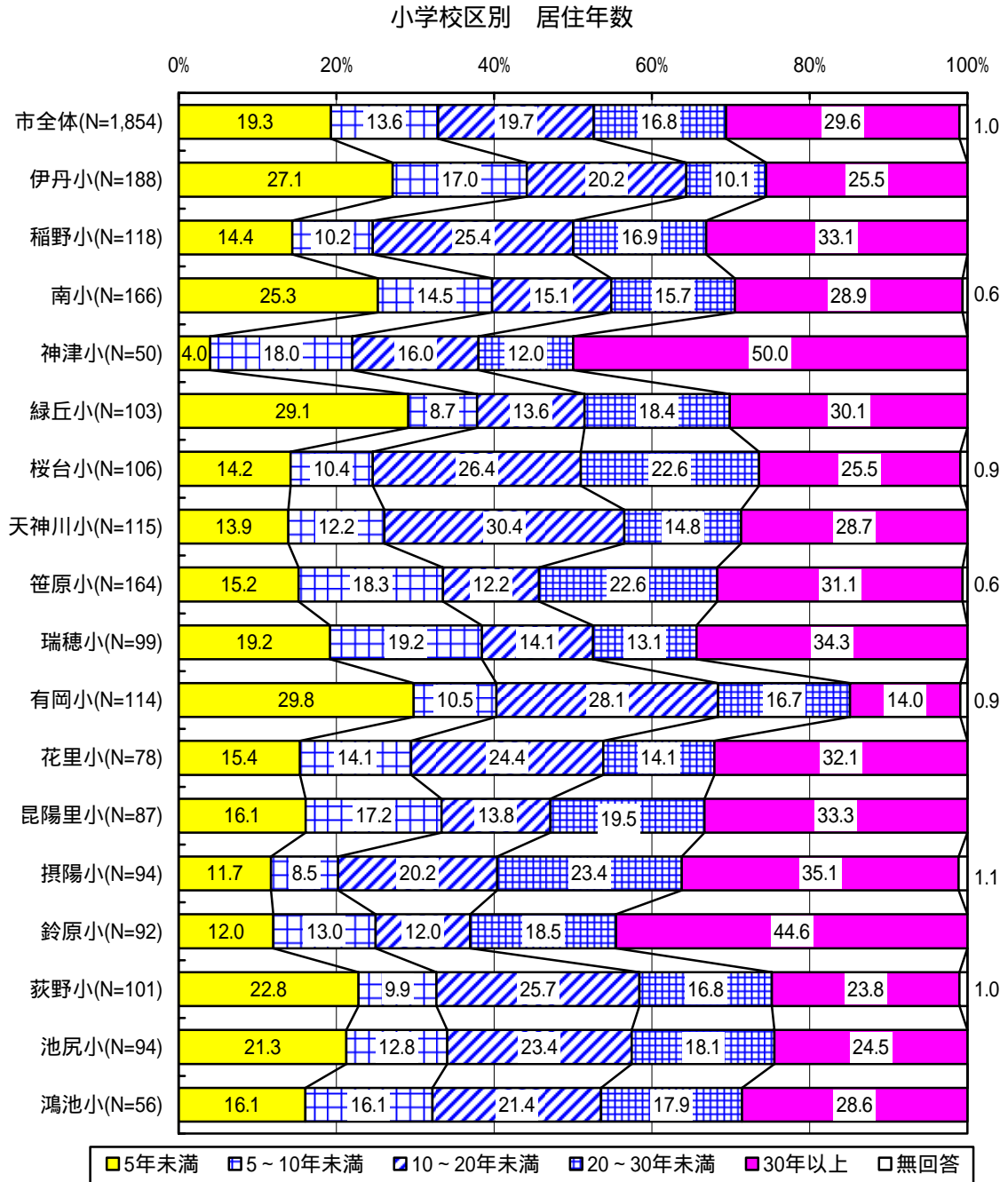
「本人がひとり」が15%以上は瑞穂小(16.2%)、神津小(16.0%)、南小(15.1%)です。また、「夫婦だけ」が30%以上は鴻池小(39.3%)、摂陽小(35.1%)、昆陽里小(34.5%)、鈴原小(30.4%)です。

一方、「親と子と孫の三世代」が12%以上は緑丘小(15.5%)、神津小(14.0%)、鴻池小(12.5%)、桜台小(12.3%)です。



居住年数

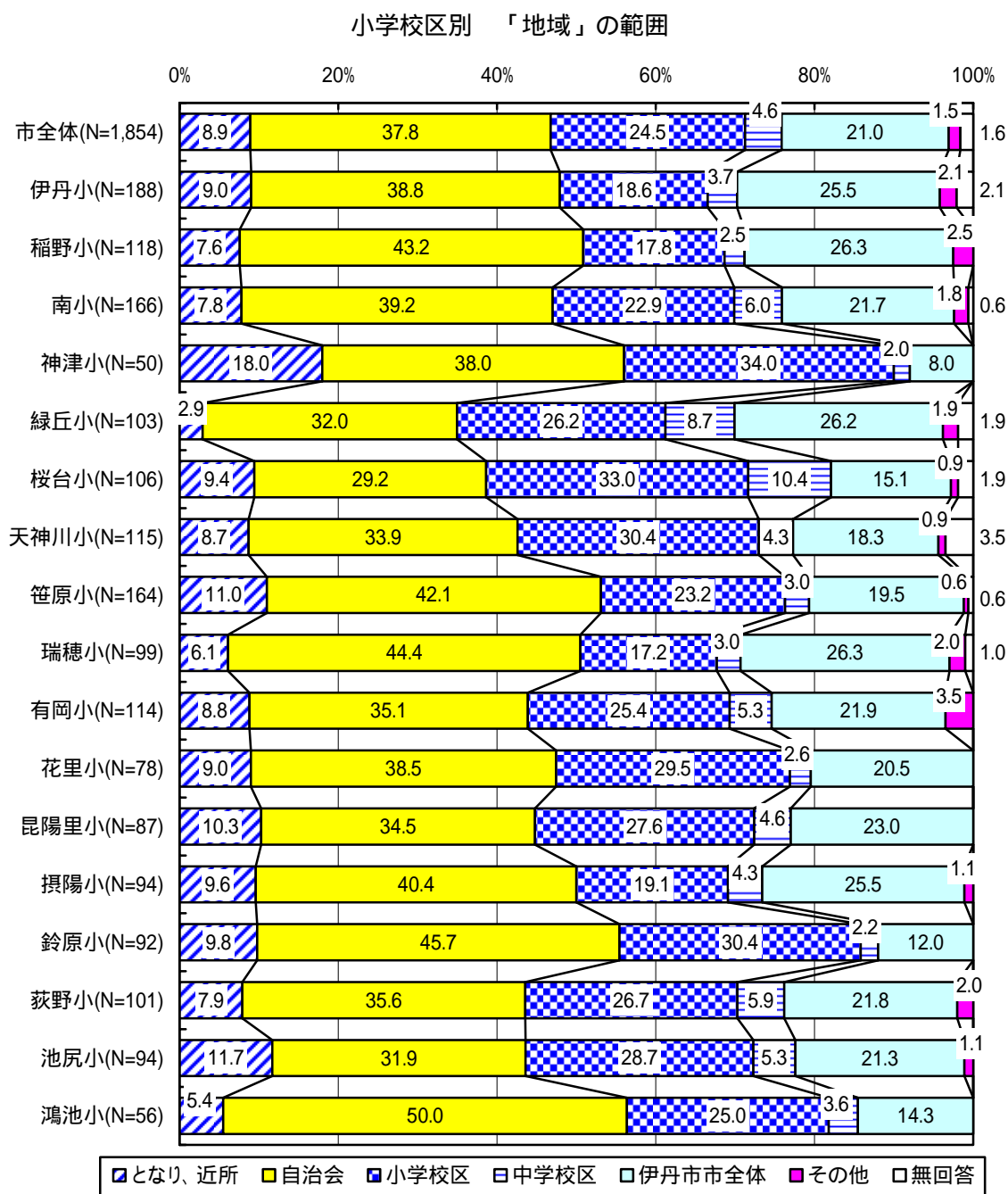
「5年未満」が25%以上は有岡小(29.8%)、緑丘小(29.1%)、伊丹小(27.1%)、南小(25.3%)です。
 一方、「30年以上」が35%以上は神津小(50.0%)、鈴原小(44.6%)、摂陽小(35.1%)で、「20年以上」が50%以上は鈴原小(63.1%)、神津小(62.0%)、摂陽小(58.5%)、笹原小(53.7%)、昆陽里小(52.8%)、稲野小(50.0%)です。



(2) 地域や福祉に関する意識・行動について

「地域」の範囲

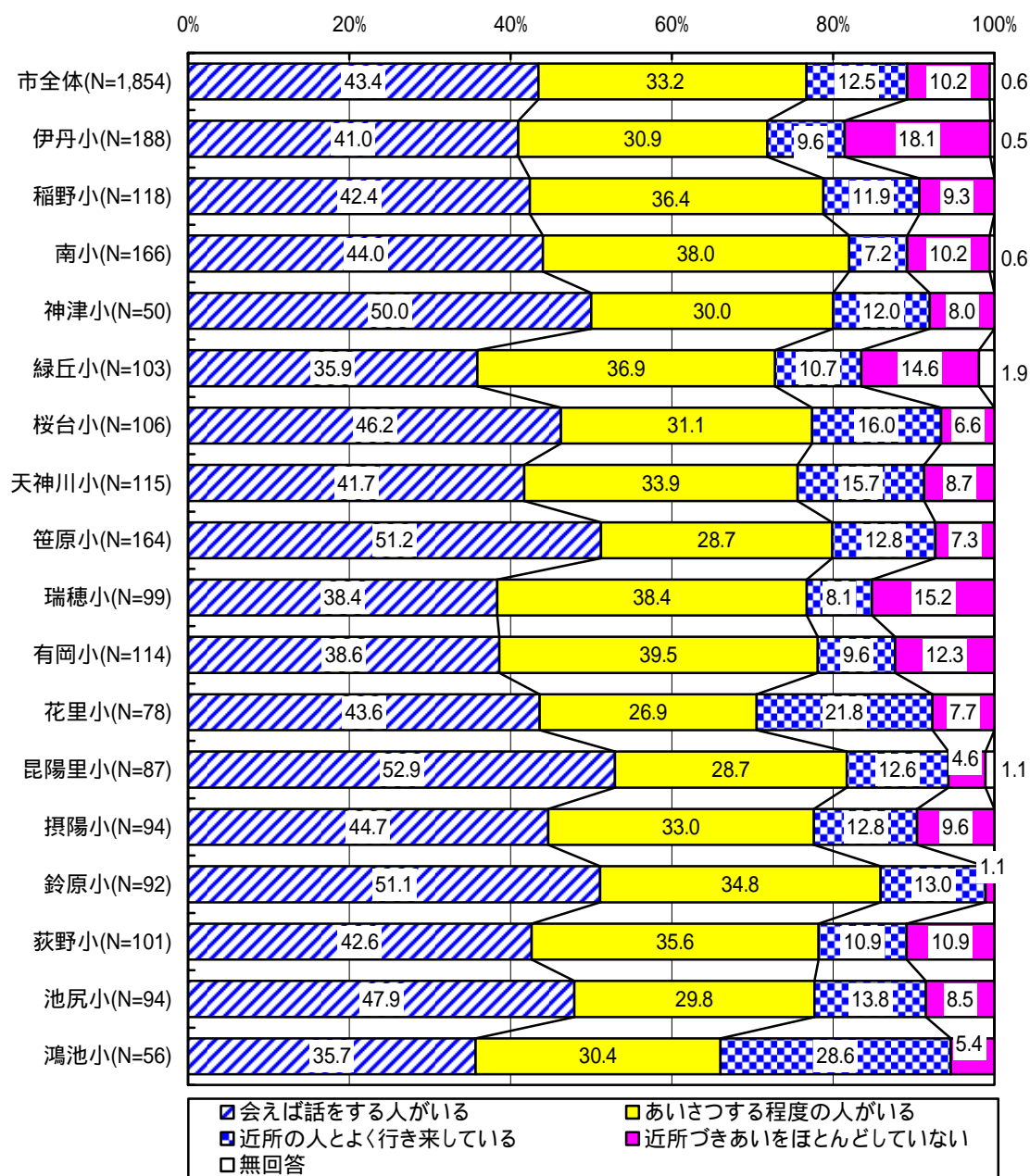
「となり、近所という範囲」が10%以上は神津小(18.0%)で特に高く、他には池尻小(11.7%)、笹原小(11.0%)、昆陽里小(10.3%)、また、「自治会という範囲」40%以上は鴻池小(50.0%)、鈴原小(45.7%)、瑞穂小(44.4%)、稲野小(43.2%)、笹原小(42.1%)、摂陽小(40.4%)です。これらは居住年数が比較的長い小学校区が多くなっています。



近所の人との関係

「会えば話をする人がいる」が50%以上は昆陽里小(52.9%)、笹原小(51.2%)、鈴原小(51.1%)、神津小(50.0%)で、「近所の人とよく行き来している」が15%以上は鴻池小(28.6%)、花里小(21.8%)、桜台小(16.0%)、天神川小(15.7%)で、居住年数が長かったり身近な範囲を地域と感じる率が高い小学校区が多くなっています。一方、「近所づきあいをほとんどしていない」が市全体より高い13%以上は伊丹小(18.1%)、瑞穂小(15.2%)、緑丘小(14.6%)です。

小学校区別 近所の人との関係



地域や周辺的环境評価

最も評価の開きが大きい項目は、「道路や公共交通機関が利用しやすい」で、最高の有岡小の1.62と最低の池尻小の-0.36では1.98ポイントの差です。次いで「買い物などの日常生活が便利である」で、有岡小が1.63、神津小が-0.15、「静かで緑が多いなど環境が良好である」で、瑞穂小が1.03、有岡小が-0.55などです。

一方、評価の差が最も小さい項目は、「住んでいる地域に愛着を感じている」で、最高が鈴原小の1.23、最低が池尻小の0.63で、0.60ポイント差となっています。

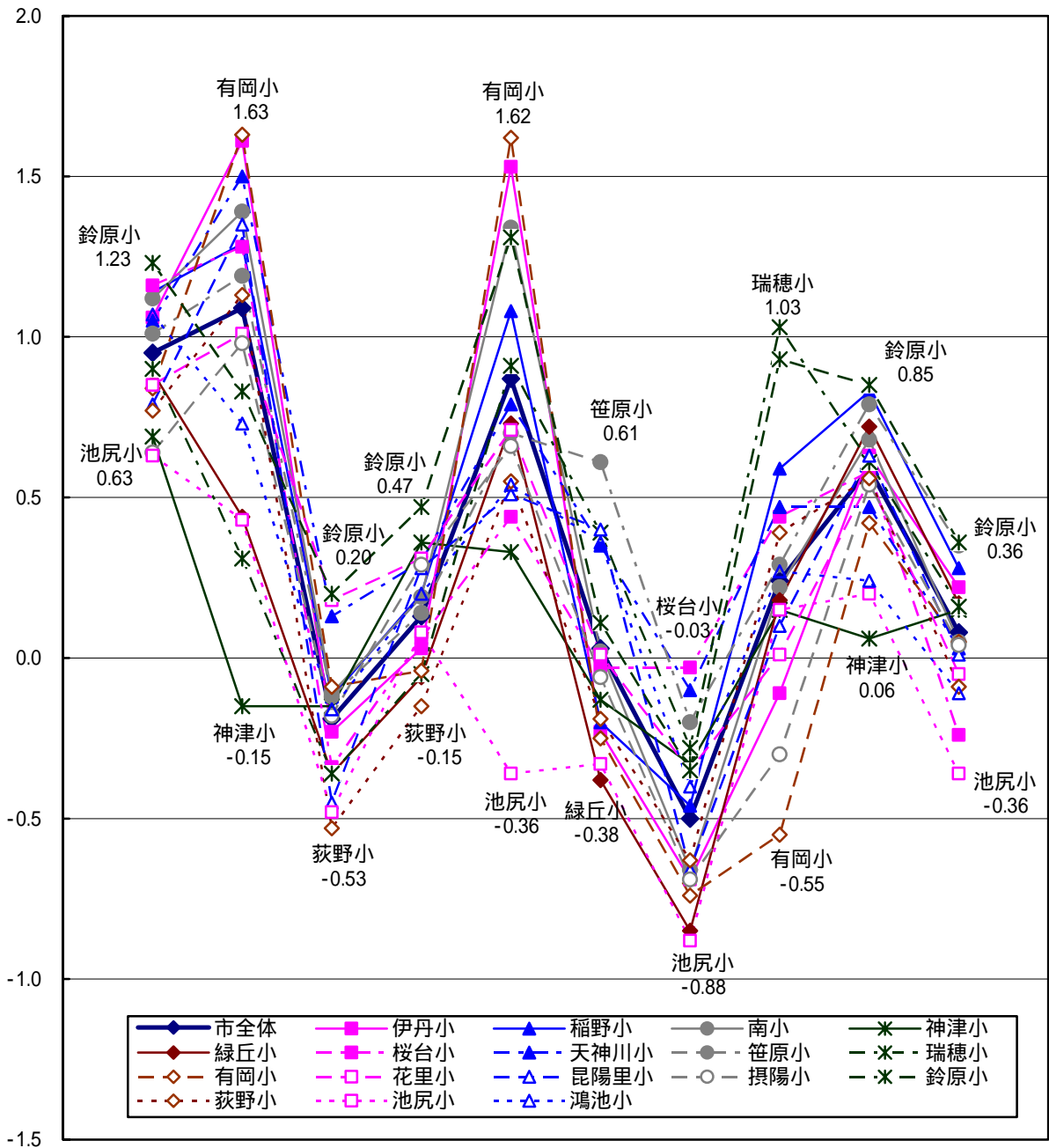
全項目中、最高点が多いのは鈴原小で、10項目中5項目となっています。一方、最低点が多いのは池尻小で、4項目となっています。

小学校区別 地域や周辺的环境評価（加重平均）

	回答数	住んでいる地域に愛着を感じている	買い物などの日常生活が便利である	地域活動やボランティア活動が活発である	近所づきあいや助け合いなど近隣関係が良好	道路や公共交通機関が利用しやすい	子どもの遊び場などが充実	高齢者やしよつがいのある人が憩える場所などが充実	静かで緑が多いなど環境が良好	治安が良くて安心して住める	防災対策が充実して安心して住める
市全体	1,854	0.95	1.09	-0.19	0.13	0.87	0.03	-0.50	0.24	0.59	0.08
伊丹小	188	1.06	1.61	-0.23	0.03	1.53	-0.23	-0.69	-0.11	0.63	0.22
稲野小	118	1.14	1.29	-0.12	0.20	1.08	-0.20	-0.46	0.59	0.83	0.28
南小	166	1.12	1.39	-0.11	0.19	1.34	0.02	-0.66	0.22	0.68	0.05
神津小	50	0.69	-0.15	-0.15	0.36	0.33	-0.13	-0.33	0.15	0.06	0.15
緑丘小	103	0.89	0.44	-0.36	-0.06	0.73	-0.38	-0.85	0.18	0.72	0.17
桜台小	106	1.16	1.28	-0.34	0.06	0.44	-0.03	-0.03	0.44	0.58	-0.24
天神川小	115	1.05	1.50	0.13	0.30	0.79	0.35	-0.10	0.47	0.47	0.03
笹原小	164	1.01	1.19	-0.12	0.14	0.70	0.61	-0.20	0.29	0.79	0.35
瑞穂小	99	0.90	0.31	-0.36	-0.05	0.91	0.39	-0.28	1.03	0.61	0.16
有岡小	114	0.84	1.63	-0.09	-0.04	1.62	-0.25	-0.74	-0.55	0.42	0.05
花里小	78	0.85	1.01	0.18	0.31	0.71	0.01	-0.35	0.01	0.55	-0.05
昆陽里小	87	0.79	1.35	-0.45	0.28	0.51	0.40	-0.66	0.10	0.63	0.01
摂陽小	94	0.64	0.98	-0.18	0.29	0.66	-0.06	-0.69	-0.30	0.54	0.04
鈴原小	92	1.23	0.83	0.20	0.47	1.31	0.11	-0.35	0.93	0.85	0.36
荻野小	101	0.77	1.13	-0.53	-0.15	0.55	-0.19	-0.63	0.39	0.56	-0.09
池尻小	94	0.63	0.43	-0.48	0.08	-0.36	-0.33	-0.88	0.15	0.20	-0.36
鴻池小	56	1.07	0.73	-0.16	0.20	0.54	0.36	-0.40	0.27	0.24	-0.11

注) 色のついたセルは、各項目の市全体の数値よりも±0.2より大きいもの

小学校区別 評価点（加重平均）による地域や周辺の環境評価



住んでいる地域に愛着を感じている

買物などの日常生活が便利

地域活動やボランティア活動が活発

近所づきあいや助け合いなど近隣関係が良好

道路や公共交通機関が利用しやすい

子どもの遊び場などが充実

高齢者やしょうがいのある人が憩える場所などが充実

静かで緑が多いなど環境が良好

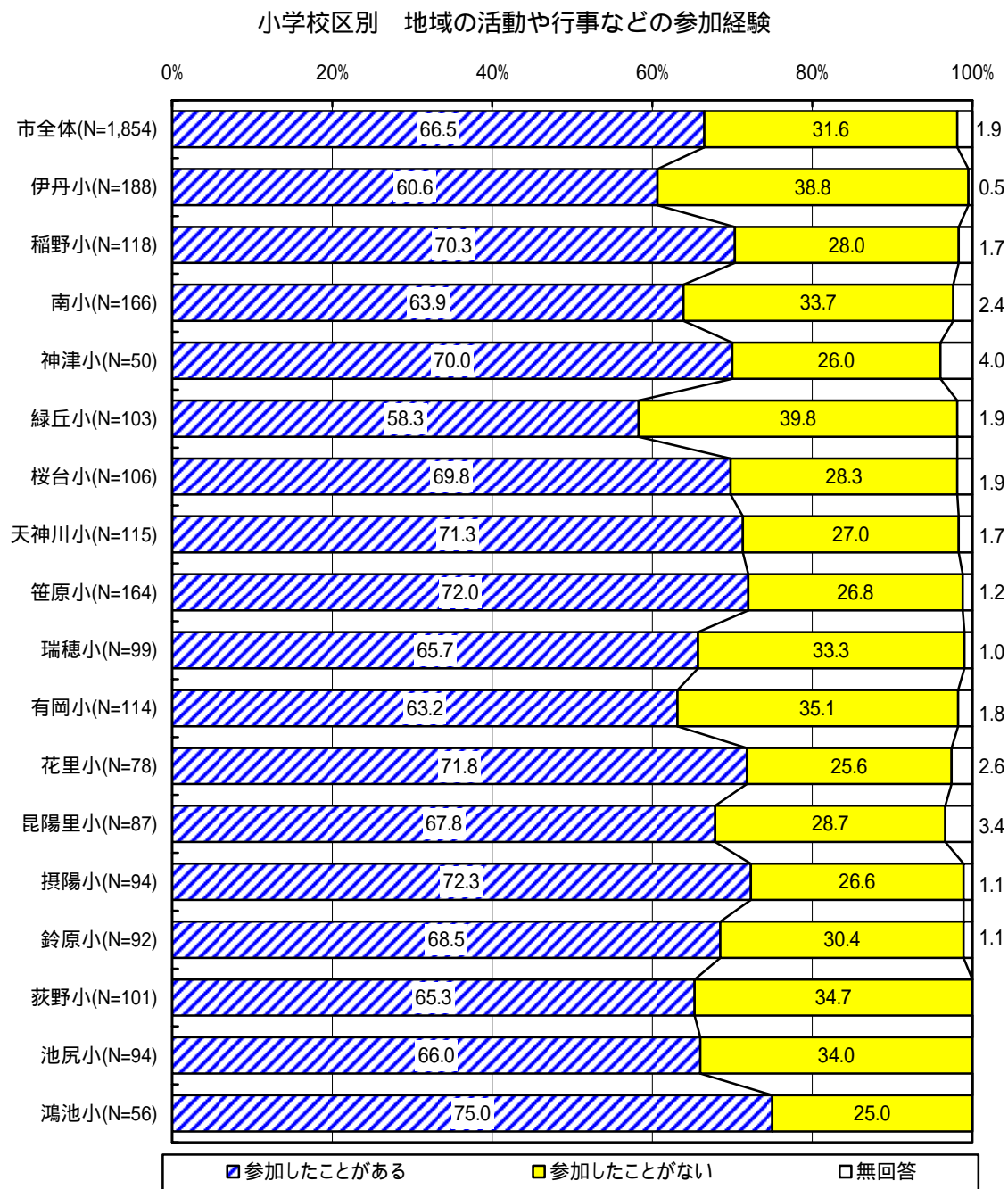
治安が良く安心して住める

防災対策が充実して安心して住める

地域の行事や活動等への参加経験

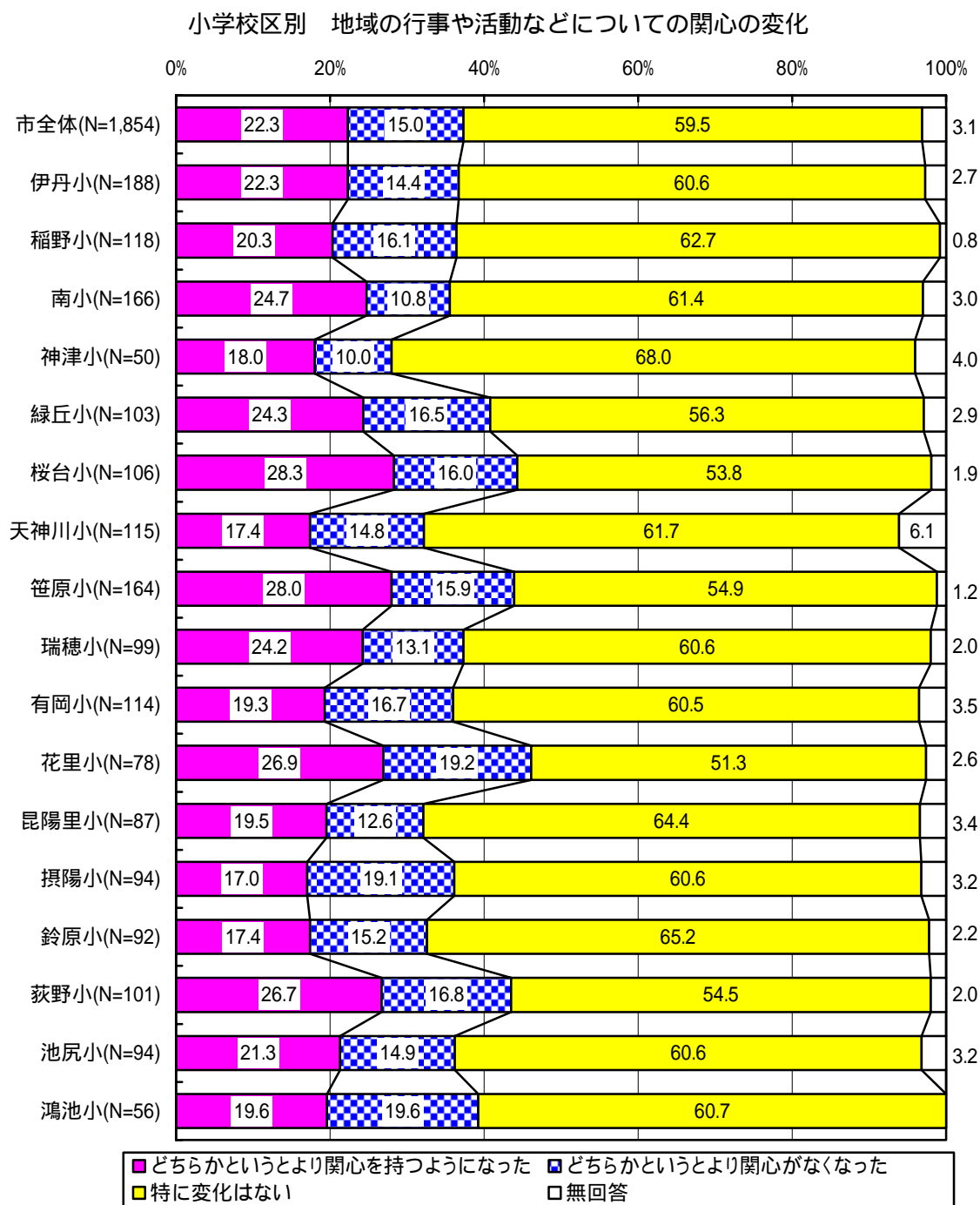
「参加したことがある」率が70%以上は、鴻池小が75.0%で最も高く、次いで摂陽小が72.3%、笹原小が72.0%、花里小が71.8%、天神川小が71.3%、稲野小が70.3%、神津小が70.0%などです。

一方、「参加したことがない」率は、緑丘小が39.8%で最も高く、伊丹小が38.8%、有岡小が35.1%などです。



地域の行事や活動などについての関心の変化

「どちらかというより関心を持つようになった」が25%以上は、桜台小の28.3%が最も高く、笹原小が28.0%、花里小が26.9%、荻野小が26.7%です。



地域の行事や活動を活発にするために必要なこと

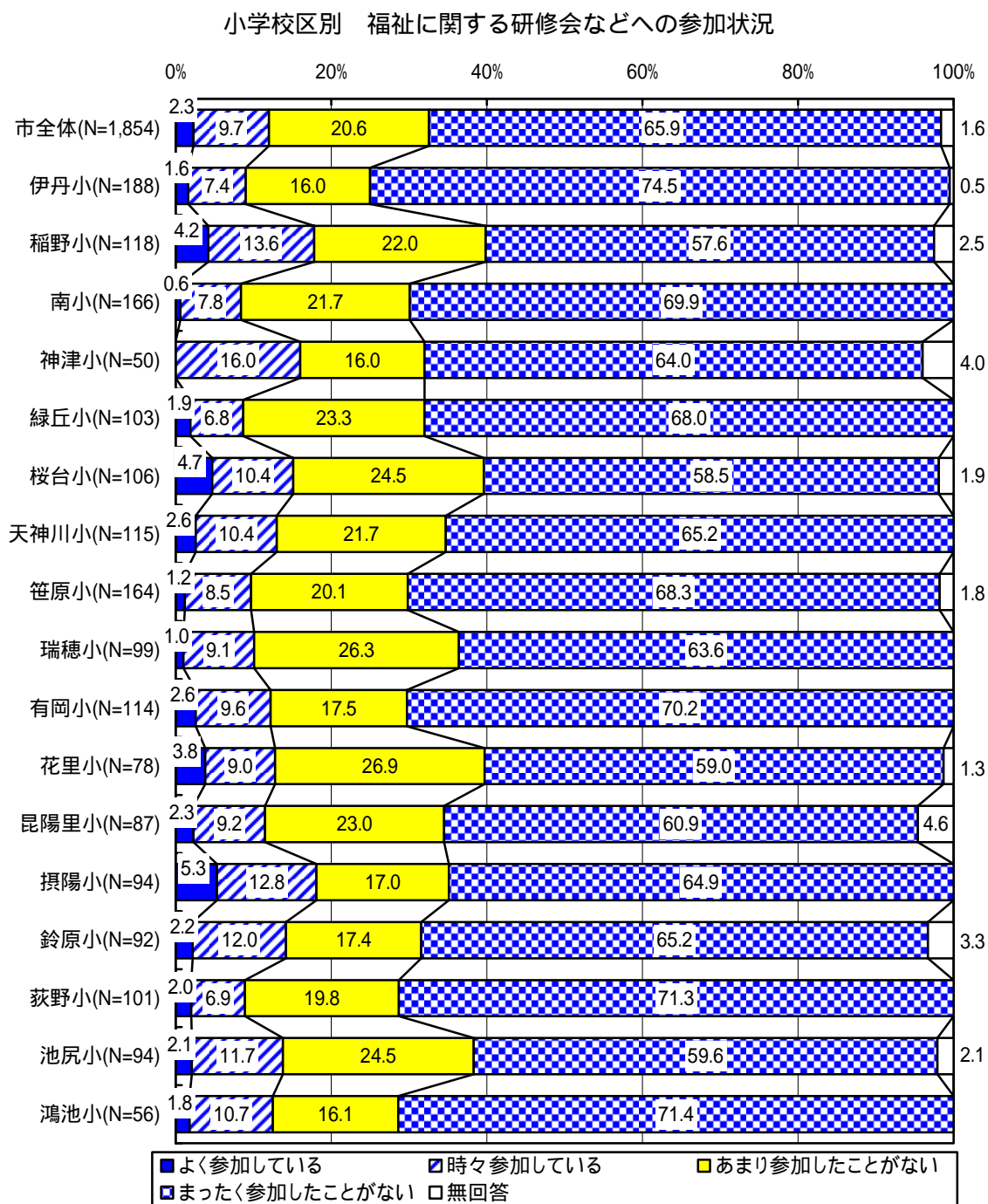
ほとんどの小学校区は「困ったときに、住民同士が今以上に助け合える関係をつくる」が第1位で、特に鈴原小は68.5%と高く、花里小も62.8%と60%を超えています。そんな中で、「顔見知りの関係を広げる」が第1位となっているのは有岡小と荻野小で、それぞれ50.9%、53.5%です。また、鴻池小は「自治会や老人クラブ、婦人会、子ども会などの活動をもっと活発にしていこう」が第1位で51.8%となっています。

小学校区別 地域の行事や活動を活発にするために必要なこと

	回答数	困ったときに、住民同士が今以上に助け合える関係をつくる	顔見知りの関係を広げる	自治会や老人クラブ、婦人会、子ども会などの活動をもっと活発にしていこう	学校 地域 家庭のつながりや連携をもっと活発にしていこう	新築マンションの同居者など、新たに住民との関係づくりを強化する	小学校区ごとの活動をもっと活発にしていこう	地元の商業者など、事業者と住民のつながりをもっと深める	その他	無回答
市全体	1,854	54.7	46.3	31.9	26.9	18.3	13.7	11.5	4.2	5.8
伊丹小	188	55.3	48.9	30.9	27.7	21.3	11.2	15.4	3.7	4.3
稲野小	118	55.1	43.2	30.5	22.9	22.9	11.9	16.9	7.6	12.7
南小	166	58.4	52.4	38.6	22.9	20.5	10.8	13.9	3.6	4.2
神津小	50	58.0	36.0	44.0	30.0	16.0	16.0	10.0	4.0	4.0
緑丘小	103	45.6	41.7	35.0	34.0	12.6	17.5	14.6	5.8	2.9
桜台小	106	53.8	45.3	31.1	31.1	18.9	15.1	7.5	3.8	2.8
天神川小	115	56.5	46.1	30.4	26.1	21.7	11.3	11.3	3.5	4.3
笹原小	164	58.5	46.3	29.9	22.0	18.3	14.0	9.1	3.0	6.1
瑞穂小	99	53.5	33.3	26.3	29.3	17.2	9.1	15.2	3.0	4.0
有岡小	114	44.7	50.9	28.9	24.6	20.2	14.9	13.2	2.6	4.4
花里小	78	62.8	51.3	37.2	38.5	17.9	10.3	6.4	0.0	5.1
昆陽里小	87	55.2	44.8	32.2	23.0	19.5	14.9	9.2	0.0	11.5
摂陽小	94	54.3	41.5	33.0	19.1	11.7	16.0	7.4	5.3	6.4
鈴原小	92	68.5	46.7	25.0	25.0	12.0	16.3	7.6	0.0	7.6
荻野小	101	50.5	53.5	25.7	34.7	12.9	18.8	12.9	7.9	1.0
池尻小	94	57.4	54.3	31.9	34.0	19.1	16.0	10.6	4.3	4.3
鴻池小	56	48.2	42.9	51.8	25.0	26.8	17.9	8.9	10.7	3.6

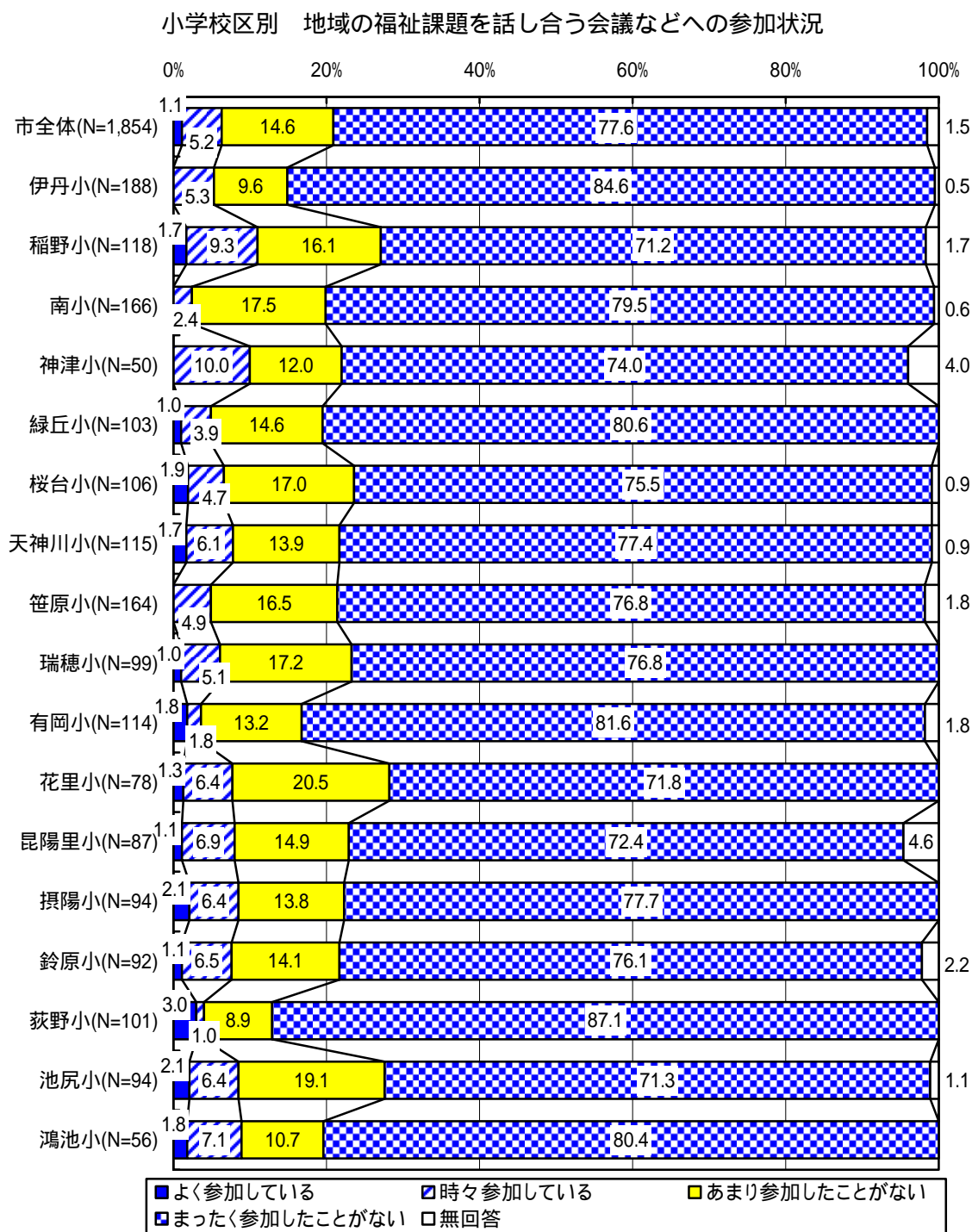
福祉に関する研修会などへの参加状況

「よく参加している」及び「時々参加している」を合わせた[参加している]は、摂陽小が18.1%で最も高く、次いで稲野小が17.8%、神津小が16.0%、桜台小が15.1%などで、南小が8.4%で最も低くなっています。



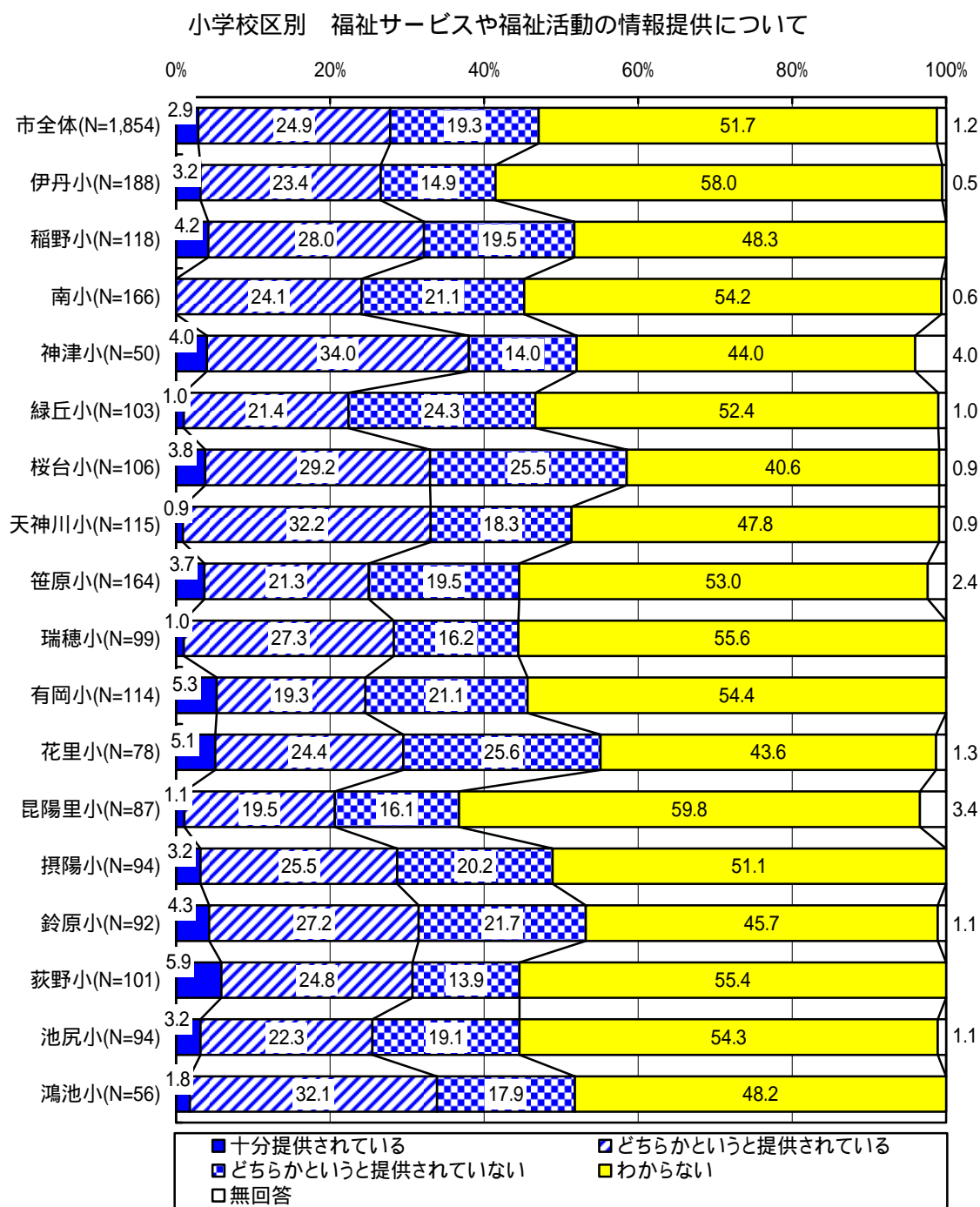
地域の福祉課題を話し合う会議などへの参加状況

「よく参加している」及び「時々参加している」を合わせた[参加している]は、稲野小が11.0%で最も高く、次いで神津小が10.0%、鴻池小が8.9%、摂陽小及び池尻小がそれぞれ8.5%などです。



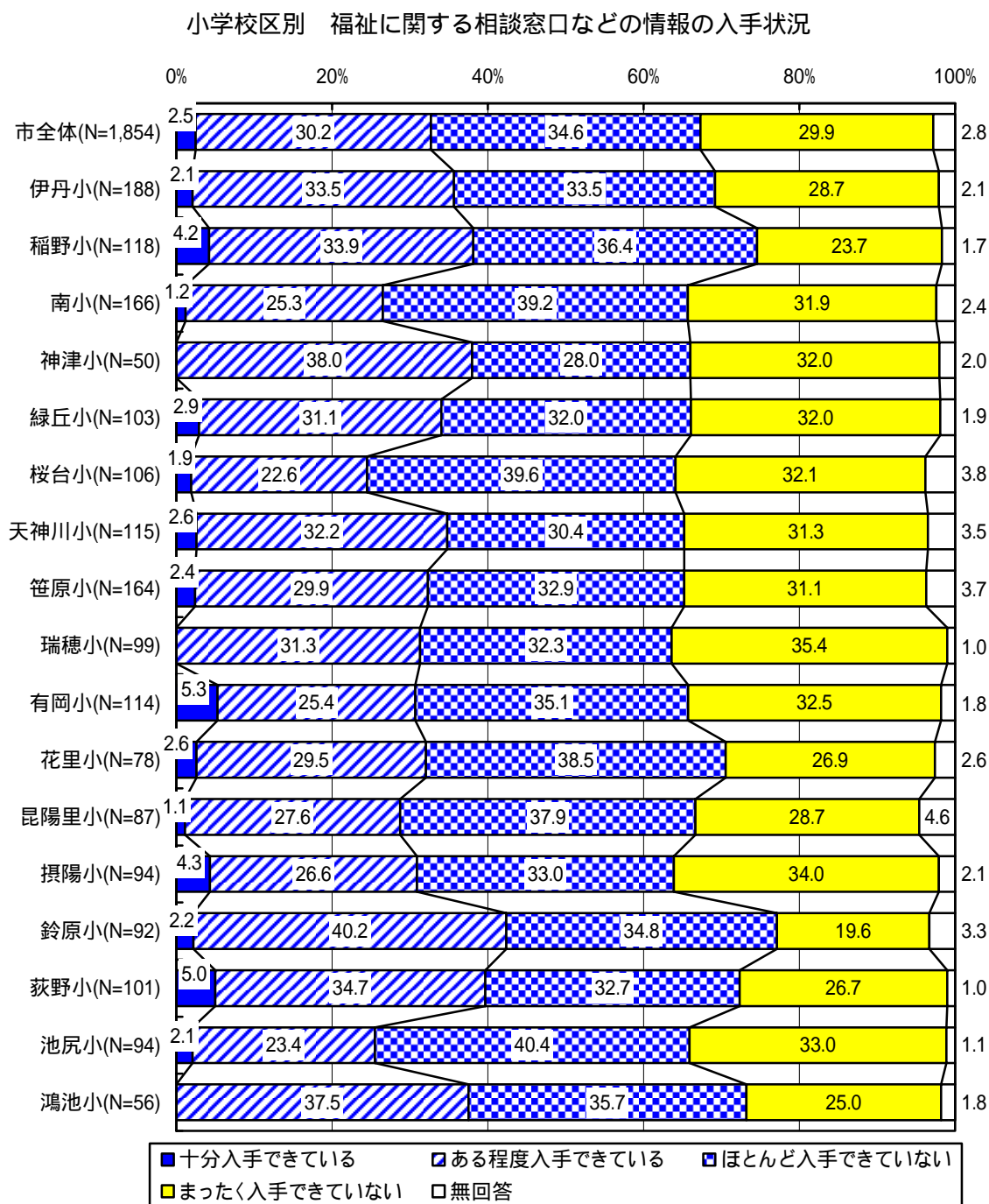
福祉サービスや福祉活動の情報提供について

「十分提供されている」と「どちらかという提供されている」を合わせた[提供されている]は、神津小が38.0%で最も高く、鴻池小が33.9%、天神川小が33.1%、桜台小が33.0%、稲野小が32.2%、鈴原小が31.5%、荻野小が30.7%などで、昆陽里小が20.6%で最も低くなっています。



福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況

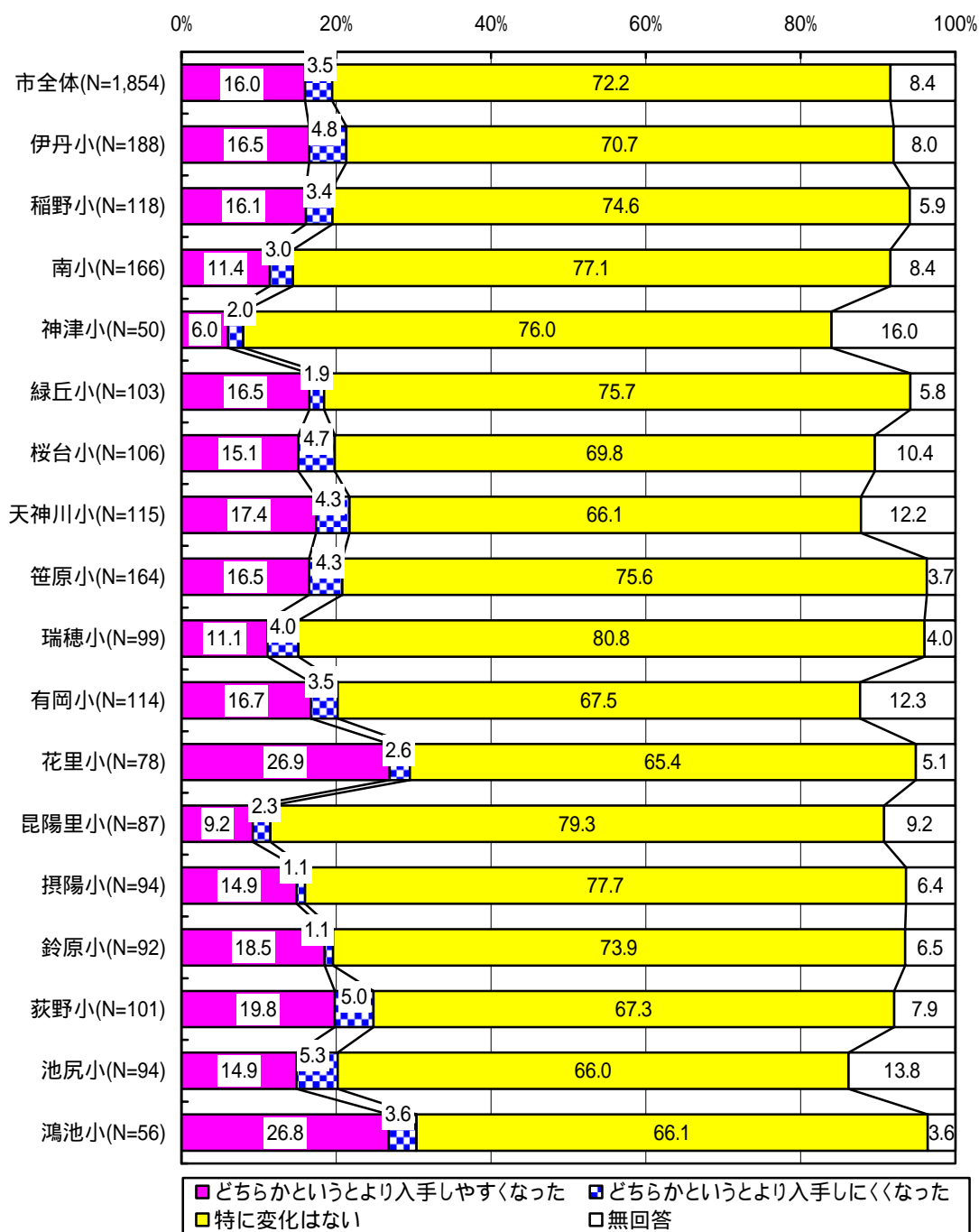
「十分入手できている」と「ある程度入手できている」を合わせた【入手できている】は、鈴原小が42.4%で最も高く、次いで荻野小が39.7%、稲野小が38.1%、神津小が38.0%、鴻池小が37.5%などで、桜台小が24.5%で最も低くなっています。



福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況についての変化

「どちらかというより入手しやすくなった」は、花里小が26.9%で最も高く、僅差で鴻池小が26.8%と続き、荻野小が19.8%、鈴原小が18.5%、天神川小が17.4%などで、神津小は6.0%で最も低くなっています。

小学校別 福祉に関する相談窓口などの情報の入手状況についての変化



(3) 生活課題や福祉について

日頃の生活での悩みや不安

おおむねどの小学校区も市全体の順位と変わりなく、「自分や家族の健康のこと」が70%以上は鴻池小(71.4%)、神津小(70.0%)、「自分や家族の老後のこと」が65%以上は花里小(66.7%)、鴻池小(66.1%)、「収入など経済的なこと」が55%以上は神津小(56.0%)、「介護にすること」が45%以上は花里小(50.0%)、「地震や火事などの災害のこと」が35%以上は笹原小(36.0%)です。

小学校区別 日頃の生活での悩みや不安(トップ5)

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市全体	1,854	自分や家族の健康のこと 60.3%	自分や家族の老後のこと 58.5%	収入など経済的なこと 45.1%	介護にすること 38.2%	地震や火事などの災害のこと 31.1%
伊丹小	188	自分や家族の健康のこと 58.0%	自分や家族の老後のこと 55.3%	収入など経済的なこと 45.7%	介護にすること 38.3%	子どもの教育や将来のこと 34.6%
稲野小	118	自分や家族の健康のこと 66.1%	自分や家族の老後のこと 61.9%	収入など経済的なこと 46.6%	介護にすること 36.4%	地震や火事などの災害のこと 32.2%
南小	166	自分や家族の健康のこと 59.6%	自分や家族の老後のこと 57.2%	収入など経済的なこと 43.4%	介護にすること 36.7%	地震や火事などの災害のこと 26.5%
神津小	50	自分や家族の健康のこと 70.0%	自分や家族の老後のこと 58.0%	収入など経済的なこと 56.0%	介護にすること 44.0%	地震や火事などの災害のこと 30.0%
緑丘小	103	自分や家族の老後のこと 64.1%	自分や家族の健康のこと 53.4%	収入など経済的なこと 介護にすること 各42.7%		地震や火事などの災害のこと 30.0%
桜台小	106	自分や家族の健康のこと 58.5%	自分や家族の老後のこと 54.7%	収入など経済的なこと 51.9%	介護にすること 35.8%	地震や火事などの災害のこと 子どもの教育や将来のこと 32.1%
天神川小	115	自分や家族の老後のこと 62.6%	自分や家族の健康のこと 58.3%	収入など経済的なこと 53.9%	介護にすること 44.3%	地震や火事などの災害のこと 33.0%
笹原小	164	自分や家族の健康のこと 62.8%	自分や家族の老後のこと 61.0%	収入など経済的なこと 42.7%	介護にすること 39.0%	地震や火事などの災害のこと 36.0%
瑞穂小	99	自分や家族の健康のこと 67.7%	自分や家族の老後のこと 55.6%	収入など経済的なこと 37.4%	地震や火事などの災害のこと 33.3%	介護にすること 31.3%
有岡小	114	自分や家族の健康のこと 自分や家族の老後のこと 各57.0%		収入など経済的なこと 45.6%	介護にすること 32.5%	子どもの教育や将来のこと 31.6%
花里小	78	自分や家族の健康のこと 自分や家族の老後のこと 各66.7%		収入など経済的なこと 介護にすること 各50.0%		地震や火事などの災害のこと 34.6%
昆陽里小	87	自分や家族の老後のこと 57.5%	自分や家族の健康のこと 56.3%	収入など経済的なこと 37.9%	地震や火事などの災害のこと 33.3%	介護にすること 31.0%
摂陽小	94	自分や家族の健康のこと 61.7%	自分や家族の老後のこと 55.3%	収入など経済的なこと 介護にすること 各40.4%		地震や火事などの災害のこと 31.9%
鈴原小	92	自分や家族の健康のこと 64.1%	自分や家族の老後のこと 57.6%	収入など経済的なこと 39.1%	介護にすること 37.0%	地震や火事などの災害のこと 30.4%
荻野小	101	自分や家族の健康のこと 59.4%	自分や家族の老後のこと 51.5%	収入など経済的なこと 44.6%	介護にすること 36.6%	地震や火事などの災害のこと 31.7%
池尻小	94	自分や家族の老後のこと 62.8%	自分や家族の健康のこと 収入など経済的なこと 各52.1%		介護にすること 43.6%	地震や火事などの災害のこと 子どもの教育や将来のこと 28.7%
鴻池小	56	自分や家族の健康のこと 71.4%	自分や家族の老後のこと 66.1%	収入など経済的なこと 50.0%	介護にすること 44.6%	子どもの教育や将来のこと 30.4%

困ったときの家族以外の相談先

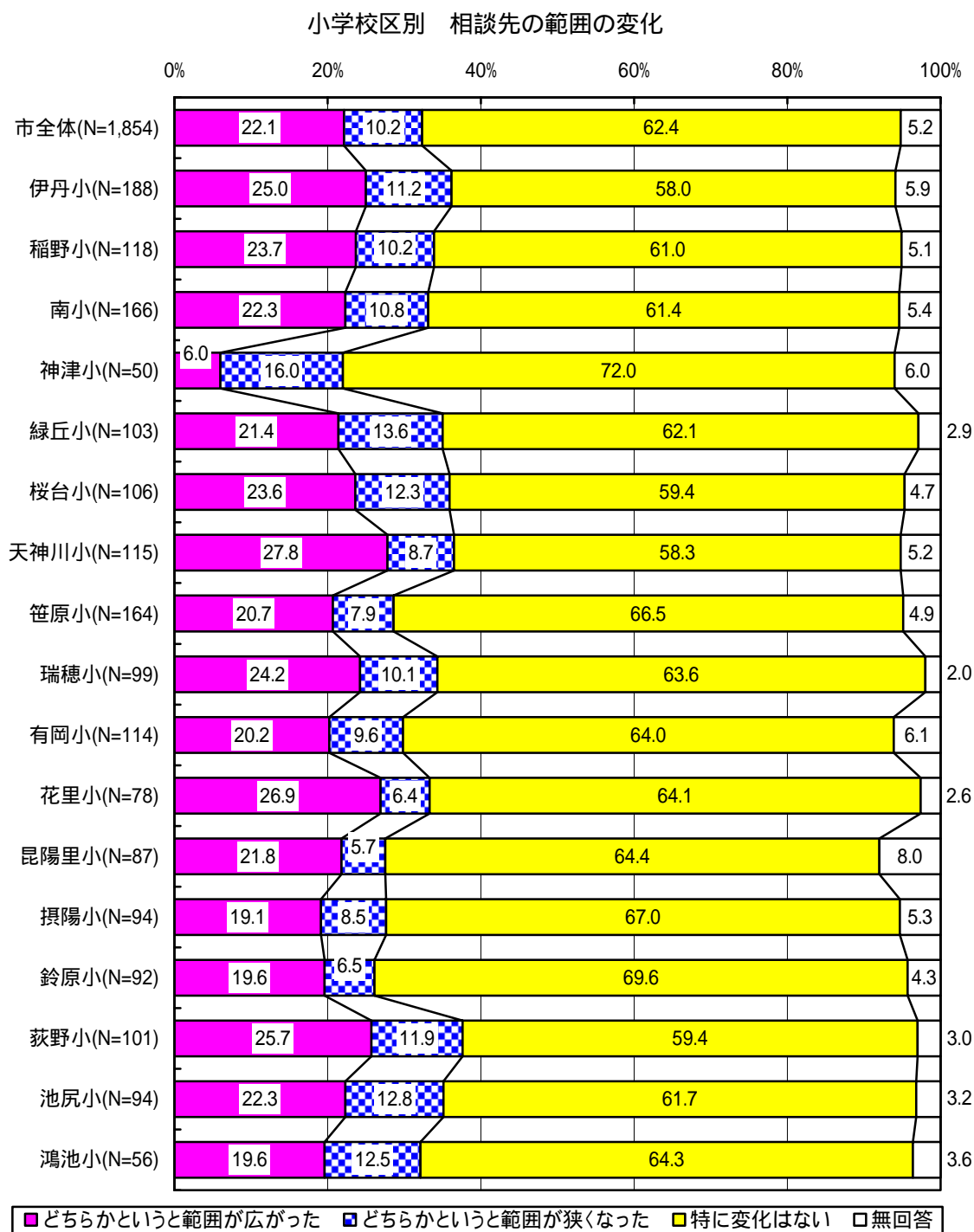
おおむねどの小学校区も市全体の順位と変わりなく、「友人、サークル仲間」が55%以上は瑞穂小（62.6%）、天神川小（56.5%）、桜台小（55.7%）、鈴原小（55.4%）
「市役所などの行政機関」が35%以上は稲野小（38.1%）、花里小（33.3%）、「近隣の知人」が30%以上は神津小（36.0%）、鴻池小（33.9%）、花里小（30.8%）、「職場の同僚、上司」が27%以上は南小及び瑞穂小（共に28.3%）、「医師、看護師、保健師」が20%以上は鈴原小（26.1%）、笹原小（22.0%）です。

小学校区別 困ったときの家族以外の相談先（トップ5）

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市全体	1,854	友人、サークル仲間 50.3%	市役所などの行政機関 27.9%	近隣の知人 23.9%	職場の同僚、上司 22.4%	医師、看護師、保健師 14.9%
伊丹小	188	友人、サークル仲間 54.8%	市役所などの行政機関 26.6%	職場の同僚、上司 25.0%	近隣の知人 21.8%	医師、看護師、保健師/専門相談機関 各12.2%
稲野小	118	友人、サークル仲間 48.3%	市役所などの行政機関 38.1%	近隣の知人 職場の同僚、上司 各19.5%		医師、看護師、保健師/専門相談機関 各14.4%
南小	166	友人、サークル仲間 53.6%	職場の同僚、上司 28.3%	市役所などの行政機関 25.9%	近隣の知人 22.9%	医師、看護師、保健師 14.5%
神津小	50	近隣の知人 36.0%	友人、サークル仲間 32.0%	市役所などの行政機関 26.0%	職場の同僚、上司 14.0%	医師、看護師、保健師/専門相談機関 各12.0%
緑丘小	103	友人、サークル仲間 49.5%	市役所などの行政機関 27.2%	職場の同僚、上司 26.2%	近隣の知人 専門相談機関 各14.6%	
桜台小	106	友人、サークル仲間 55.7%	市役所などの行政機関、近隣の知人 職場の同僚、上司 各25.5%			医師、看護師、保健師 16.0%
天神川小	115	友人、サークル仲間 56.5%	近隣の知人 27.8%	市役所などの行政機関 27.0%	職場の同僚、上司 21.7%	医師、看護師、保健師 15.7%
笹原小	164	友人、サークル仲間 48.2%	市役所などの行政機関 26.2%	近隣の知人 23.2%	医師、看護師、保健師 22.0%	職場の同僚、上司 19.5%
瑞穂小	99	友人、サークル仲間 62.6%	職場の同僚、上司 28.3%	近隣の知人 25.3%	市役所などの行政機関 22.2%	医師、看護師、保健師 14.1%
有岡小	114	友人、サークル仲間 52.6%	職場の同僚、上司 26.3%	近隣の知人 25.4%	市役所などの行政機関 22.8%	医師、看護師、保健師 14.9%
花里小	78	友人、サークル仲間 51.3%	市役所などの行政機関 33.3%	近隣の知人 30.8%	職場の同僚、上司 16.7%	医師、看護師、保健師 14.1%
昆陽里小	87	友人、サークル仲間 48.3%	市役所などの行政機関 31.0%	近隣の知人 26.4%	職場の同僚、上司 25.3%	医師、看護師、保健師 10.3%
摂陽小	94	友人、サークル仲間 36.2%	市役所などの行政機関 31.9%	近隣の知人 23.4%	職場の同僚、上司 19.1%	医師、看護師、保健師 16.0%
鈴原小	92	友人、サークル仲間 55.4%	市役所などの行政機関 28.3%	医師、看護師、保健師 26.1%	近隣の知人 25.0%	職場の同僚、上司 14.1%
荻野小	101	友人、サークル仲間 43.6%	市役所などの行政機関 32.7%	職場の同僚、上司 25.7%	近隣の知人 17.8%	医師、看護師、保健師 10.9%
池尻小	94	友人、サークル仲間 51.1%	市役所などの行政機関 31.9%	近隣の知人 25.5%	職場の同僚、上司 19.1%	医師、看護師、保健師 12.8%
鴻池小	56	友人、サークル仲間 48.2%	近隣の知人 33.9%	市役所などの行政機関 26.8%	職場の同僚、上司 14.3%	医師、看護師、保健師 12.5%

相談先の範囲の変化

「どちらかという範囲が広がった」は、天神川小が27.8%で最も高く、僅差で花里小が26.9%と続き、荻野小が25.7%、伊丹小が25.0%、瑞穂小が24.2%などで、神津小は6.0%で最も低くなっています。

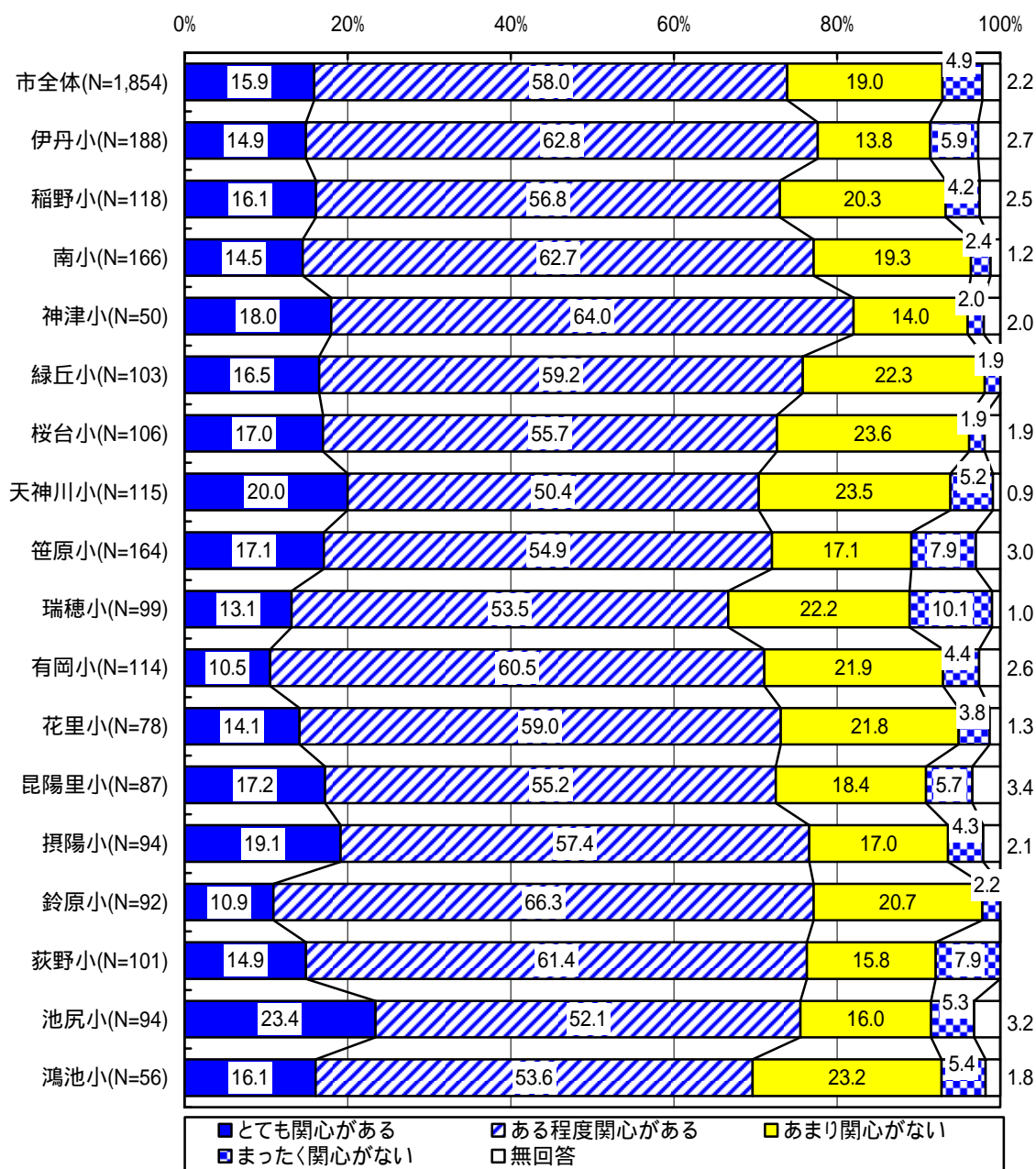


福祉に対する関心の有無

「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた[関心がある]は、神津小が82.0%で最も高く、次いで伊丹小(77.7%)、南小及び鈴原小(共に77.2%)、荻野小(76.3%)などと続き、瑞穂小が66.6%で最も低くなっています。

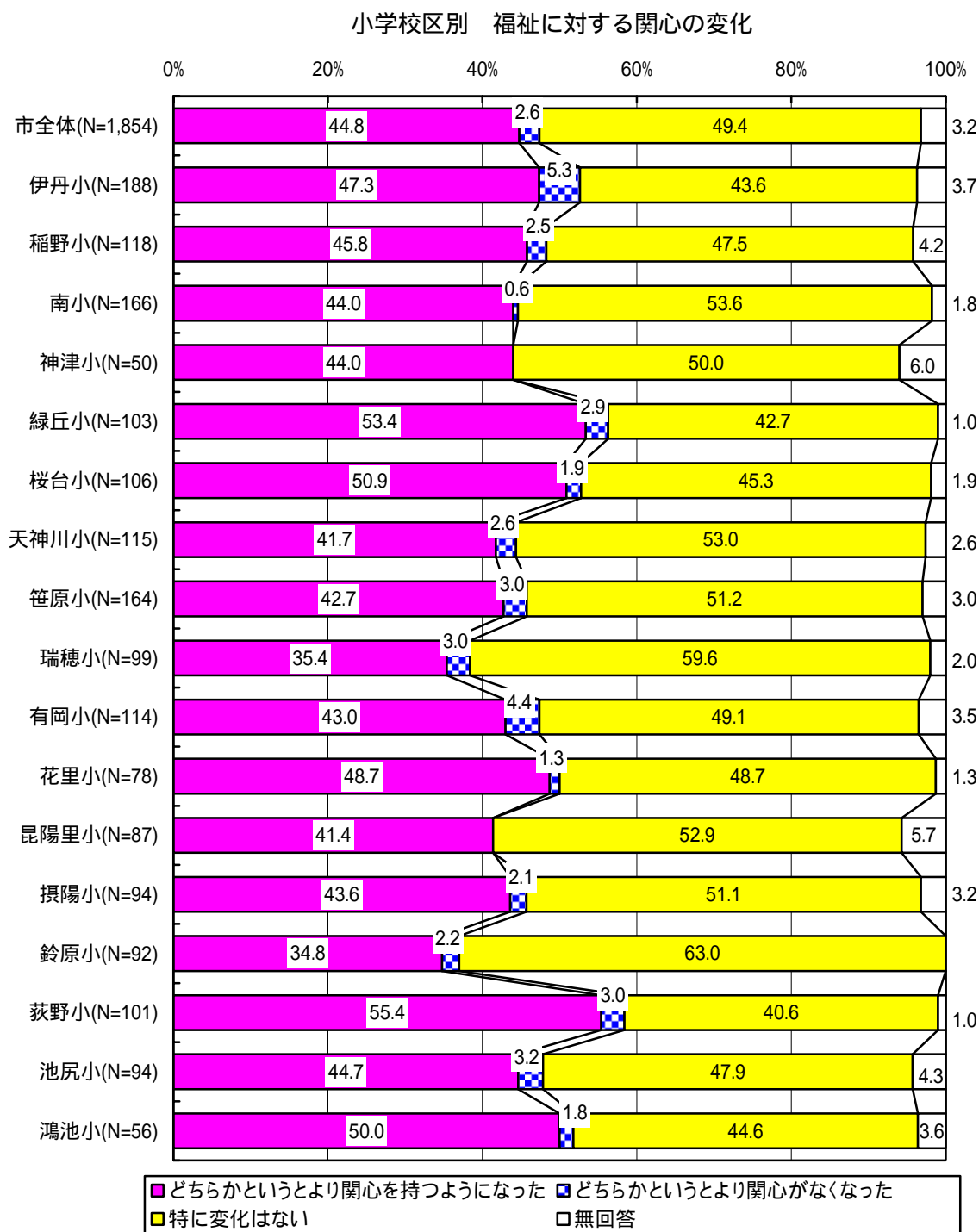
一方、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた[関心がない]は、瑞穂小が32.3%で最も高く、次いで天神川小(28.7%)、鴻池小(28.6%)、有岡小(26.3%)、花里小(25.6%)などと続き、神津小が16.0%で最も低くなっています。

小学校区別 福祉に対する関心の有無



福祉に対する関心の変化

「どちらかというより関心を持つようになった」は、荻野小が55.4%で最も高く、他に50%を超える校区は緑丘小(53.4%)、桜台小(50.9%)、鴻池小(50.0%)で、鈴原小が34.8%で最も低くなっています。

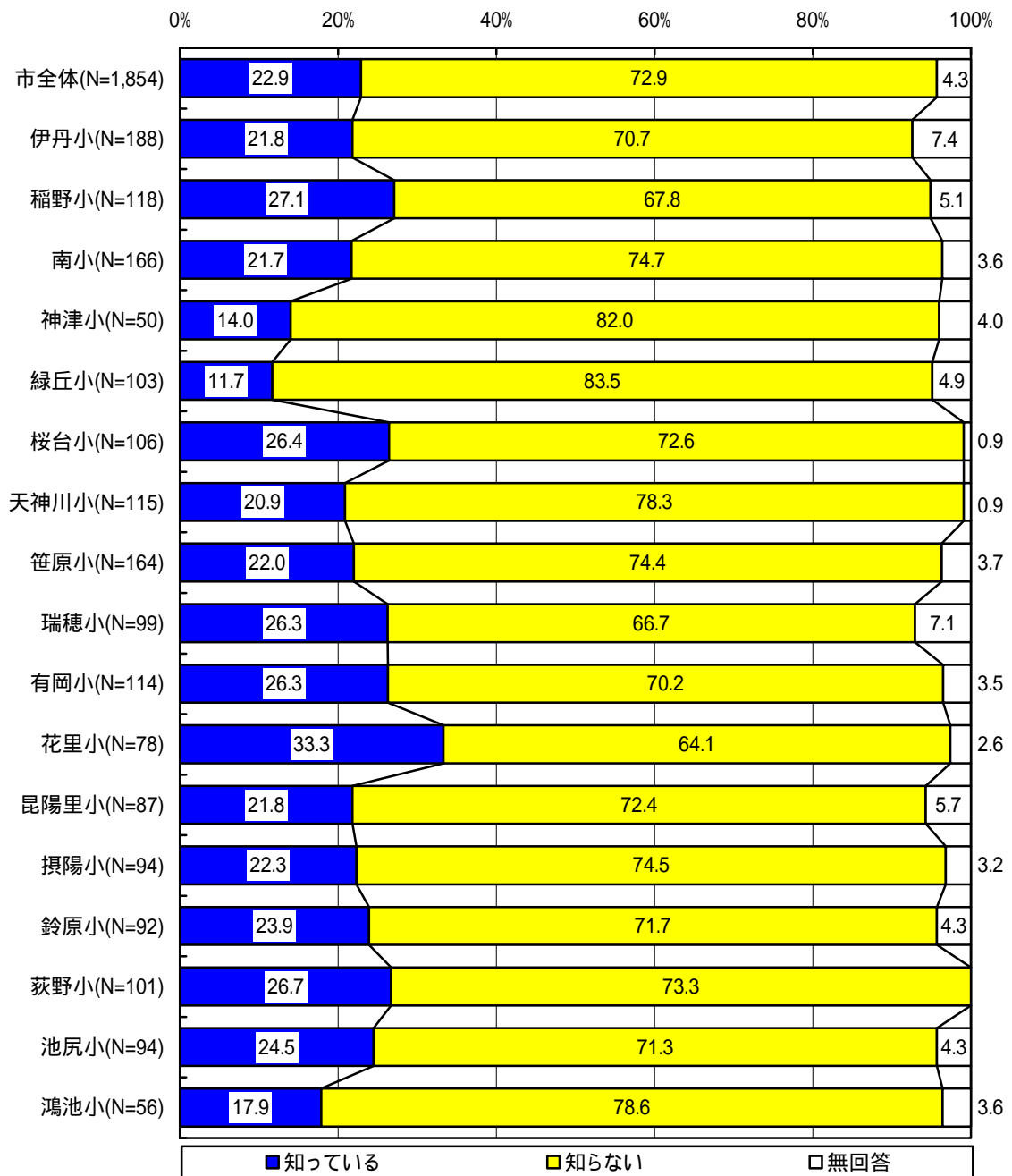


「権利擁護」の言葉の認知状況

「知っている」は、花里小の33.3%が最も高く、次いで稲野小(27.1%)、荻野小(26.7%)、桜台小(26.4%)、瑞穂小(26.3%)などと続き、緑丘小が11.7%で最も低くなっています。

一方、「知らない」は、緑丘小の83.5%が最も高く、次いで稲野小(82.0%)、鴻池小(78.6%)、天神川小(78.3%)などと続き、花里小の64.1%が最も低くなっています。

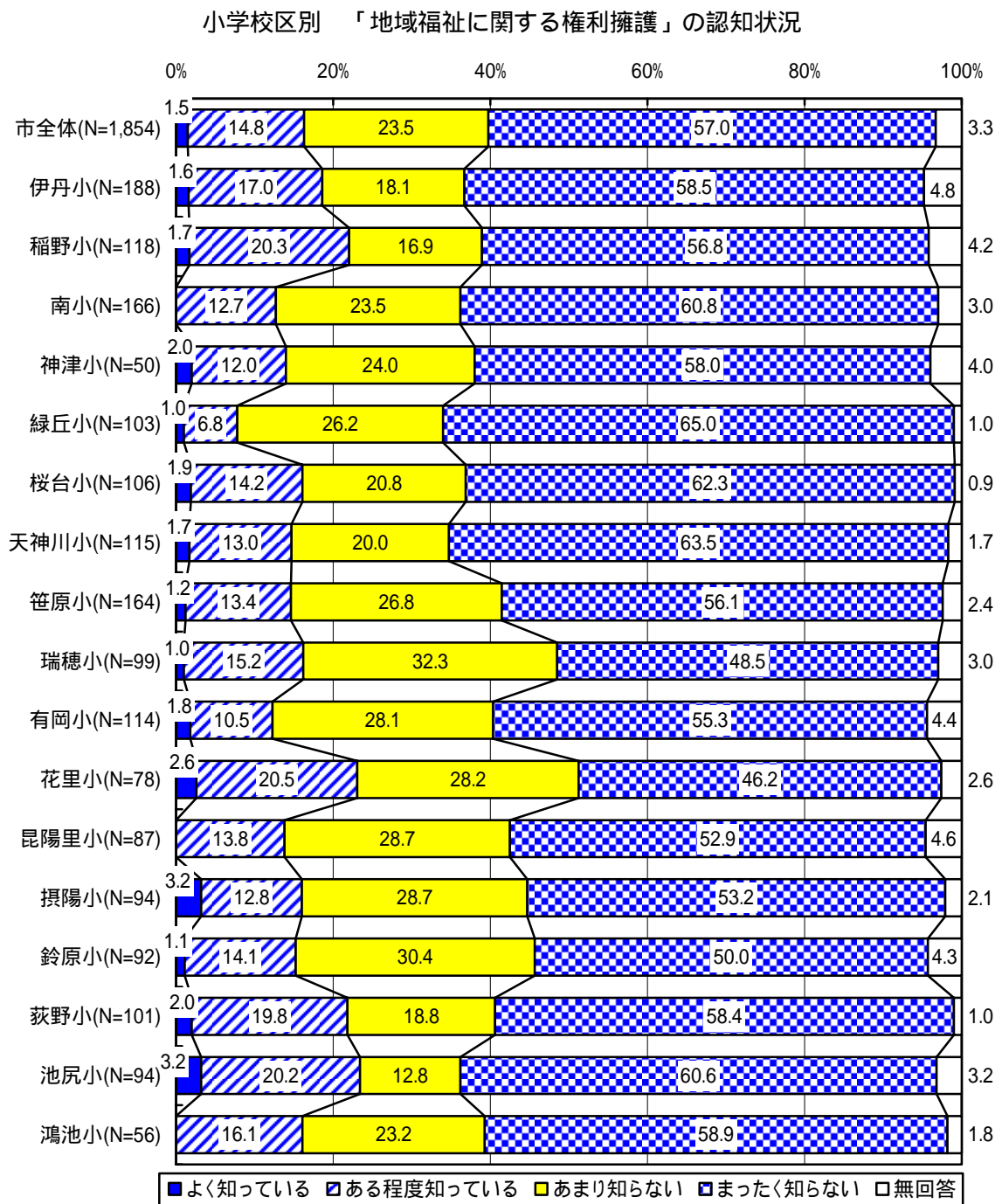
小学校区別 「権利擁護」の言葉の認知状況



「地域福祉に関する権利擁護」の認知状況

「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた[知っている]は、池尻小の23.4%が最も高く、次いで花里小(23.1%)、稲野小(22.0%)、荻野小(21.8%)などと続き、緑丘小が7.8%で最も低くなっています。

一方、「あまり知らない」と「まったく知らない」を合わせた[知らない]は、緑丘小の91.2%が最も高く、次いで南小(84.3%)、天神川小(83.5%)、有岡小(83.4%)、桜台小(83.1%)などと続き、池尻小の73.4%が最も低くなっています。

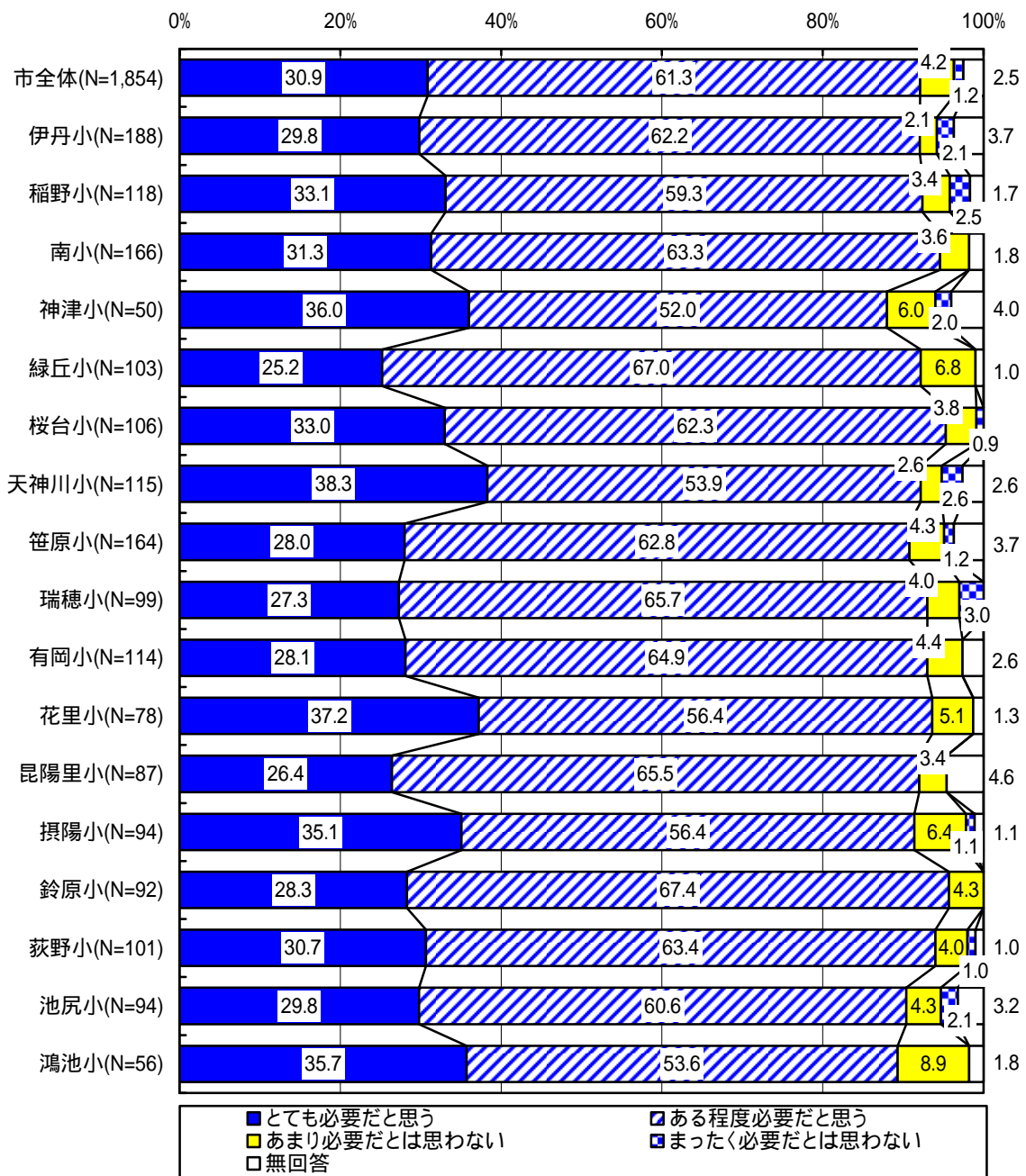


住民相互の支え合い、助け合いの必要性

「とても必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」を合わせた[必要だと思う]は、鈴原小が95.7%で最も高く、次いで桜台小(95.3%)、南小(94.6%)、荻野小(94.1%)、花里小(93.6%)などと続き、神津小が88.0%で最も低くなっています。

一方、「あまり必要だとは思わない」と「まったく必要だとは思わない」を合わせた[必要だとは思わない]は、鴻池小が8.9%で最も高く、昆陽里小が3.4%で最も低くなっています。

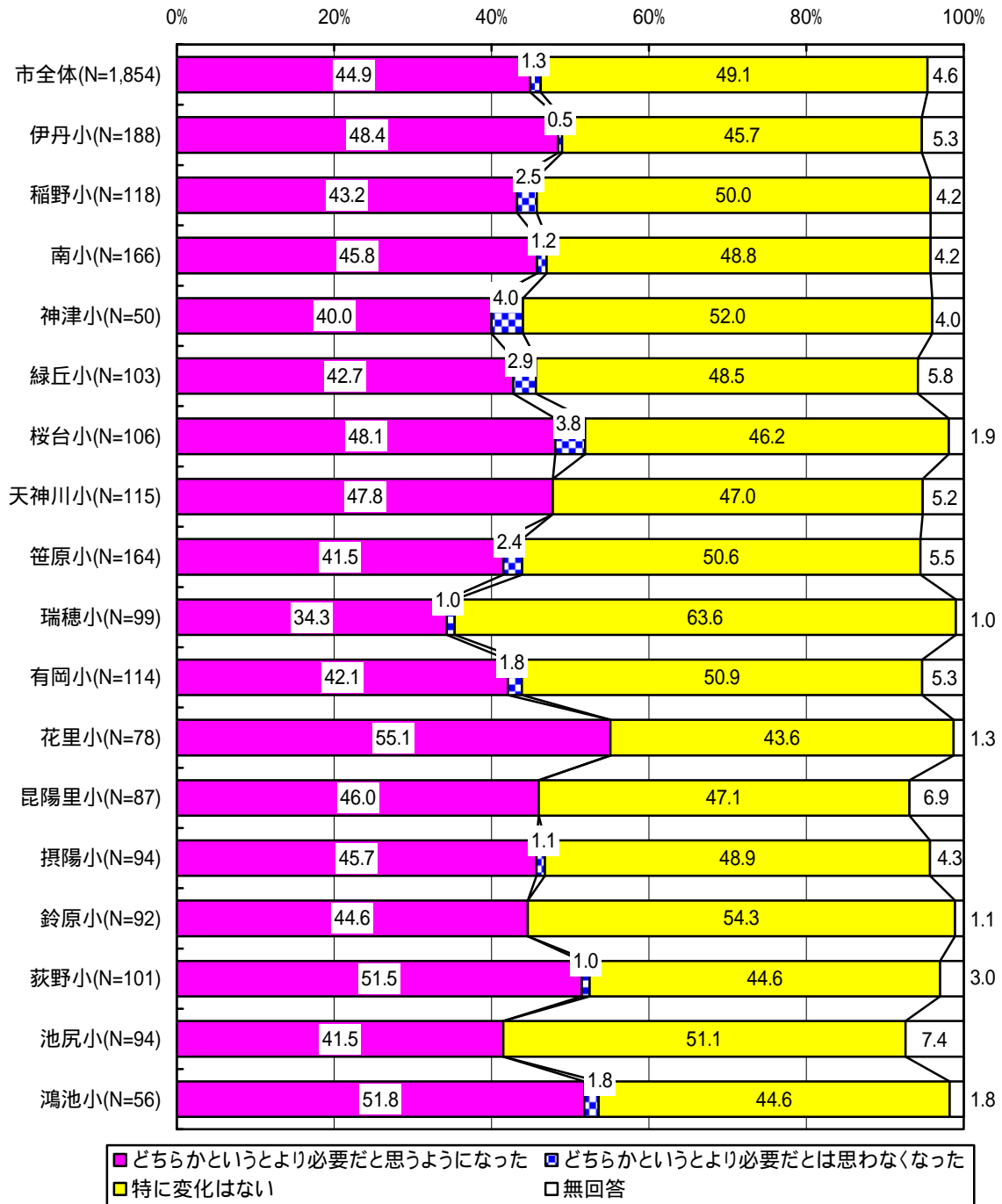
小学校区別 住民相互の支え合い、助け合いの必要性



住民相互の支え合い、助け合いの必要性についての变化

「どちらかというより必要だと思うようになった」は、花里小が55.1%で最も高く、次いで鴻池小(51.8%)、荻野小(51.5%)、伊丹小(48.4%)、桜台小(48.1%)などと続き、瑞穂小が34.3%で最も低くなっています。

小学校区別 住民相互の支え合い、助け合いの必要性についての变化

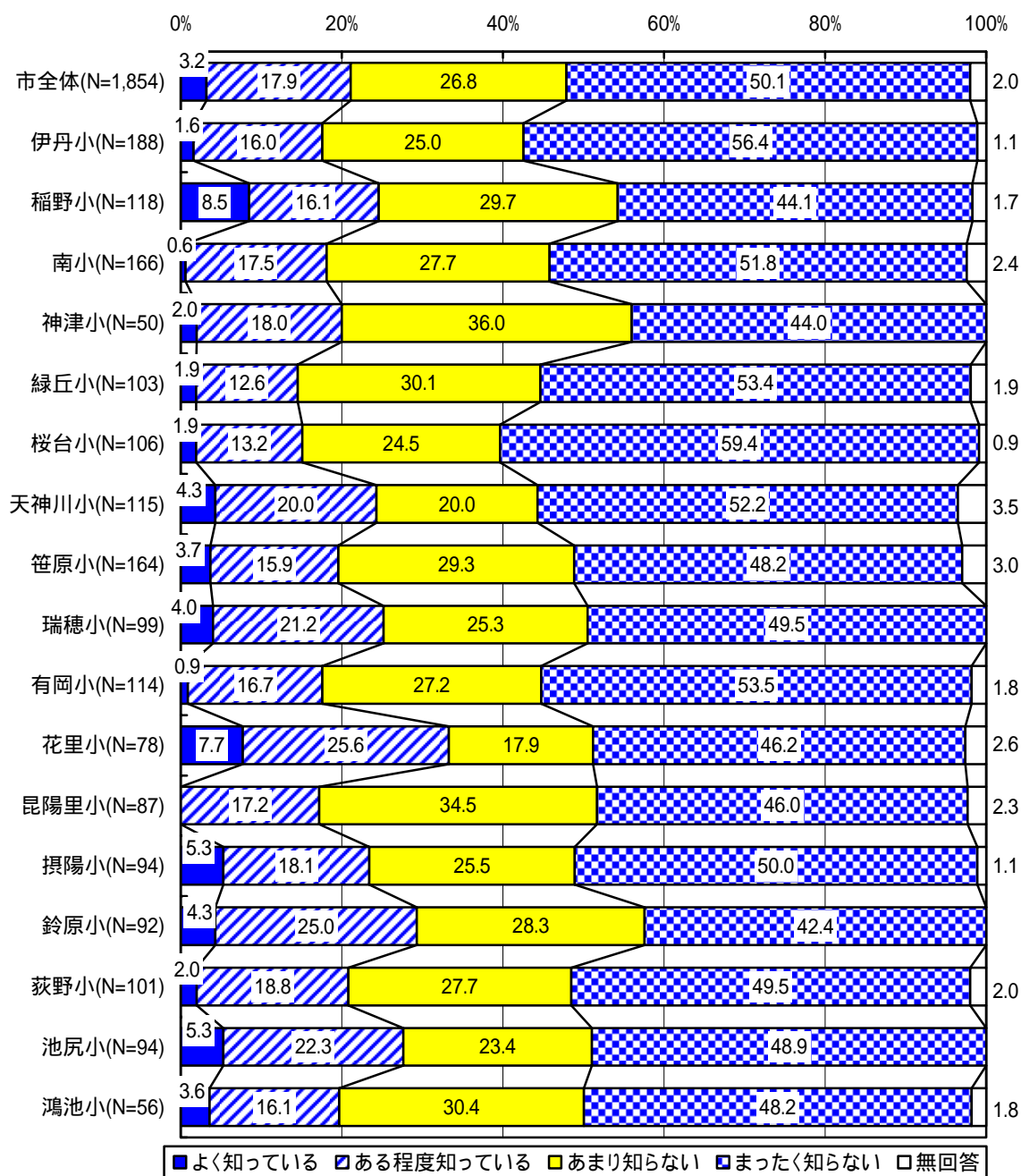


小地域福祉活動の認知状況

「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせて[知っている]は、花里小が33.3%で最も高く、次いで鈴原小(29.3%)、池尻小(27.6%)、瑞穂小(25.2%)、稲野小(24.6%)などと続き、緑丘小の14.5%が最も低くなっています。

一方、「あまり知らない」と「まったく知らない」を合わせた[知らない]は、桜台小が83.9%で最も高く、次いで緑丘小(83.5%)、伊丹小(81.4%)、有岡小(80.7%)、昆陽里小(80.5%)などと続き、花里小が64.1%で最も低くなっています。

小学校区別 小地域福祉活動の認知状況

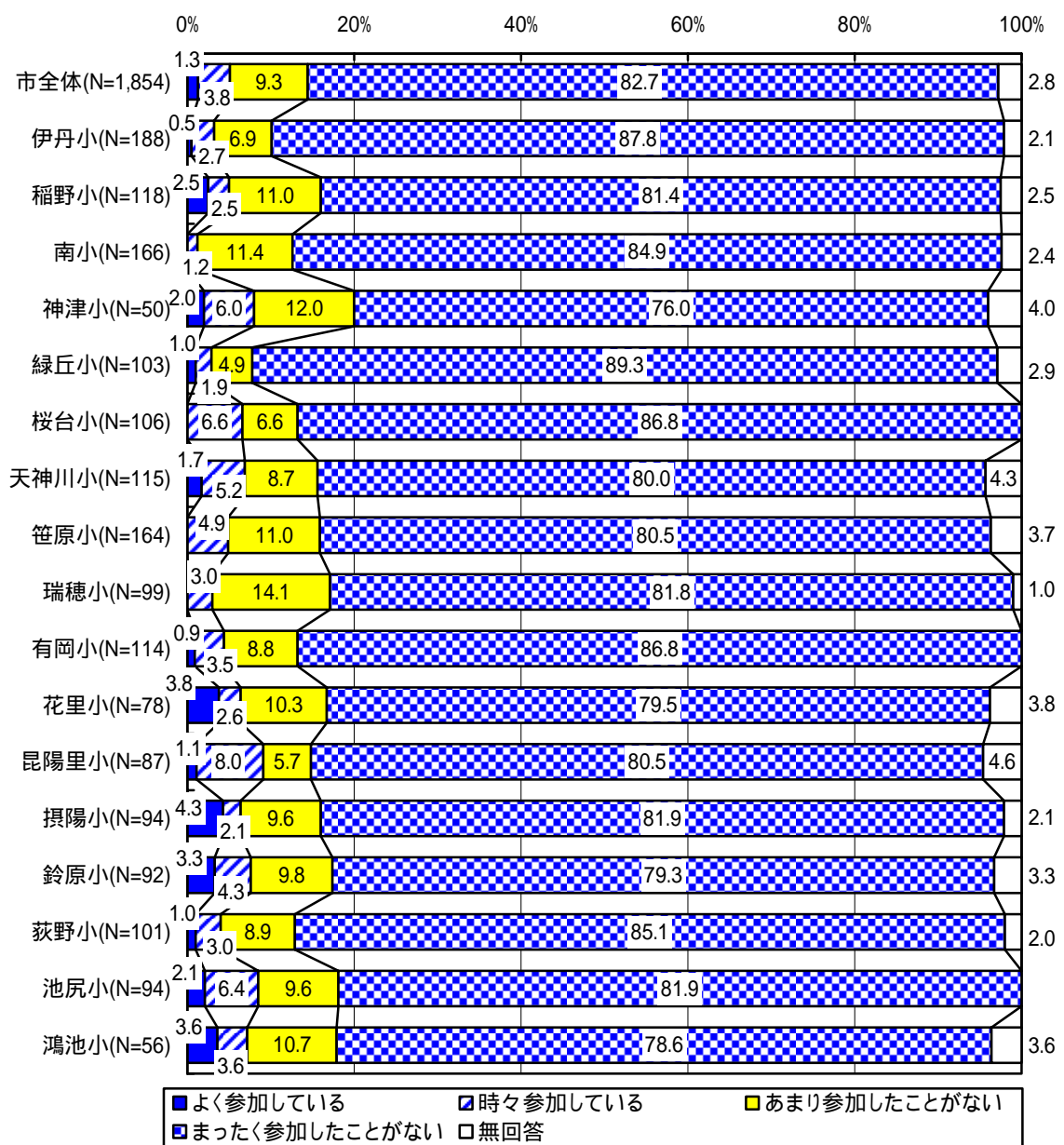


サービス提供など支援する側としての参加状況

「よく参加している」と「時々参加している」を合わせた[参加している]は、昆陽里小が9.1%で最も高く、次いで池尻小(8.5%)、神津小(8.0%)、鴻池小(7.2%)、天神川小(6.9%)などと続き、南小が1.2%で最も低くなっています。

一方、「あまり参加したことがない」と「まったく参加したことがない」を合わせた[参加したことがない]は、南小が96.3%で最も高く、次いで瑞穂小(95.9%)、有岡小(95.6%)、伊丹小(94.7%)、緑丘小(94.2%)などと続き、昆陽里小が86.2%で最も低くなっています。

小学校区別 サービス提供など支援する側としての小地域福祉活動への参加状況

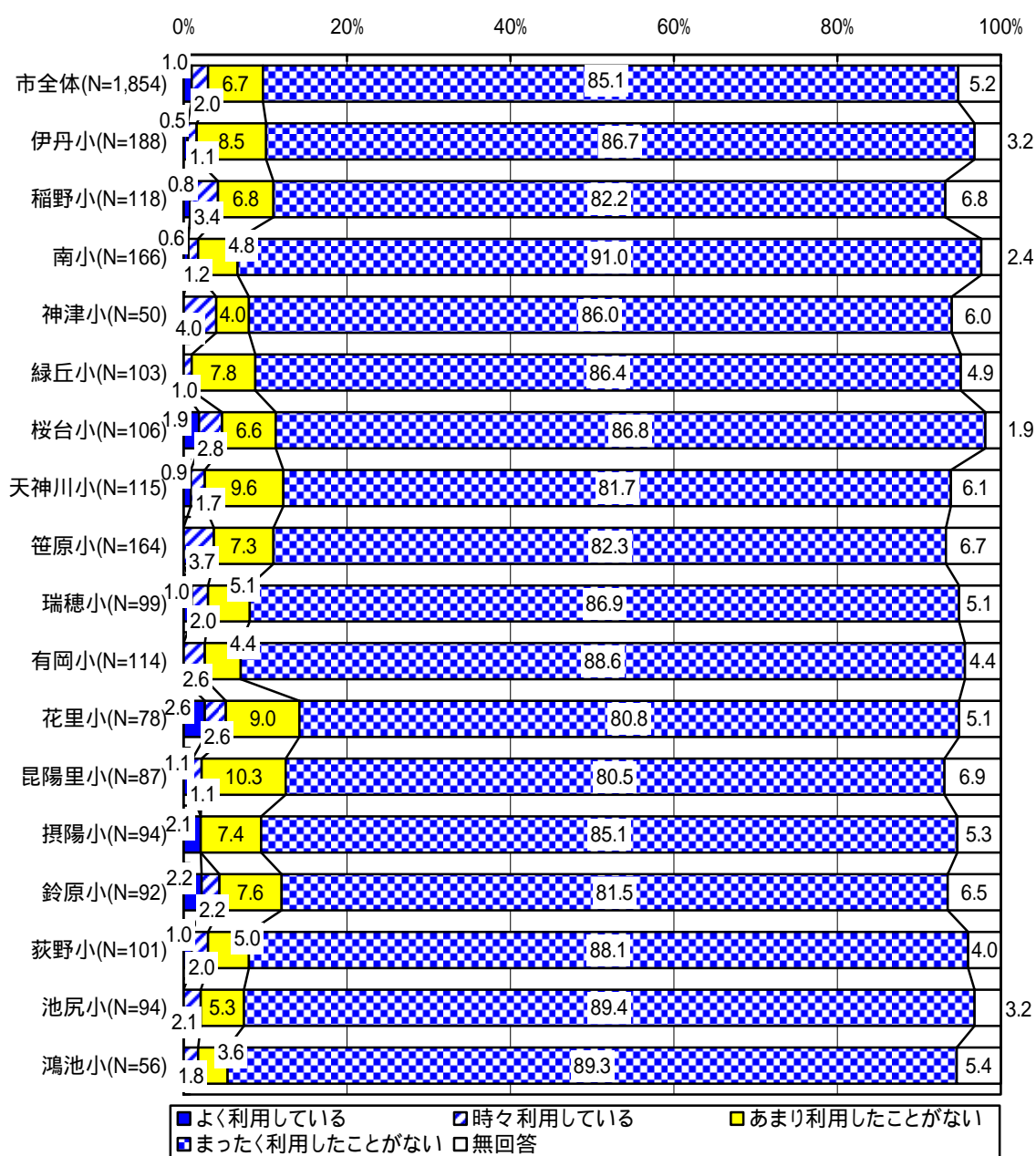


サービスの利用など支援を受ける側としての参加状況

「よく利用している」と「時々利用している」を合わせた[利用している]は、花里小が5.2%で最も高く、次いで桜台小(4.7%)、鈴原小(4.4%)、稲野小(4.2%)、神津小(4.0%)などと続き、緑丘小が1.0%で最も低くなっています。

一方、「あまり利用したことがない」と「まったく利用したことがない」を合わせた[利用したことがない]は、南小が95.8%で最も高く、次いで伊丹小(95.2%)、池尻小(94.7%)、緑丘小(94.2%)、桜台小(93.4%)などと続き、稲野小が89.0%で最も低くなっています。

小学校区別 サービスの利用など支援を受ける側としての小地域福祉活動への参加状況

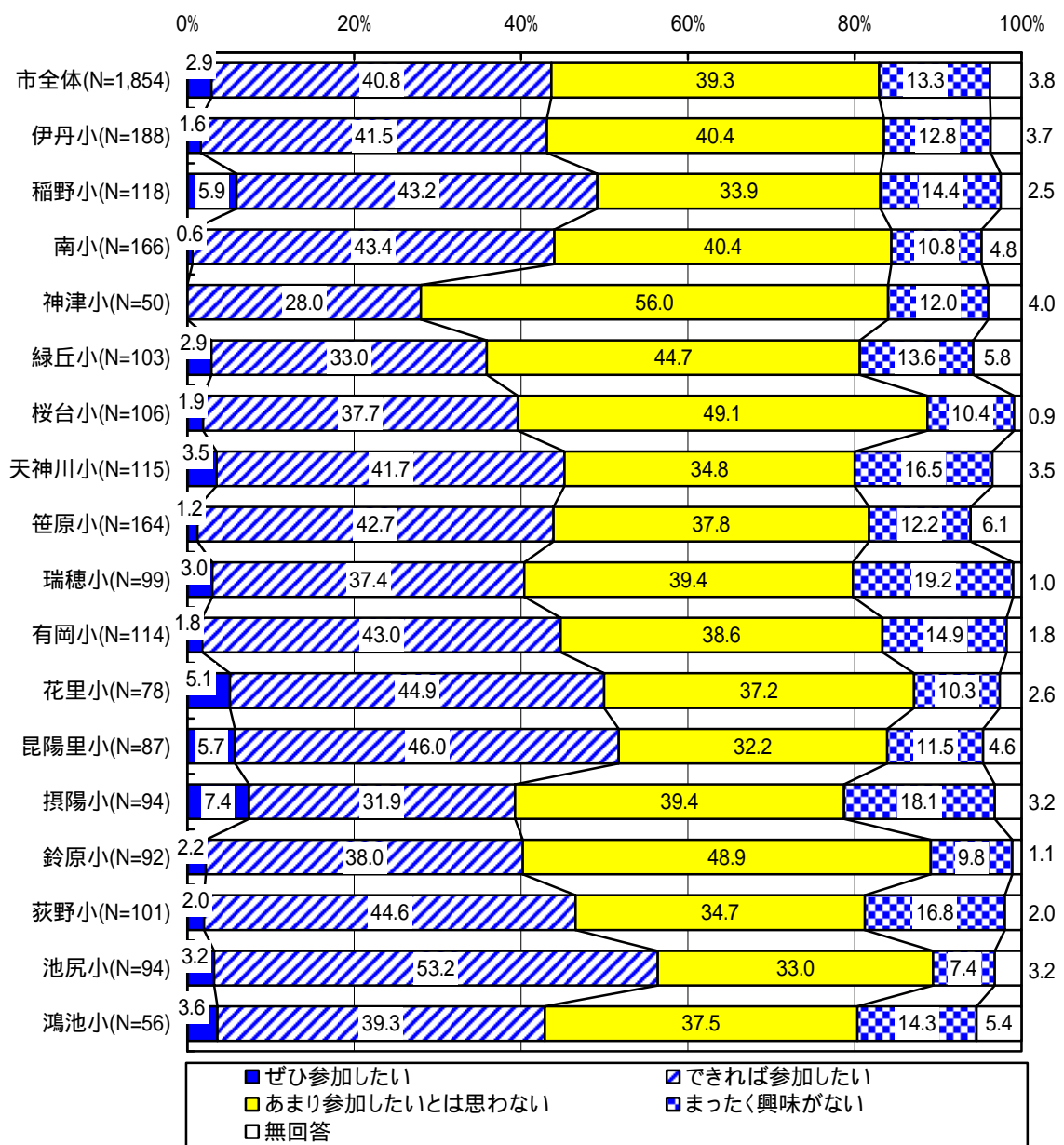


小地域福祉活動への参加意向

「ぜひ参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた[参加したい]は、池尻小が56.4%で最も高く、次いで昆陽里小(51.7%)、花里小(50.0%)、稲野小(49.1%)、荻野小(46.6%)などと続き、神津小が28.0%で最も低くなっています。

一方、「まったく興味がない」と「あまり参加したいとは思わない」を合わせた[参加したくない]は、神津小が68.0%で最も高く、次いで桜台小(59.5%)、鈴原小(58.7%)、瑞穂小(58.6%)、緑丘小(58.3%)などと続き、池尻小が40.4%で最も低くなっています。

小学校区別 小地域福祉活動への参加意向



今後、「手助けしたい」と思うこと

「手助けしたい」と思う人の率は、池尻小が86.1%で最も高く、次いで瑞穂小(85.9%)、花里小(84.6%)、摂陽小(83.0%)、荻野小(82.2%)などと続き、鈴原小が71.7%で最も低くなっています。

その中では、池尻小及び鴻池小は、「手助けしたい」と思う人の率が上位3位までに入っている項目が「その他」を除く7項目中それぞれ6項目、5項目と多くなっています。一方、神津小は7項目中5項目が「手助けしたい」と思う人の率が最低となっています。

小学校区別 今後、「手助けしたい」と思うこと

	回答数	話し相手	病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け	見守り	ひとり暮らしの高齢者などのつきそい手伝い	買い物や近くまでの外出などの相談ことの相手	見守りなど	子どもを預かったり、外遊びの草刈りなどの手伝い	簡単な家の修理や掃除、庭の	その他	他助けしたいと思うことがある率	手助けしたいと思うことはない	無回答
市全体	1,854	43.4	27.2	24.4	18.5	16.9	15.5	13.3	4.5	79.1	14.3	6.6	
伊丹小	188	44.1	29.3	25.0	18.6	15.4	14.9	12.8	5.9	78.2	14.4	7.4	
稲野小	118	44.1	29.7	26.3	16.9	18.6	15.3	11.0	5.9	78.0	16.1	5.9	
南小	166	44.0	27.1	24.7	12.0	17.5	16.9	12.0	4.8	80.8	12.0	7.2	
神津小	50	38.0	16.0	24.0	6.0	6.0	4.0	8.0	2.0	72.0	16.0	12.0	
緑丘小	103	43.7	23.3	22.3	21.4	11.7	16.5	18.4	0.0	74.7	20.4	4.9	
桜台小	106	40.6	25.5	24.5	15.1	17.0	21.7	21.7	3.8	81.2	16.0	2.8	
天神川小	115	46.1	29.6	25.2	17.4	17.4	14.8	9.6	3.5	80.9	13.0	6.1	
笹原小	164	37.8	26.2	22.0	18.9	13.4	12.2	9.1	4.9	73.8	18.3	7.9	
瑞穂小	99	39.4	28.3	22.2	16.2	26.3	14.1	13.1	11.1	85.9	13.1	1.0	
有岡小	114	36.0	28.9	19.3	23.7	15.8	22.8	12.3	3.5	79.9	14.0	6.1	
花里小	78	55.1	35.9	25.6	21.8	16.7	11.5	14.1	2.6	84.6	10.3	5.1	
昆陽里小	87	41.4	25.3	29.9	26.4	14.9	13.8	9.2	4.6	78.2	14.9	6.9	
摂陽小	94	44.7	24.5	23.4	17.0	20.2	14.9	14.9	5.3	83.0	11.7	5.3	
鈴原小	92	41.3	16.3	25.0	21.7	14.1	6.5	8.7	5.4	71.7	17.4	10.9	
荻野小	101	45.5	30.7	25.7	15.8	19.8	18.8	12.9	5.0	82.2	10.9	6.9	
池尻小	94	55.3	35.1	29.8	23.4	25.5	19.1	19.1	3.2	86.1	12.8	1.1	
鴻池小	56	53.6	30.4	26.8	26.8	21.4	23.2	23.2	1.8	78.6	12.5	8.9	

今後、「手助けをしてほしい」と思うこと

「手助けしてほしい」と思う人の率は、池尻小が67.0%で最も高く、次いで花里小（65.4%）、鴻池小（60.7%）、笹原小（59.2%）、南小（59.1%）などと続き、有岡小が46.5%で最も低くなっています。

その中では、池尻小は、「手助けしてほしい」と思う人の率が上位3位までに入っている項目が「その他」を除く7項目中6項目と多くなっています。

小学校区別 今後、「手助けをしてほしい」と思うこと

	回答数	病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け	話し相手	相談ことの手相手	見守り	ひとり暮らしの高齢者などの見守りなど	子どもを預かったり、外遊びの見守りなど	刈りなどの手伝い	簡単な家の修理や掃除、庭の草つきせい手伝い	買い物や近くまでの外出などのつぎせい手伝い	その他	手助けしてほしいと思うことがある率	手助けしてほしいと思うことはない	無回答
市全体	1,854	28.2	16.5	12.2	11.2	10.4	6.1	6.0	2.3	56.5	34.8	8.7		
伊丹小	188	28.2	13.8	10.1	12.2	11.7	3.7	6.4	2.1	55.9	33.5	10.6		
稲野小	118	29.7	18.6	8.5	12.7	10.2	6.8	5.9	1.7	57.7	38.1	4.2		
南小	166	30.7	15.7	14.5	11.4	10.2	4.8	8.4	3.6	59.1	31.3	9.6		
神津小	50	22.0	16.0	10.0	10.0	6.0	10.0	4.0	0.0	52.0	44.0	4.0		
緑丘小	103	25.2	16.5	13.6	9.7	16.5	2.9	4.9	1.9	53.4	41.7	4.9		
桜台小	106	32.1	13.2	13.2	9.4	14.2	4.7	6.6	2.8	56.6	37.7	5.7		
天神川小	115	31.3	20.0	11.3	11.3	12.2	2.6	6.1	1.7	56.6	30.4	13.0		
笹原小	164	36.0	14.6	12.2	10.4	7.9	6.1	4.9	2.4	59.2	33.5	7.3		
瑞穂小	99	26.3	14.1	14.1	6.1	7.1	6.1	7.1	3.0	55.5	39.4	5.1		
有岡小	114	23.7	8.8	7.0	13.2	11.4	4.4	5.3	1.8	46.5	44.7	8.8		
花里小	78	24.4	20.5	10.3	19.2	10.3	10.3	5.1	2.6	65.4	25.6	9.0		
昆陽里小	87	26.4	20.7	10.3	10.3	9.2	5.7	4.6	2.3	58.7	28.7	12.6		
摂陽小	94	22.3	22.3	11.7	9.6	6.4	7.4	8.5	4.3	54.3	37.2	8.5		
鈴原小	92	21.7	13.0	14.1	14.1	7.6	10.9	12.0	1.1	52.2	41.3	6.5		
荻野小	101	26.7	15.8	14.9	7.9	10.9	5.9	3.0	2.0	53.4	33.7	12.9		
池尻小	94	33.0	22.3	21.3	13.8	12.8	10.6	3.2	2.1	67.0	27.7	5.3		
鴻池小	56	33.9	23.2	16.1	10.7	12.5	7.1	3.6	0.0	60.7	28.6	10.7		

外出時の移動手段や主な交通機関

「自転車・車椅子」が第1位の校区は、伊丹小（41.0%）、稲野小（41.5%）、笹原小（55.5%）、昆陽里小（49.4%）、鈴原小（54.3%）、鴻池小（48.2%）で、「自家用車・バイク」が第1位は、緑丘小（51.5%）、桜台小（52.8%）、天神川小（53.0%）、瑞穂小（47.5%）、池尻小（59.6%）、鴻池小（48.2%）。「伊丹市バス」が第1位は、神津小（52.0%）、花里小（50.0%）、摂陽小（56.4%）、荻野小（53.5%）、阪急電車が第1位は南小（53.6%）です。

小学校区別 外出時の移動手段や主な交通機関（トップ5）

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市全体	1,854	自転車・車椅子 45.6%	自家用車・バイク 44.9%	伊丹市バス 33.5%	阪急電車 22.2%	徒歩 20.6%
伊丹小	188	自転車・車椅子 41.0%	自家用車・バイク 40.4%	徒歩 35.6%	阪急電車 34.0%	JR 26.6%
稲野小	118	自転車・車椅子 41.5%	自家用車・バイク 39.8%	伊丹市バス 31.4%	徒歩 28.8%	阪急電車 23.7%
南小	166	阪急電車 53.6%	自転車・車椅子 47.0%	自家用車・バイク 34.9%	徒歩 28.9%	伊丹市バス 9.0%
神津小	50	伊丹市バス 52.0%	自家用車・バイク 42.0%	自転車・車椅子 26.0%	徒歩 18.0%	JR 16.0%
緑丘小	103	自家用車・バイク 51.5%	自転車・車椅子 48.5%	JR 27.2%	徒歩 22.3%	伊丹市バス 20.4%
桜台小	106	自家用車・バイク 52.8%	自転車・車椅子 51.9%	伊丹市バス 49.1%	徒歩 13.2%	阪急・阪神バス 12.3%
天神川小	115	自家用車・バイク 53.0%	自転車・車椅子 42.6%	伊丹市バス 40.9%	JR 20.0%	徒歩 15.7%
笹原小	164	自転車・車椅子 55.5%	自家用車・バイク 41.5%	伊丹市バス 阪急電車	32.9%	徒歩 15.2%
瑞穂小	99	自家用車・バイク 47.5%	自転車・車椅子 伊丹市バス	43.4%	JR 18.2%	徒歩 阪急電車 11.1%
有岡小	114	JR 45.6%	自転車・車椅子 41.2%	自家用車・バイク 38.6%	徒歩 29.8%	阪急電車 18.4%
花里小	78	伊丹市バス 50.0%	自転車・車椅子 自家用車・バイク	43.6%	徒歩 19.2%	阪急電車 16.7%
昆陽里小	87	自転車・車椅子 49.4%	自家用車・バイク 43.7%	伊丹市バス 41.4%	徒歩 21.8%	阪急電車 18.4%
摂陽小	94	伊丹市バス 56.4%	自転車・車椅子 46.8%	自家用車・バイク 44.7%	阪急電車 20.2%	徒歩 16.0%
鈴原小	92	自転車・車椅子 54.3%	自家用車・バイク 47.8%	伊丹市バス 29.3%	阪急電車 28.3%	徒歩 17.4%
荻野小	101	伊丹市バス 53.5%	自家用車・バイク 51.5%	自転車・車椅子 44.6%	阪急電車 11.9%	徒歩 10.9%
池尻小	94	自家用車・バイク 59.6%	伊丹市バス 46.8%	自転車・車椅子 40.4%	阪急電車 14.9%	阪急・阪神バス 12.8%
鴻池小	56	自転車・車椅子 自家用車・バイク	48.2%	伊丹市バス 46.4%	徒歩 12.5%	阪急電車 8.9%

安心して暮らすために必要なこと

おおむねどの校区も上位5位は市全体と同じ項目が挙げられますが、「身近なところでの相談窓口の充実」が第1位の校区は、伊丹小（38.8%） 稲野小（38.1%） 笹原小（42.7%） 瑞穂小（35.4%） 有岡小（36.0%） 昆陽里小（42.5%） 荻野小（37.6%） 鴻池小（42.9%）で、「高齢者やしょうがいのある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実」が第1位は、花里小（44.9%） 鈴原小（37.0%） 「高齢者、しょうがいのある人の入所施設の整備」が第1位は、神津小（40.0%） 緑丘小（36.9%） 桜台小（37.7%） 摂陽小（36.2%） 鈴原小（37.0%） 「住民が共に支え合うしくみづくりへの支援」が第1位は、南小（35.5%） 天神川小（40.0%） 池尻小（41.5%）です。

小学校区別 安心して暮らすために必要なこと（トップ5）

	回答数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
市全体	1,854	身近な相談窓口の充実 36.0%	高齢者等の在宅サービスの充実 32.7%	高齢者等の入所施設の整備 32.6%	住民が共に支え合うしくみづくり32.0%	保健・医療サービスの充実 25.8%
伊丹小	188	身近な相談窓口の充実 38.8%	高齢者等の入所施設の整備 34.0%	住民が共に支え合うしくみづくり33.0%	高齢者等の在宅サービスの充実 31.4%	保健・医療サービスの充実 27.7%
稲野小	118	身近な相談窓口の充実 38.1%	高齢者等の入所施設の整備 36.4%	住民が共に支え合うしくみづくり33.1%	高齢者等の在宅サービスの充実 31.4%	保健・医療サービスの充実 26.3%
南小	166	住民が共に支え合うしくみづくり35.5%	身近な相談窓口の充実 33.7%	高齢者等の在宅サービスの充実 32.5%	高齢者等の入所施設の整備 30.7%	保健・医療サービスの充実 22.9%
神津小	50	高齢者等の入所施設の整備 40.0%	高齢者等の在宅サービスの充実 32.0%	身近な相談窓口の充実 24.0%	住民が共に支え合うしくみづくり	保健・医療サービスの充実 22.0%
緑丘小	103	高齢者等の入所施設の整備 36.9%	身近な相談窓口の充実 35.9%	高齢者等の在宅サービスの充実	保健・医療サービスの充実 27.2%	住民が共に支え合うしくみづくり24.3%
桜台小	106	高齢者等の入所施設の整備 37.7%	身近な相談窓口の充実 35.8%	住民が共に支え合うしくみづくり34.9%	高齢者等の在宅サービスの充実 31.1%	保健・医療サービスの充実 30.2%
天神川小	115	住民が共に支え合うしくみづくり40.0%	高齢者等の在宅サービスの充実 34.8%	高齢者等の入所施設の整備 32.2%	身近な相談窓口の充実 29.6%	保健・医療サービスの充実 25.2%
笹原小	164	身近な相談窓口の充実 42.7%	高齢者等の在宅サービスの充実 42.1%	高齢者等の入所施設の整備 33.5%	保健・医療サービスの充実 29.9%	住民が共に支え合うしくみづくり23.8%
瑞穂小	99	身近な相談窓口の充実 35.4%	保健・医療サービスの充実 34.3%	住民が共に支え合うしくみづくり31.3%	高齢者等の在宅サービスの充実	高齢者等の入所施設の整備 27.3%
有岡小	114	身近な相談窓口の充実 36.0%	高齢者等の入所施設の整備 34.2%	住民が共に支え合うしくみづくり29.8%	高齢者等の在宅サービスの充実 25.4%	保健・医療サービスの充実 23.7%
花里小	78	高齢者等の在宅サービスの充実 44.9%	住民が共に支え合うしくみづくり29.7%	身近な相談窓口の充実 35.9%	高齢者等の入所施設の整備 32.1%	保健・医療サービスの充実 23.1%
昆陽里小	87	身近な相談窓口の充実 42.5%	高齢者等の在宅サービスの充実 34.5%	高齢者等の入所施設の整備 31.0%	住民が共に支え合うしくみづくり29.9%	保健・医療サービスの充実 17.2%
摂陽小	94	高齢者等の入所施設の整備 36.2%	住民が共に支え合うしくみづくり35.1%	高齢者等の在宅サービスの充実 33.0%	身近な相談窓口の充実 31.9%	保健・医療サービスの充実 24.5%
鈴原小	92	高齢者等の在宅サービスの充実	高齢者等の入所施設の整備 37.0%	身近な相談窓口の充実 34.8%	保健・医療サービスの充実 28.3%	住民が共に支え合うしくみづくり27.2%
荻野小	101	身近な相談窓口の充実 37.6%	保健・医療サービスの充実 28.7%	高齢者等の在宅サービスの充実 27.7%	住民が共に支え合うしくみづくり25.7%	高齢者等の入所施設の整備 23.8%
池尻小	94	住民が共に支え合うしくみづくり41.5%	高齢者等の在宅サービスの充実 38.3%	身近な相談窓口の充実 31.9%	高齢者等の入所施設の整備 25.5%	保健福祉情報提供等の充実 22.3%
鴻池小	56	身近な相談窓口の充実 42.9%	住民が共に支え合うしくみづくり41.1%	高齢者等の入所施設の整備 35.7%	高齢者等の在宅サービスの充実 26.8%	保健・医療サービスの充実 25.0%

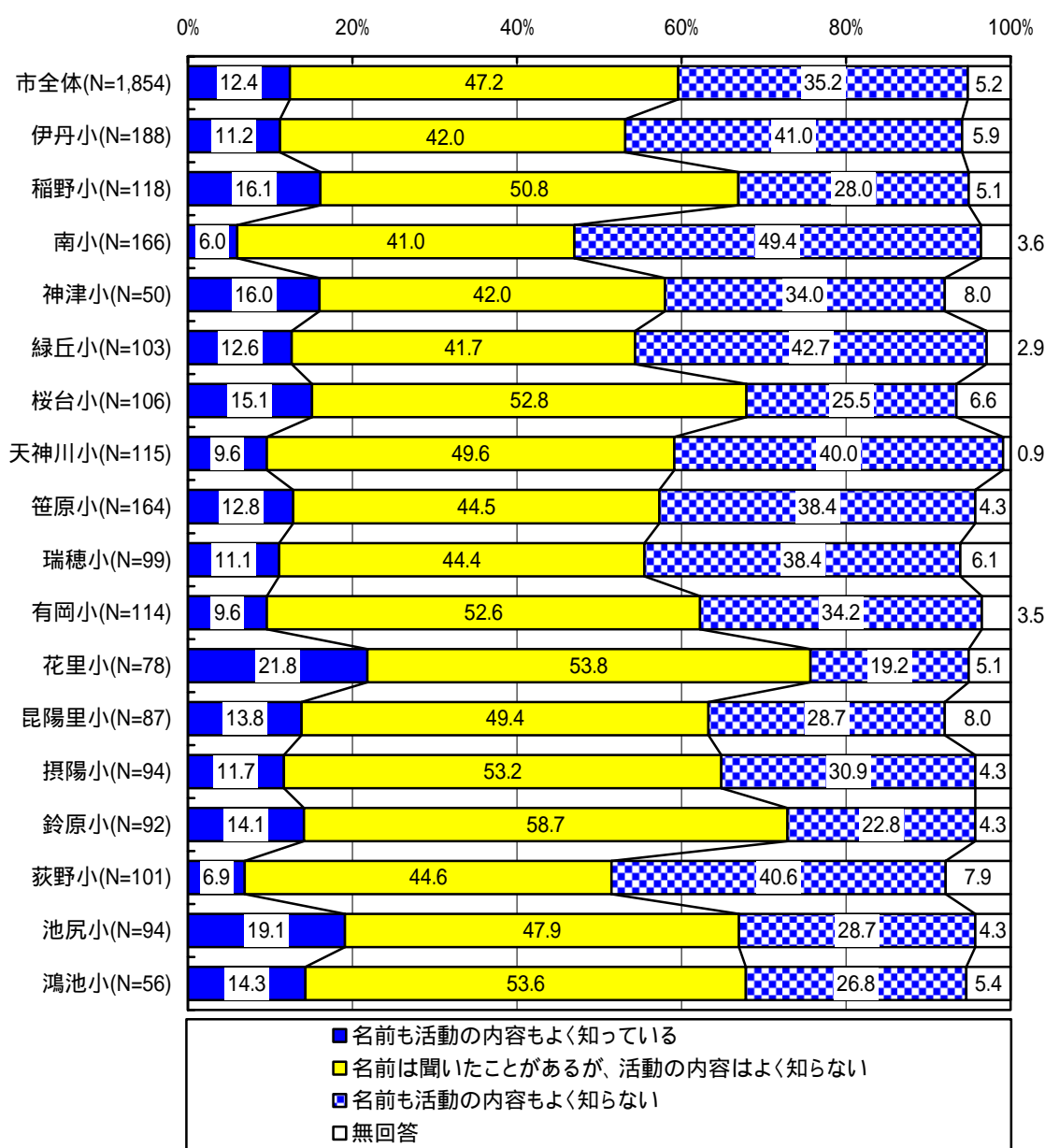
(4) 地域福祉にかかわる機関や団体などについて

伊丹市社会福祉協議会の認知状況

伊丹市社会福祉協議会について「名前も活動の内容もよく知っている」が最も高い校区は花里小で21.8%、次いで池尻小(19.1%)、稲野小(16.1%)、神津小(16.0%)、桜台小(15.1%)などと続き、南小が6.0%で最も低くなっています。

一方、「名前も活動の内容もよく知らない」が最も高い校区は南小で49.4%とおよそ半数で、次いで緑丘小(42.7%)、伊丹小(41.0%)、荻野小(40.6%)、天神川小(40.0%)などと続き、花里小が19.2%で最も低くなっています。

小学校区別 伊丹市社会福祉協議会の認知状況



伊丹市社会福祉協議会の事業の認知状況

伊丹市社会福祉協議会の事業について、「いずれも知らない」及び無回答を除いた〔知っている〕は、花里小が74.4%で最も高く、次いで鈴原小(57.6%)、桜台小(57.5%)、笹原小(54.9%)、神津小(54.0%)などと続き、伊丹小が40.5%で最も低くなっています。

認知率が最も高い花里小は、各事業の認知率上位3位までが10事業のうち7事業と多く、5事業は第1位となっています。一方、荻野小は認知率が最も低い事業が4事業となっています。

小学校区別 伊丹市社会福祉協議会の事業の認知状況

	回答数	共同募金 日本赤十字社の事務局運営	ひとり暮らし高齢者への安否確認の電話訪問や給食サービス	地区社会福祉協議会などの地域住民による福祉活動の組織づくり	市民のボランティア活動の振興	民生委員児童委員連合会の事務局運営	地域福祉総合センター 障害者福祉センター 地域包括支援センターの運営	福祉サロンやおもちゃライブラリーなど、地域参加にしている高齢者や子育て世帯への支援	しよつがいのある人の地域生活や就労に関する支援	要援護者の見守りや支援活動	視力障害のある人の移動支援事業 聴力障害のある人の手話通訳事業	社協の事業を知っている率	いずれも知らない	無回答
市全体	1,854	23.7	22.9	21.0	18.4	16.6	14.4	12.8	9.3	8.9	7.2	49.5	42.4	8.1
伊丹小	188	19.1	16.5	17.6	18.1	14.4	13.8	12.8	5.9	10.1	8.0	40.5	52.1	7.4
稲野小	118	30.5	28.8	24.6	22.0	21.2	18.6	12.7	11.9	11.9	10.2	56.8	33.9	9.3
南小	166	21.1	19.3	14.5	12.7	15.1	8.4	9.6	6.6	3.0	3.6	44.0	49.4	6.6
神津小	50	26.0	26.0	28.0	20.0	16.0	18.0	24.0	8.0	12.0	8.0	54.0	38.0	8.0
緑丘小	103	23.3	28.2	21.4	15.5	20.4	10.7	15.5	7.8	10.7	7.8	43.6	51.5	4.9
桜台小	106	26.4	21.7	24.5	21.7	15.1	18.9	8.5	12.3	8.5	4.7	57.5	34.0	8.5
天神川小	115	21.7	25.2	18.3	13.9	16.5	12.2	13.0	11.3	7.8	7.0	47.0	44.3	8.7
笹原小	164	23.8	25.0	21.3	20.7	18.3	15.2	15.2	11.6	7.3	6.1	54.9	37.8	7.3
瑞穂小	99	22.2	21.2	21.2	19.2	13.1	16.2	11.1	11.1	10.1	9.1	43.4	47.5	9.1
有岡小	114	24.6	19.3	21.1	16.7	16.7	17.5	12.3	12.3	8.8	6.1	48.2	46.5	5.3
花里小	78	37.2	35.9	34.6	26.9	19.2	16.7	20.5	11.5	14.1	15.4	74.4	21.8	3.8
昆陽里小	87	32.2	20.7	19.5	19.5	19.5	13.8	11.5	8.0	9.2	3.4	51.7	34.5	13.8
摂陽小	94	19.1	23.4	21.3	22.3	14.9	10.6	12.8	8.5	9.6	6.4	51.1	38.3	10.6
鈴原小	92	21.7	28.3	23.9	27.2	17.4	12.0	12.0	7.6	7.6	8.7	57.6	37.0	5.4
荻野小	101	21.8	15.8	13.9	9.9	14.9	10.9	14.9	3.0	5.0	4.0	42.6	46.5	10.9
池尻小	94	26.6	23.4	27.7	19.1	19.1	22.3	10.6	14.9	13.8	12.8	50.0	45.7	4.3
鴻池小	56	14.3	23.2	19.6	14.3	12.5	12.5	8.9	8.9	7.1	5.4	41.1	50.0	8.9

伊丹市社会福祉協議会に期待すること

伊丹市社会福祉協議会への期待は、「特に期待することはない」及び無回答を除くと、神津小が88.0%で最も高く、次いで桜台小(85.9%)、天神川小(85.2%)、荻野小(84.8%)、笹原小(84.1%)などと続き、昆陽里小が74.8%で最も低くなっています。その他を除く11事業の中で、神津小は3つ期待率第1位の事業があり、「高齢者やしょうがいのある人などの福祉に関する総合相談サービスの充実」が46.0%、「近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実」及び「児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動などの充実」が共に20.0%です。

小学校区別 伊丹市社会福祉協議会に期待すること

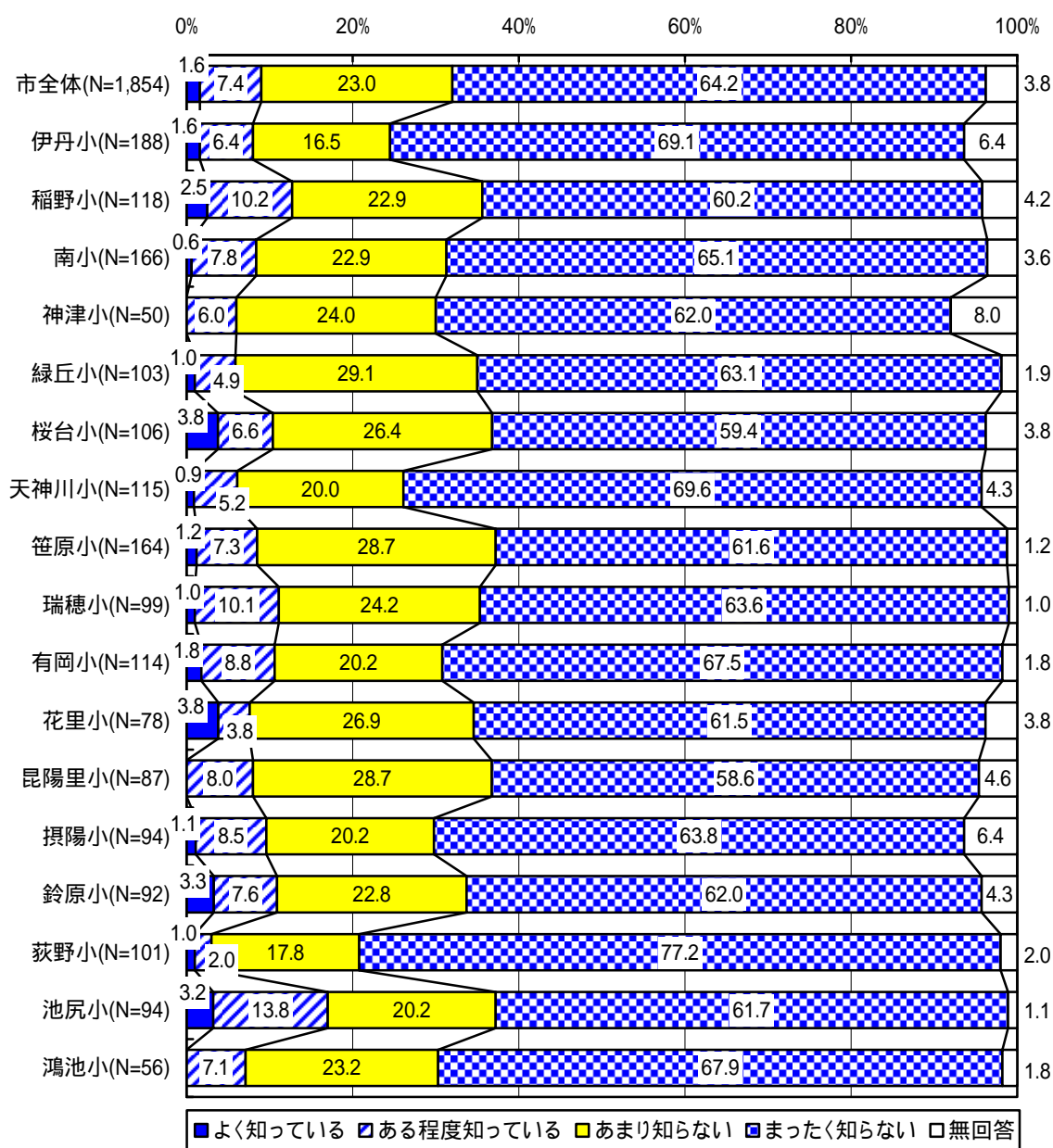
	回答数	高齢者やしょうがいのある人などの福祉に関する総合相談サービスの充実	介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実	児童福祉サービス、子育て支援の充実	日常生活自立支援事業	近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実	福祉に関する情報提供の充実(インターネットなどを含む)	児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動などの充実	福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施	福祉に関する学習や講習、講演会などの開催	福祉団体への支援や育成	NPO活動など、市民活動への支援	その他	期待する人の率	特に期待することはない	無回答
市全体	1,854	36.2	23.1	18.7	14.0	13.2	12.8	12.5	9.2	6.0	3.3	2.7	1.7	81.1	9.9	9.0
伊丹小	188	35.1	22.3	19.1	14.4	13.8	12.8	11.7	9.6	3.2	1.6	3.7	1.6	79.2	11.2	9.6
稲野小	118	29.7	28.0	16.1	15.3	12.7	19.5	11.0	8.5	6.8	3.4	3.4	2.5	81.3	10.2	8.5
南小	166	38.6	21.7	19.9	15.1	13.9	12.0	12.7	10.8	6.6	3.6	4.2	1.8	83.2	10.2	6.6
神津小	50	46.0	22.0	16.0	12.0	20.0	16.0	20.0	8.0	6.0	2.0	0.0	0.0	88.0	4.0	8.0
緑丘小	103	35.0	22.3	27.2	11.7	13.6	13.6	12.6	9.7	3.9	2.9	1.9	1.9	82.5	11.7	5.8
桜台小	106	34.0	21.7	22.6	18.9	14.2	17.0	11.3	9.4	7.5	7.5	1.9	0.9	85.9	6.6	7.5
天神川小	115	38.3	27.0	14.8	13.0	12.2	13.0	12.2	7.8	4.3	6.1	0.9	1.7	85.2	6.1	8.7
笹原小	164	45.1	21.3	19.5	15.2	12.2	11.0	14.0	9.8	6.1	1.2	3.0	1.2	84.1	10.4	5.5
瑞穂小	99	36.4	16.2	18.2	15.2	10.1	16.2	6.1	8.1	3.0	3.0	6.1	1.0	75.8	11.1	13.1
有岡小	114	32.5	19.3	17.5	14.9	13.2	7.9	13.2	9.6	12.3	5.3	2.6	0.0	79.0	10.5	10.5
花里小	78	33.3	32.1	14.1	10.3	14.1	12.8	12.8	11.5	9.0	2.6	2.6	3.8	82.1	12.8	5.1
昆陽里小	87	37.9	21.8	12.6	6.9	16.1	10.3	11.5	9.2	10.3	0.0	2.3	0.0	74.8	10.3	14.9
摂陽小	94	35.1	22.3	12.8	9.6	12.8	16.0	11.7	9.6	9.6	2.1	0.0	4.3	78.7	11.7	9.6
鈴原小	92	43.5	27.2	20.7	8.7	12.0	10.9	13.0	13.0	4.3	2.2	3.3	4.3	84.8	7.6	7.6
荻野小	101	29.7	21.8	28.7	13.9	14.9	9.9	13.9	5.0	6.9	2.0	1.0	2.0	80.2	8.9	10.9
池尻小	94	33.0	22.3	17.0	20.2	9.6	11.7	13.8	9.6	3.2	8.5	3.2	0.0	77.7	13.8	8.5
鴻池小	56	32.1	30.4	16.1	19.6	12.5	12.5	16.1	3.6	0.0	3.6	3.6	0.0	82.2	8.9	8.9

コミュニティワーカー（CW）の認知状況

市社協のコミュニティワーカーについて「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせて[知っている]は、池尻小が17.0%で最も高く、次いで稲野小（12.7%）瑞穂小（11.1%）鈴原小（10.9%）有岡小（10.6%）で、緑丘小が5.9%で最も低くなっています。

一方、「あまり知らない」と「まったく知らない」を合わせて[知らない]は、荻野小が95.0%で最も高く、次いで緑丘小（92.2%）鴻池小（91.1%）笹原小（90.3%）天神川小（89.6%）などと続き、池尻小が81.9%で最も低くなっています。

小学校区別 コミュニティワーカーの認知状況

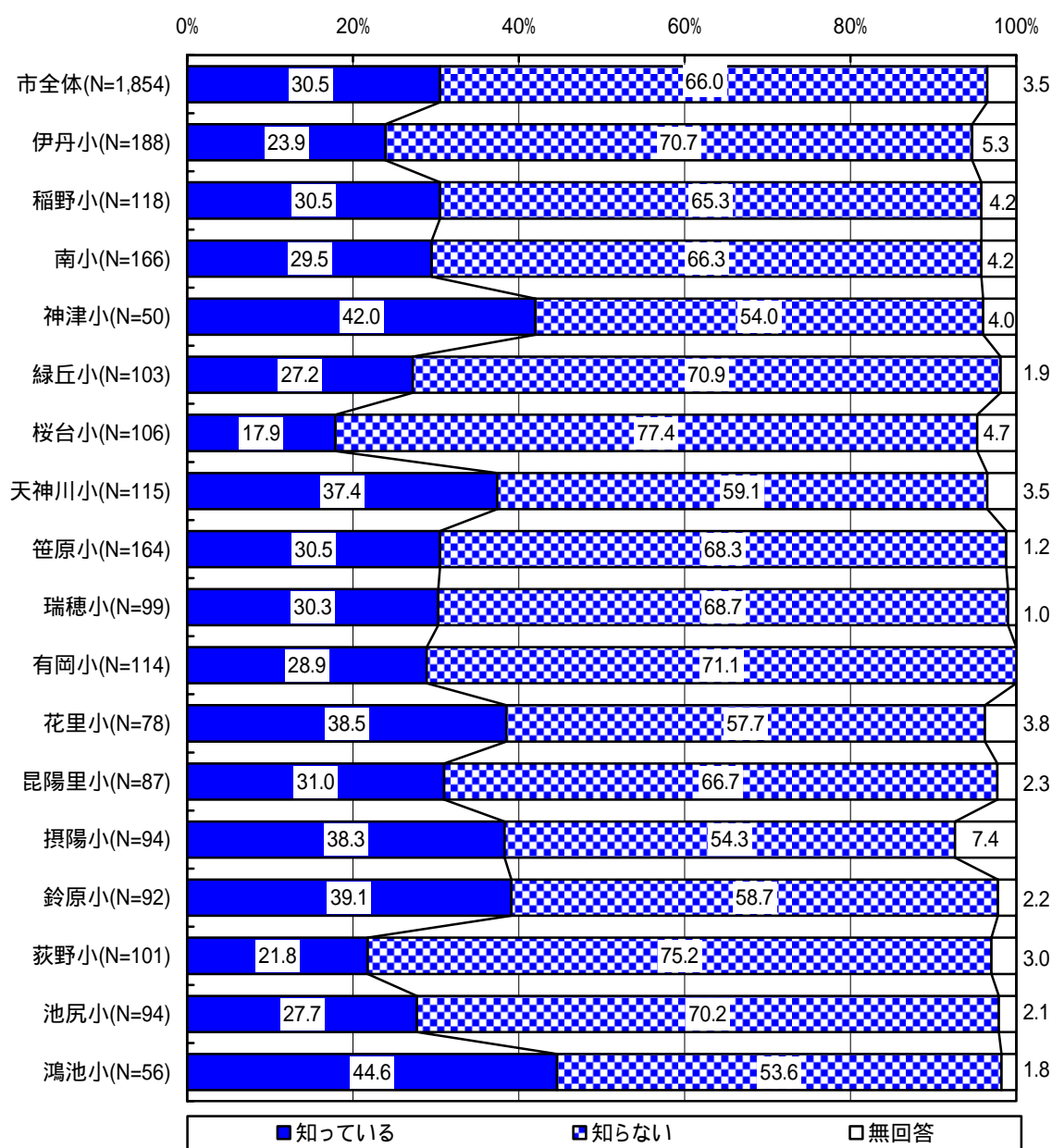


地区担当民生委員・児童委員の認知状況

地区担当の民生委員・児童委員を「知っている」は、鴻池小が44.6%で最も高く、次いで神津小(42.0%)、鈴原小(39.1%)、花里小(38.5%)、摂陽小(38.3%)などと続き、桜台小が17.9%で最も低くなっています。

一方、「知らない」は、桜台小が77.4%で最も高く、次いで荻野小(75.2%)、有岡小(71.1%)、緑丘小(70.9%)、伊丹小(70.7%)などと続き、鴻池小が53.6%で最も低くなっています。

地区担当の民生委員・児童委員の認知状況



民生委員・児童委員の活動内容の認知状況

民生委員・児童委員の活動について、「いずれも知らない」及び無回答を除いた[知っている]は、神津小が72.0%で最も高く、次いで笹原小(67.7%)、鈴原小(67.4%)、昆陽里小(66.7%)、稲野小(66.1%)などと続き、緑丘小及び瑞穂小のそれぞれ51.5%が最も低くなっています。

[知っている]中では、「高齢者など支援が必要な人への訪問」が第1位は鈴原小で55.4%で、最も低い緑丘小の27.2%とは28.2ポイントも差があります。「日常生活の悩みや心配ごとの相談」は鴻池小で37.5%、「子どもに関する相談」は池尻小で28.7%、「関係行政機関の依頼による事実確認」は鴻池小で26.8%、「福祉に関する情報の提供」は昆陽里小及び鈴原小の20.7%です。

小学校区別 民生委員・児童委員の活動内容の認知状況

	回答数	高齢者など支援が必要な人への訪問	日常生活の悩みや心配ごとの相談	子どもに関する相談	関係行政機関の依頼による事実確認	福祉に関する情報の提供	知っている人の率	いずれも知らない	無回答
市全体	1,854	39.5	28.5	21.9	19.4	16.1	60.1	34.5	5.4
伊丹小	188	38.8	28.7	22.3	19.1	14.9	56.9	33.0	10.1
稲野小	118	44.1	32.2	20.3	19.5	16.9	66.1	28.8	5.1
南小	166	37.3	24.1	19.9	16.3	14.5	57.2	39.2	3.6
神津小	50	48.0	32.0	16.0	16.0	20.0	72.0	24.0	4.0
緑丘小	103	27.2	21.4	24.3	21.4	15.5	51.5	41.7	6.8
桜台小	106	34.9	24.5	17.0	14.2	11.3	55.7	37.7	6.6
天神川小	115	40.0	25.2	25.2	22.6	17.4	60.0	33.9	6.1
笹原小	164	40.9	35.4	23.2	20.1	18.3	67.7	31.7	0.6
瑞穂小	99	40.4	21.2	20.2	14.1	12.1	51.5	46.5	2.0
有岡小	114	40.4	26.3	22.8	19.3	17.5	58.7	40.4	0.9
花里小	78	51.3	33.3	21.8	20.5	12.8	64.1	28.2	7.7
昆陽里小	87	37.9	33.3	26.4	20.7	20.7	66.7	27.6	5.7
摂陽小	94	37.2	26.6	25.5	24.5	20.2	58.5	33.0	8.5
鈴原小	92	55.4	34.8	19.6	23.9	20.7	67.4	28.3	4.3
荻野小	101	34.7	25.7	20.8	11.9	14.9	58.4	36.6	5.0
池尻小	94	37.2	35.1	28.7	25.5	16.0	60.6	35.1	4.3
鴻池小	56	42.9	37.5	19.6	26.8	14.3	64.3	32.1	3.6

福祉団体とのかかわりの現況

福祉の団体活動をしている人は、池尻小が19.1%で最も高く、次いで花里小(18.0%)、稲野小(17.8%)、瑞穂小(17.1%)、鴻池小(16.1%)などと続き、笹原小が8.5%で最も低くなっています。

各項目の第1位の小学校区は、「福祉の仕事をしている」は桜台小で6.6%、「自治会、老人クラブ、地区社協などの地域団体に所属している」は稲野小で16.9%、「ボランティアやNPO活動をしている」は摂陽小で7.4%です。

小学校区別 福祉団体とのかかわりの現況

	回答数	福祉の仕事をしている	自治会、老人クラブ、地区社協などの地域団体に所属している	ボランティアやNPO活動をしている	かかわりがある人の率	活動はしていない	無回答
市全体	1,854	3.0	10.1	3.3	13.6	80.2	6.2
伊丹小	188	3.7	9.6	3.2	13.8	76.6	9.6
稲野小	118	3.4	16.9	4.2	17.8	73.7	8.5
南小	166	0.0	10.2	0.6	10.9	82.5	6.6
神津小	50	0.0	16.0	0.0	16.0	74.0	10.0
緑丘小	103	4.9	6.8	1.9	10.6	84.5	4.9
桜台小	106	6.6	6.6	2.8	14.2	79.2	6.6
天神川小	115	1.7	8.7	3.5	11.3	82.6	6.1
笹原小	164	1.2	7.9	3.0	8.5	87.8	3.7
瑞穂小	99	4.0	12.1	6.1	10.1	77.8	5.1
有岡小	114	3.5	8.8	3.5	14.0	85.1	0.9
花里小	78	3.8	15.4	2.6	18.0	75.6	6.4
昆陽里小	87	1.1	8.0	2.3	9.2	85.1	5.7
摂陽小	94	2.1	6.4	7.4	12.7	77.7	9.6
鈴原小	92	2.2	10.9	5.4	14.2	80.4	5.4
荻野小	101	4.0	7.9	4.0	13.8	81.2	5.0
池尻小	94	4.3	14.9	3.2	19.1	77.7	3.2
鴻池小	56	1.8	12.5	5.4	16.1	82.1	1.8

福祉サービスや福祉団体の支援とのかかわりの現況

福祉サービスや福祉団体の支援を受けている人は、緑丘小が15.5%で最も高く、次いで花里小(15.4%)、神津小(14.0%)、笹原小(13.4%)、鈴原小(13.1%)などと続き、鴻池小の5.4%が最も低くなっています。

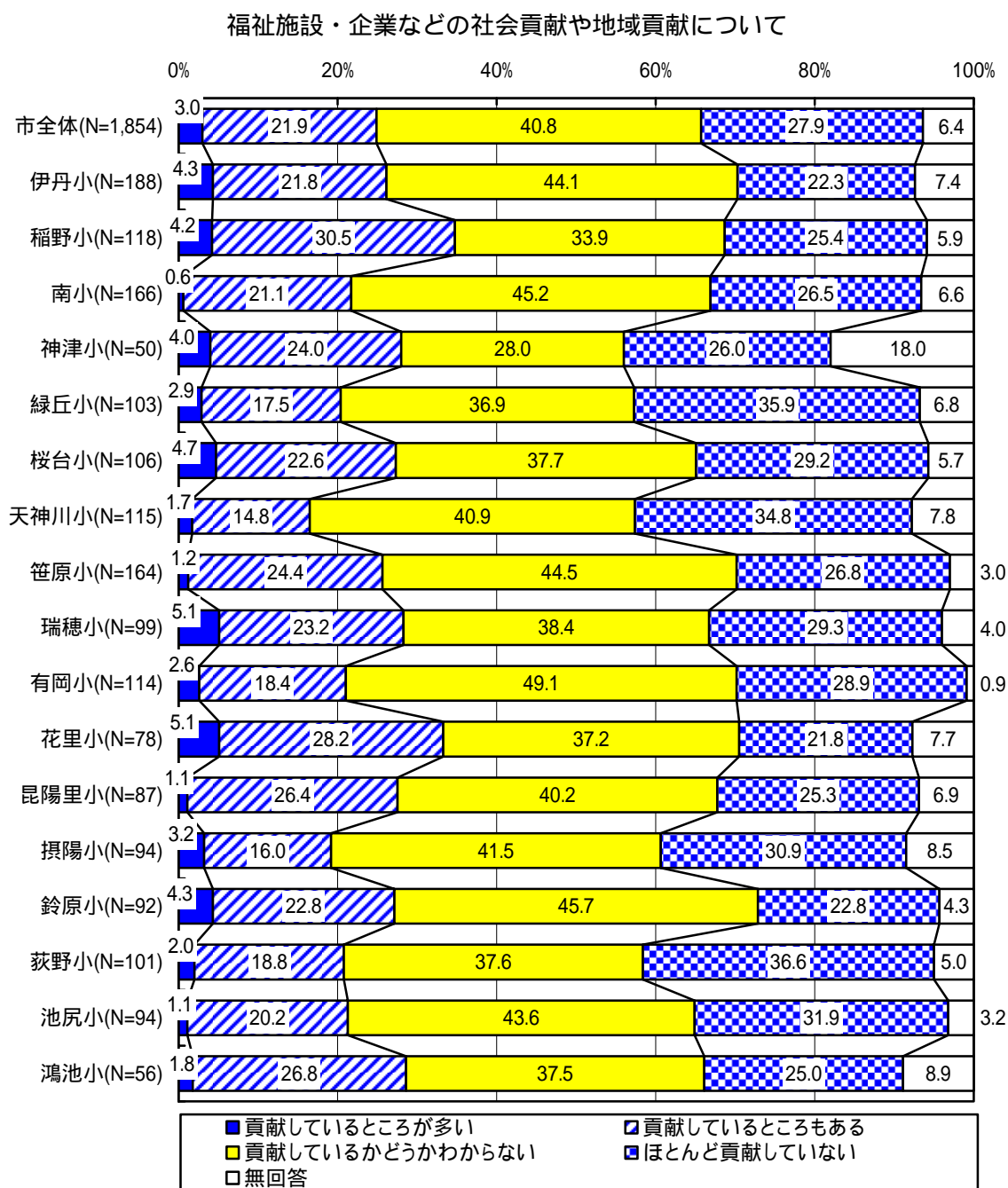
福祉サービスや福祉団体の支援を受けている人の中では、「本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している」は緑丘小が14.6%で最も高く、「本人または家族が小地域福祉活動やボランティアによる支援を受けている」は花里小が2.6%で最も高く、「本人または家族が社会福祉協議会事業による1・2以外のサービスを受けている」も花里小が5.1%で最も高くなっています。

小学校区別 福祉サービスや福祉団体の支援とのかかわりの現況

	回答数	本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している	本人または家族が小地域福祉活動やボランティアによる支援を受けている	本人または家族が社会福祉協議会事業による1・2以外のサービスを受けている	サービスの率	サービスや支援を受けていない	無回答
市全体	1,854	9.0	0.6	1.0	10.1	82.8	7.1
伊丹小	188	9.0	0.0	1.1	9.6	83.0	7.4
稲野小	118	5.9	0.0	0.0	5.9	82.2	11.9
南小	166	6.0	0.6	0.0	6.7	84.9	8.4
神津小	50	14.0	0.0	0.0	14.0	72.0	14.0
緑丘小	103	14.6	0.0	1.0	15.5	76.7	7.8
桜台小	106	5.7	0.0	1.9	6.6	84.9	8.5
天神川小	115	7.0	0.0	0.9	7.9	84.3	7.8
笹原小	164	11.6	1.2	1.2	13.4	82.9	3.7
瑞穂小	99	7.1	0.0	0.0	7.0	87.9	5.1
有岡小	114	11.4	0.9	0.0	11.4	86.8	1.8
花里小	78	10.3	2.6	5.1	15.4	80.8	3.8
昆陽里小	87	9.2	1.1	1.1	9.2	83.9	6.9
摂陽小	94	11.7	0.0	0.0	11.7	77.7	10.6
鈴原小	92	12.0	1.1	0.0	13.1	81.5	5.4
荻野小	101	8.9	2.0	1.0	11.8	84.2	4.0
池尻小	94	6.4	0.0	0.0	6.3	89.4	4.3
鴻池小	56	1.8	0.0	3.6	5.4	85.7	8.9

福祉施設・企業などの社会貢献や地域貢献について

福祉施設・企業などによる社会貢献や地域貢献について、「貢献しているところが多い」と「貢献しているところもある」を合わせて[貢献している]は、稲野小が34.7%で最も高く、次いで花里小(33.3%)、鴻池小(28.6%)、瑞穂小(28.3%)、神津小(28.0%)などと続き、天神川小の16.5%が最も低くなっています。

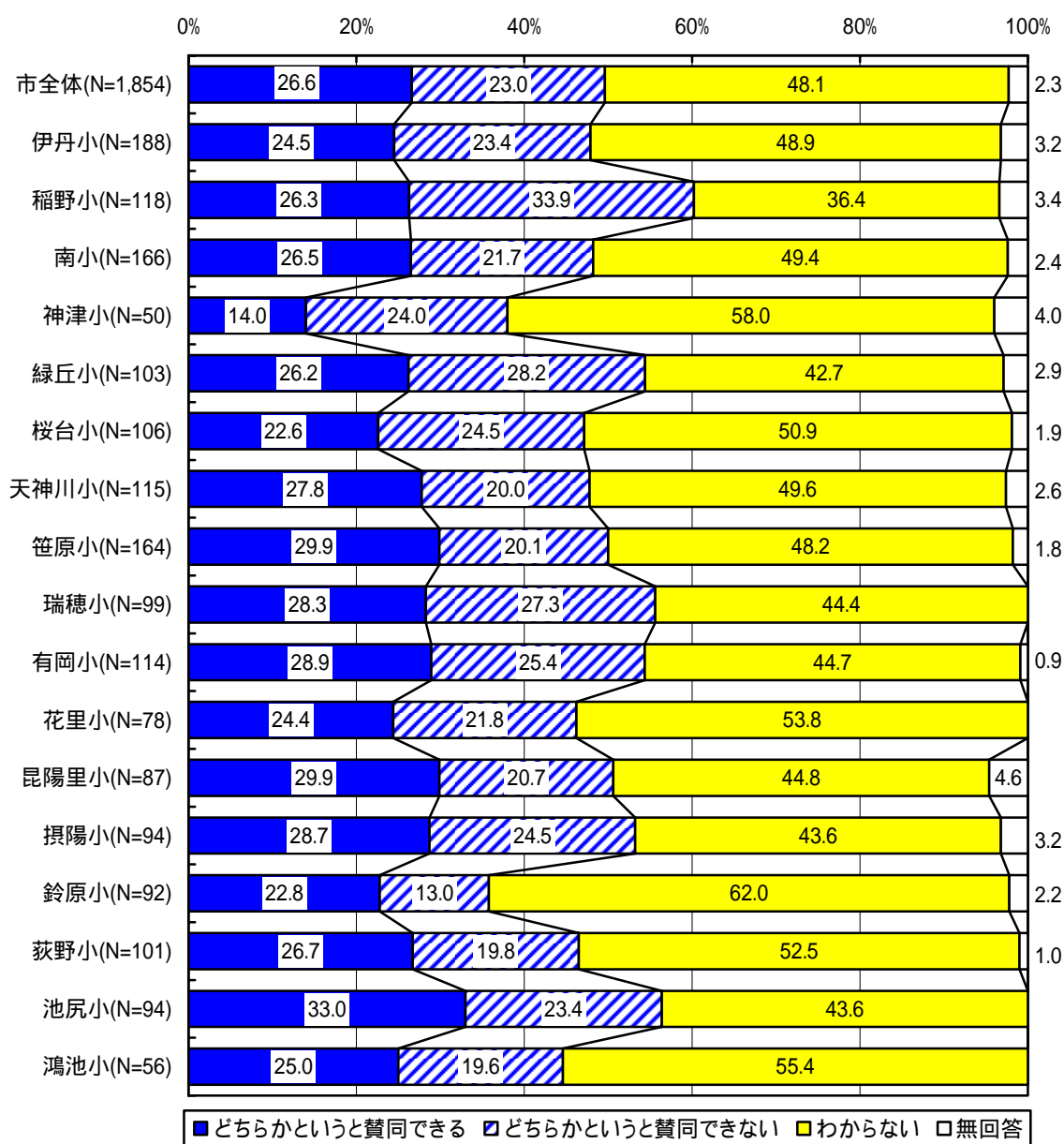


第4のポケットとして活用することについて

住民同士でお金を出し合い、「第4のポケット」として活用することについて、「どちらかというと同賛できる」は、池尻小が33.0%で最も高く、次いで笹原小及び昆陽里小（共に29.9%）、有岡小（28.9%）、摂陽小（28.7%）などと続き、神津小が14.0%で最も低くなっています。

「どちらかというと同賛できる」は、稲野小が33.9%で最も高く、次いで緑丘小（28.2%）瑞穂小（27.3%）、有岡小（25.4%）、桜台小及び摂陽小（共に24.5%）と続き、鈴原小が13.0%で最も低くなっています。

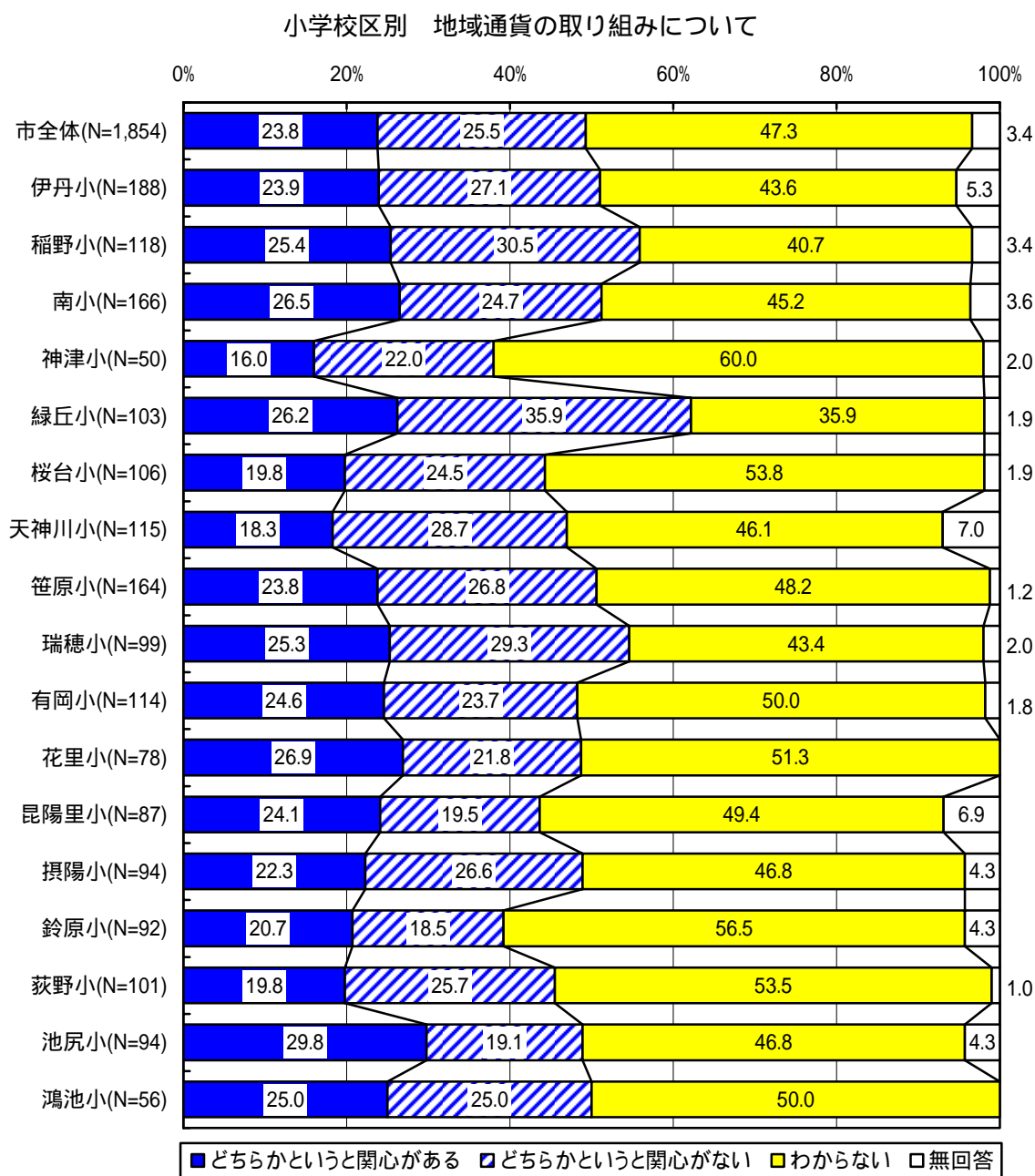
小学校区別 第4のポケットとして活用することについて



地域通貨の取り組みについて

地域通貨のような取り組みについて、「どちらかというに関心がある」は池尻小が29.8%で最も高く、次いで花里小(26.9%)、南小(26.5%)、緑丘小(26.2%)、稲野小(25.4%)などと続き、神津小の16.0%が最も低くなっています。

「どちらかというに関心がない」は緑丘小が35.9%で最も高く、次いで稲野小(30.5%)、瑞穂小(29.3%)、天神川小(28.7%)、伊丹小(27.1%)などと続き、鈴原小が18.5%で最も低くなっています。



小学校区別分野別評価一覧

小学校区	属性・地域環境				
	問2 年齢構成	問3 家族構成	問7 居住年数	問8 「地域」の範囲	問10 地域の環境評価
市全体	青年層:27.2% 壮年層:31.9% 熟年層:40.4%	本人ひとり:10.2% 夫婦だけ:25.8% 合計:36.0%	10年未満:32.9% 10～30年:36.5% 30年以上:29.6%	となり・近所:8.9% 自治会:37.8% 小学校区:24.5% 中学校区:4.6% 市全体:21.0%	
評価点	各年齢層の構成比	合計が40%以上	年数区分の構成比	自治会40%以上 小学校区30%以上	10項目の市全体評価より+0.2良い 評価項目数 / -0.2悪い項目数
伊丹小	熟年型		10年未満		2 / 2
稲野小	熟年型		10～30年		4 / 1
南小	均衡型		10年未満		2 / 0
神津小	熟年型		30年以上	となり・近所18.0%	1 / 4
緑丘小	均衡型		10年未満		0 / 3
桜台小	壮年型		10～30年		3 / 2
天神川小	熟年型		10～30年		5 / 0
笹原小	熟年型		均衡型		4 / 0
瑞穂小	熟年型		10年未満		3 / 1
有岡小	均衡型		10～30年		2 / 3
花里小	熟年型		10～30年		1 / 1
昆陽里小	熟年型		均衡型		2 / 2
摂陽小	熟年型		10～30年		0 / 3
鈴原小	熟年型		30年以上		7 / 1
荻野小	壮年・熟年型		10～30年		0 / 4
池尻小	熟年型		10～30年		0 / 8
鴻池小	壮年・熟年型		10～30年		1 / 3

小学校区	地域のまとめ		
	問9 近所の人との関係	問11 地域行事・活動等への参加経験	問12 地域行事・活動等への関心の変化
市全体	よく行き来している:12.5% ほとんどしていない:10.2%	参加したことがある:66.5% 参加したことがない:31.6%	より関心を持つようになった:22.3% より関心がなくなった:15.0%
評価点	よく行き来している:15%以上 ほとんどしていない:13%以上	参加したことがある:70%以上 参加したことがない:35%以上	より関心を持つようになった: 25%以上 より関心がなくなった:18%以上
伊丹小			
稲野小			
南小			
神津小			
緑丘小			
桜台小			
天神川小			
笹原小			
瑞穂小			
有岡小			
花里小			
昆陽里小			
摂陽小			
鈴原小			
荻野小			
池尻小			
鴻池小			

小学校区	地域福祉への意識				
	問21 福祉への 関心	問21-1 関心の変化	問23 住民相互の支 え合い、助け合 いの必要性	問23-1 必要性の 変化	問26 小地域福 祉活動への 参加意向
市全体	関心がある： 73.9% 関心がない： 23.9%	より関心をもつよう になった：44.8% より関心がなくなった： 2.6%	必要だと思う：92.2% 必要だと思わない： 5.4%	より必要だと思うよう になった：44.9% より必要だと思わな くなった：1.3%	参加したい： 43.7% 参加したくない： 52.6%
評価点	関心がある： 75%以上 関心がない： 25%以上	より関心をもつよう になった：47%以上 より関心が なくなった：5%以上	必要だと思う：94% 以上 必要だと思わない： 7%以上	より必要だと思うよう になった：48%以上 より必要だと思わな くなった：3%以上	参加したい： 45%以上 参加したくな い：55%以上
伊丹小					
稲野小					
南小					
神津小					
緑丘小					
桜台小					
天神川小					
笹原小					
瑞穂小					
有岡小					
花里小					
昆陽里小					
摂陽小					
鈴原小					
荻野小					
池尻小					
鴻池小					

小学校区	情報提供等の評価			
	問17 福祉サービスや福祉活動の情報提供	問18 福祉サービス情報の入手状況	問18-1 入手状況の変化	問20-1 相談先の範囲の変化
市全体	提供されている：27.8% 提供されていない：19.3%	入手できている：32.7% 入手できていない：64.5%	入手しやすくなった：16.0% 入手しにくくなった：3.5%	より広がった：22.1% より狭くなった：10.2%
評価点	提供されている：30%以上 提供されていない：25%以上	入手できている：35%以上 入手できていない：70%以上	入手しやすくなった：18%以上 入手しにくくなった：5%以上	より広がった：25%以上 より狭くなった：13%以上
伊丹小				
稲野小				
南小				
神津小				
緑丘小				
桜台小				
天神川小				
笹原小				
瑞穂小				
有岡小				
花里小				
昆陽里小				
摂陽小				
鈴原小				
荻野小				
池尻小				
鴻池小				

小学校区	地域福祉の認知				
	問22 権利擁護の認知状況	問22-1 地域福祉に関する権利擁護の認知状況	問24 小地域福祉活動の認知状況	問30 市社協の認知状況	問30-1 市社協の事業の認知状況
市全体	知っている：22.9% 知らない：72.9%	知っている：16.3% 知らない：80.5%	知っている：21.1% 知らない：76.9%	よく知っている：12.4% 名前も活動内容もよく知らない：35.2%	知っている：49.5% いずれも知らない：42.4%
評価点	知っている：25%以上 知らない：75%以上	知っている：20%以上 知らない：83%以上	知っている：25%以上 知らない：80%以上	よく知っている：15%以上 よく知らない：40%以上	知っている：55%以上 いずれも知らない：45%以上
伊丹小					
稲野小					
南小					
神津小					
緑丘小					
桜台小					
天神川小					
笹原小					
瑞穂小					
有岡小					
花里小					
昆陽里小					
摂陽小					
鈴原小					
荻野小					
池尻小					
鴻池小					

小学校区	地域福祉の認知			地域福祉への参加	
	問22 市社協のCWの認知状況	問32 地区担当民生委員・児童委員の認知状況	問32-1 民生委員・児童委員の活動の認知状況	問14 福祉に関する研修会等への参加	問15 地域の福祉課題を話し合う会議等への参加
市全体	知っている：9.0% 知らない：87.2%	知っている：30.5% 知らない：66.0%	知っている人の率：60.1% いずれも知らない：34.5%	参加している：12.0% 参加したことがない：86.5%	参加している：6.3% 参加したことがない：92.2%
評価点	知っている：10%以上 知らない：90%以上	知っている：35%以上 知らない：70%以上	知っている人の率：65%以上 いずれも知らない：37%以上	参加している：15%以上 参加したことがない：90%以上	参加している：8%以上 参加したことがない：95%以上
伊丹小					
稲野小					
南小					
神津小					
緑丘小					
桜台小					
天神川小					
笹原小					
瑞穂小					
有岡小					
花里小					
昆陽里小					
摂陽小					
鈴原小					
荻野小					
池尻小					
鴻池小					

小学校区	地域福祉への参加			
	問25 小地域福祉活動への参加 サービス提供者として	問25 小地域福祉活動への参加 サービス利用者として	問33 福祉団体の活動状況	問34 福祉・団体のサービスの利用状況
市全体	参加している:5.1% 参加したことがない: 92.0%	利用している:3.0% 利用したことがない: 91.8%	かかわりのある人の率: 13.6% 活動はしていない: 80.2%	サービスや支援を受けている率:10.1%
評価点	参加している:7%以上 参加したことがない: 95%以上	利用している:5%以上 利用したことがない: 95%以上	かかわりのある人の率:15%以上 活動はしていない; 85%以上	サービスや支援を受けている率: 13%以上
伊丹小				
稲野小				
南小				
神津小				
緑丘小				
桜台小				
天神川小				
笹原小				
瑞穂小				
有岡小				
花里小				
昆陽里小				
摂陽小				
鈴原小				
荻野小				
池尻小				
鴻池小				

小学校区	地域福祉のしくみ			
	問16 行政と住民との パートナーシップ	問35 福祉施設・企業 などによる社会貢 献等 について	問36 地域福祉に関する 考え方 第4のポケットについて	問36 地域福祉に関する 考え方 地域通貨について
市全体	よい関係ができている： 15.3% よい関係ができていない： 8.6%	貢献している：24.9%	賛同できる：26.6%	関心がある：23.8%
評価点	よい関係ができている： 17%以上 よい関係ができていない： 12%以上	貢献している： 27%以上	賛同できる：28%以上	関心がある：25%以上
伊丹小				
稲野小				
南小				
神津小				
緑丘小				
桜台小				
天神川小				
笹原小				
瑞穂小				
有岡小				
花里小				
昆陽里小				
摂陽小				
鈴原小				
荻野小				
池尻小				
鴻池小				

6 地域福祉推進に関する意見

市民の地域福祉推進に関する意見は、20.7%、383人から438件の記述が寄せられました。全体の分野別件数と小学校区別の件数は次表のとおりです。

伊丹市市民意識調査・自由記述

自由記述全体件数		
A	住民活動やボランティア、推進体制に関して	70件
B	保健・医療・福祉・介護保険等サービスに関して	70件
C	コミュニティ意識、福祉意識、人材の育成等について	105件
D	広報・情報提供に関して	45件
D	相談窓口に関して	14件
E	その他施策に関して	57件
F	アンケートについて	24件
G	その他	53件
合計		438件

自由記述校区別件数								
小学校区	A	B	C	D	D	E	F	G
伊丹	6件	10件	11件	6件	2件	3件	5件	6件
稲野	3件	4件	5件	2件	1件	2件	3件	4件
南	6件	4件	14件	2件	1件	10件	1件	3件
神津	2件	1件	3件	2件	1件	0件	1件	2件
緑丘	2件	4件	5件	2件	1件	6件	2件	2件
桜台	2件	2件	6件	3件	0件	5件	1件	2件
天神川	8件	6件	2件	2件	1件	3件	2件	0件
笹原	6件	5件	9件	3件	0件	5件	2件	7件
瑞穂	3件	1件	8件	2件	0件	6件	0件	3件
有岡	3件	5件	5件	1件	0件	2件	0件	3件
花里	4件	6件	5件	3件	2件	0件	0件	2件
昆陽里	3件	1件	4件	2件	0件	1件	1件	2件
摂陽	4件	6件	5件	4件	2件	4件	1件	1件
鈴原	5件	5件	4件	1件	1件	3件	1件	2件
荻野	5件	4件	9件	3件	0件	3件	3件	4件
池尻	8件	2件	7件	4件	1件	2件	0件	4件
鴻池	0件	2件	1件	2件	1件	1件	1件	2件
不明	0件	2件	2件	1件	0件	1件	0件	4件